

平成30年8月24日

安曇野市教育委員会

平成30年8月定例会

会 議 議 案

安曇野市教育委員会

議案第 2 号	教育部 生涯学習課
平成 30 年 8 月 24 日提出	(課長) 白井 隆昭 (担当係長) 塩原 良明

タイトル	安曇野市スポーツ推進審議会委員の委嘱について
決定を要する事項の内容	安曇野市スポーツ推進審議会委員の委嘱
要旨	<p>スポーツ推進審議会委員について、平成 30 年度に新たな委員を選出し、体育施設等の使用料の改正、新総合体育館の管理運営形態等を審議していただきたい。</p> <p>スポーツ推進審議会委員として別紙の方に委嘱したい。</p>
説明	<p>1 安曇野市スポーツ推進審議会</p> <p>スポーツ基本法第 31 条の規定に基づき設置するものである。審議会は安曇野市教育委員会の諮問に応じて、スポーツの推進に関する重要事項について調査審議し、及びこれらの事項に関して教育委員会に建議する。</p> <p>委員は次に掲げる者の内から教育委員会が委嘱する。</p> <p>(1) スポーツに関する学識経験者</p> <p>(2) 関係行政機関の職員</p> <p>(3) 教育委員会が特に認める者</p> <p>委員の定数は 15 名以内、任期は 2 年である。</p> <p>2 経過</p> <p>平成 26 年 4 月 1 日～平成 28 年 3 月 31 日の任期で「体育施設管理運営等に関する見直し」について審議した。特に体育施設の開閉時間、予約方法、使用料、減免について見直しを行った。</p> <p>平成 28 年度以降については、消費税の改正(8%⇒10%)が予定されていたので、使用料の見直しを審議事項として進めていたが、消費税改正が延期となった為、委員の委嘱は行っていない。</p> <p>3 委員の選出</p> <p>別紙のとおりの方に委員をお願いしたい。</p> <p>(1) スポーツに関する学識経験者 9 名</p> <p>(2) 関係行政機関の職員 2 名</p> <p>(3) 教育委員会が特に認める者 4 名 計 15 名</p> <p>任期：平成 30 年 9 月 1 日～平成 32 年 8 月 31 日(2 年)</p>

4 審議事項

- (1) 消費税改正(平成31年10月予定)に伴う、社会体育施設等の使用料改正について(新総合体育館の使用料を含む)
- (2) 新総合体育館の管理運営形態等について(指定管理者制度の導入等)

安曇野市スポーツ推進審議会委員（案）

任期 平成30年9月1日～平成32年8月31日

No.	委員	氏名	所属	再任
1	1	赤羽高明	安曇野市体育協会 会長	新任
2	1	加々美浩一	安曇野市スポーツ少年団 本部長	前任
3	1	内川慶一郎	安曇野市スポーツ推進委員 会長	新任
4	1	湯本 度	前安曇野市スポーツ推進計画策定委員会委員	新任
5	1	布山まゆみ	安曇野市スポーツ推進委員 女性会長 前安曇野市スポーツ推進計画策定委員会委員	新任
6	1	白井良臣	総合型地域スポーツクラブ「スポネット常念」代表 安曇野市スポーツ推進委員	前任
7	1	古澤栄一	前安曇野市スポーツ推進計画策定委員会会長	前任
8	1	小林いず子	元松本市役所スポーツ推進課 課長補佐	前任
9	1	小林可奈子	アトランタオリンピック女子マウンテンバイククロスカントリー日本代表	新任
10	2	古川節雄	安曇野市体育協会 事務局長	新任
11	2	西村健太郎	長野県教職員 長野県体育センター専門主事	新任
12	3	坂楨邦章	校長会推薦 小中学校代表	新任
13	3	藤森康友	元安曇野市議会議員 元安曇野市公式スポーツ施設整備計画策定委員会委員 安曇野市バスケットボール協会理事長	新任
14	3	千國寛一	前安曇野市監査委員 安曇野市社会教育委員 安曇野市生涯学習推進市民会議委員	新任
15	3	赤羽敦子	前安曇野市観光交流推進課長 民生委員	新任

安曇野市スポーツ推進審議会条例 第3条2項により以下のとおり定められております。

- (1) スポーツに関する学識経験を有する者
- (2) 関係行政機関の職員
- (3) 前2号のほか、教育委員会が特に必要と認める者

安曇野市スポーツ推進審議会委員

任期 平成26年4月1日～平成28年3月31日

No.	委員	氏名	ふりがな	所属	再任
1	1	下里安生	しもさと やすお	安曇野市体育協会 会長	再任
2	1	西村義夫	にしむら よしお	安曇野市スポーツ少年団 本部長	再任
3	1	丸山義春	まるやま よしはる	安曇野市スポーツ推進委員会 会長	再任
4	1	斎藤和彦	さいとう かずひこ	穂高早起き野球連盟事務局 穂高剣道スポーツ少年団代表者	新任
5	1	塚田啓子	つかだ けいこ	ジュニアダンスうんどうおひさま隊代表	新任
6	1	古澤栄一	ふるさわ えいいち	元安曇野市スポーツ振興計画策定委員会会長	再任
7	1	加々美浩一	かがみ こういち	元安曇野市スポーツ振興計画策定委員会副会長 安曇野市スポーツ少年団明科支部長	再任
8	1	小林いず子	こばやし いずこ	松本市役所スポーツ推進課 課長補佐	新任
9	1	臼井良臣	うすい よしとみ	総合型地域スポーツクラブ「スポネット常念」代表 安曇野市スポーツ推進委員	再任
10	2	宮島義征	みやじま よしゆき	安曇野市体育協会 事務局長	再任
11	3	勝家昌昭	かついえ まさあき	校長会推薦 小中学校代表	新任
12	3	黒岩宏成	くろいわ ひろなり	安曇野市行政評価外部評価委員会委員 前安曇野市議会議員	新任
13	3	小林紀之	こばやし のりゆき	前安曇野市議会議員	新任

安曇野市スポーツ推進審議会条例 第3条2項により以下のとおり定められております。

- (1) スポーツに関する学識経験を有する者
- (2) 関係行政機関の職員
- (3) 前2号のほか、教育委員会が特に必要と認める者

議案第3号	教育部 各課
平成30年8月24日提出	

タイトル	共催・後援依頼について
決定を要する事項の内容	教育委員会の共催・後援依頼についての協議
要旨	生涯学習課 後援2件 文化課 後援3件 共催1件 (詳細 別紙)
<p>○安曇野市教育委員会の共催及び後援等に関する取扱基準【抜粋】 (定義)</p> <p>第2条 この基準における用語の定義は、次の各号に定めるところによる。</p> <p>(1) 行事 講演会、演奏会、展覧会等の集会、体育大会等の催し物をいう。</p> <p>(2) 共催 行事の企画又は運営に参加し、共同主催者としての責任の一部を負担することをいう。</p> <p>(3) 後援 行事の趣旨に賛同し、名義の使用を承認することをいい、責任の負担はしないことをいう。</p> <p>(審査基準)</p> <p>第3条 教育委員会は、次の各号に掲げるいずれかの団体が主催する行事は、共催又は後援するものとする。</p> <p>(1) 国又は地方公共団体</p> <p>(2) 学校又は学校の連合体</p> <p>2 教育委員会は、前項の団体以外が主催する場合は、次に掲げる事項を満たすことが明らかに確認できるものに限り、共催又は後援をするものとする。</p> <p>(1) 行事の内容が教育、学術、文化及びスポーツの普及向上に寄与するものであること。</p> <p>(2) 公益性のあるもので営利を目的としないものであること。</p> <p>(3) 政治活動又は宗教活動と認められないものであること。</p> <p>(4) 参加者等の参集予定範囲が市内全域又はそれ以上であること。</p> <p>(5) 入場料、参加料、出品料等の経費を主催者が徴収するものについては、その経費の算出等について配慮がなされており、営利事業的なものでないこと。</p> <p>(6) 団体内の親睦等が主たる目的ではないこと。</p> <p>(教育長の専決範囲)</p> <p>第4条 後援の承認について、教育長が専決できる行事は次に掲げるとおりとする。</p> <p>(1) 前条第1項に規定する行事</p> <p>(2) 過去に教育委員会が承認した行事(団体又は行事が、前条第2項の規定を満たしているか判断し難いものは除く。)</p>	

教育部生涯学習課共催・後援台帳(平成30年度8月定例会協議事項)

No.	受付日	所管	件名	申請者	主催者	種別	申請理由	申請日	開催日	承認	承認日	会場	開催目的(趣旨)	開催内容	H29	H28	H27	所管課意見
1009	H30.8.6	社会教育担当	CoderDojo安曇野	CoderDojo安曇野	CoderDojo安曇野	後援	広域地域の児童や教育関係者にこの活動を広く認知していただくため	8月6日	毎月第3土曜日(平成30年9月15日～平成31年3月16日)		月日	AzuminoCo working(安曇野キングダムベース)	プログラミ的思考(論理的思考力や創造性、問題解決能力)を育む。IT人材の不足を補うため等の育成をはじめ関係者との交流をはかる。	子どものためのプログラミング遭場	-	-	-	基準第3条第2項により可
1010	H30.8.10	社会教育担当	映画「カレーライスを一から作る」上映会	食の寺子屋 給食部	食の寺子屋 給食部	後援	上映会に合わせ、三郷小・南農高の生徒の活動発表の場を設けることもあり、多くの学校に広報をしていただくため	8月9日	平成30年12月16日(日)		月日	穂高交流学習センター「みらい」多目的ホール	ドキュメンタリー映画「カレーライスを一から作る」の上映を通じて、「生きる」「食べる」という人間の営みの原点をみつめ、食の大切さ、命の大切さを伝えたい	映画「カレーライスを一から作る」上映 販売1000円 当日1200円 高校生以下300円 未就学児無料 三郷小学校の合鴨農法、南農高生による食育・作物栽培についての発表	-	-	-	基準第3条第2項により可

教育部文化課 共催・後援台帳(平成30年度8月定例会協議事項)

No.	受付日	所管	件名	申請者	主催者(団体)	種別	申請理由	申請日	開催日	専決	理由	承認	承認(専決)日	会場	開催目的(趣旨)	開催内容	H27	H28	H29	所管課意見
43	平成30年7月31日	文化	碓山美術館開館60周年記念演劇「碓山劇場」の公演	碓山美術館 幅谷啓子	碓山美術館 館友の会	後援	中信地域の文化向上に意義深い行事であることを認証	7月31日	平成31年1月13日(日)				月 日	松本市つもと市民芸術館	碓原礫山の芸術と生涯を、中信地域全域の広い世代に演劇によって紹介し、郷土の芸術家、礫山とその芸術、礫山美術館への関心を高める。	第一幕「文覚」、第二幕「デスベア」と「女」の全二幕で構成され、碓原礫山の芸術と生涯を演劇によって紹介する。入場料は1人1,500円				取扱基準第3条第2項により可
44	平成30年8月1日	文化	井口喜源治記念館講演会	一般財団法人井口喜源治記念館 館長 松尾恒史	一般財団法人井口喜源治記念館	後援	当館が実施する事業の目的、品質に対する保証	7月30日	平成30年10月20日(土)				月 日	碓山公園 研成ホール	学術文化の振興・普及のため	講師に水産学博士の平本紀久雄先生を招き、「神田吉右衛門と海原竹松・内村鑑三と交流のあった房総人」という演題で講演会を開催する。入場料は無料。聴講予定者数は100名。				取扱基準第3条第2項により可
45	平成30年8月2日	文化	安曇野ふるさと遺産活用事業ワーキングショップ	NPO法人安曇野ふるさとづくり応援団 代表理事 等々力秀和	NPO法人安曇野ふるさとづくり応援団	後援	安曇野の貴重な文化遺産を「安曇野ふるさと遺産」として広く市民への啓蒙を行うと共に、安曇野の暮らしに根付いた生き文化財として市民との協働により保存活用を図る。	8月2日	平成30年9月5日(水) (予定)10月17日(水)、11月14日(水)、12月19日(水)				月 日	安曇野市役所他	2018年度長野県元気づくり支援金活用事業として行う、「安曇野ふるさと遺産活用事業」における市民参加ワーキングショップ	行政や県親市民団体等と連携し、過去の資料や現地による基本調査、市民参加のワーキングショップ等を実施して、「安曇野ふるさと遺産2018」のリーフレットと「危機遺産リスト2018」を作成する。				取扱基準第3条第2項により可
47	平成30年8月10日	文化	第23回安曇野市小中学校合同吹奏楽祭	安曇野市小中学校合同吹奏楽祭実行委員会 実行委員長 三尾浩幸	安曇野市小中学校合同吹奏楽祭実行委員会	共催	事業開催により、児童・生徒の感性を育み、幅広い年代と地域間の交流を期したい。	8月10日	平成30年10月6日(土)				月 日	穂高会館アリーナ	感性豊かな人間形成を目指し、市内小中学校吹奏楽のレベルアップを期する。今年度も旧穂高町時代から行ってきた東京藝術大学交流事業の一環として本事業を開催する。東京藝術大学から演奏者を招くことで、児童生徒の演奏の場だけでなく、レベルの高い演奏に触れる機会とする。	小中学校児童生徒による金管バンド及び吹奏楽の合同演奏会。ゲスト演奏者として東京藝術大学音楽学部卒業生による金管五重奏を演奏する。出演：安曇野市内小中学校金管バンド、各中学校吹奏楽部、東京藝術大学音楽学部 出演料：無料 入場料：無料				取扱基準第3条第2項により可

【教育委員会定例会提出資料】

議案第 3 号の 2	教育部 各課
平成 30 年 8 月 24 日提出	

タイトル	共催・後援依頼について
決定を要する事項の内容	教育委員会の共催・後援依頼についての協議
要旨	文化課 共催 1 件、後援 1 件 (詳細 別紙)
<p>○安曇野市教育委員会の共催及び後援等に関する取扱基準【抜粋】 (定義)</p> <p>第 2 条 この基準における用語の定義は、次の各号に定めるところによる。</p> <p>(1) 行事 講演会、演奏会、展覧会等の集会、体育大会等の催し物をいう。</p> <p>(2) 共催 行事の企画又は運営に参加し、共同主催者としての責任の一部を負担することをいう。</p> <p>(3) 後援 行事の趣旨に賛同し、名義の使用を承認することをいい、責任の負担はしないことをいう。</p> <p>(審査基準)</p> <p>第 3 条 教育委員会は、次の各号に掲げるいずれかの団体が主催する行事は、共催又は後援するものとする。</p> <p>(1) 国又は地方公共団体</p> <p>(2) 学校又は学校の連合体</p> <p>2 教育委員会は、前項の団体以外が主催する場合は、次に掲げる事項を満たすことが明らかに確認できるものに限り、共催又は後援をするものとする。</p> <p>(1) 行事の内容が教育、学術、文化及びスポーツの普及向上に寄与するものであること。</p> <p>(2) 公益性のあるもので営利を目的としないものであること。</p> <p>(3) 政治活動又は宗教活動と認められないものであること。</p> <p>(4) 参加者等の参集予定範囲が市内全域又はそれ以上であること。</p> <p>(5) 入場料、参加料、出品料等の経費を主催者が徴収するものについては、その経費の算出等について配慮がなされており、営利事業的なものでないこと。</p> <p>(6) 団体内の親睦等が主たる目的ではないこと。</p> <p>(教育長の専決範囲)</p> <p>第 4 条 後援の承認について、教育長が専決できる行事は次に掲げるとおりとする。</p> <p>(1) 前条第 1 項に規定する行事</p> <p>(2) 過去に教育委員会が承認した行事(団体又は行事が、前条第 2 項の規定を満たしているか判断し難いものは除く。)</p>	

教育部 文化課 共催・後援台帳(平成30年度8月定例会協議事項)

No.	受付日	所管	件名	申請者	主催者(団体)	種別	申請理由	申請日	開催日	専決	理由	承認	承認(専決)日	会場	開催目的(趣旨)	開催内容	H 27	H 28	H 29	所管 課 意見
50	平成30年8月17日	文化	チロル音楽と日本の唱歌のタペ	安曇野・クラムザツハ友会 花村 薫	安曇野・クラムザツハ友会	後援	姉妹都市クラムザツハの告知も行うため。	8月17日	平成30年9月22日(土)				月	安曇野市役所本庁舎1階東ロビー	オーストリアのカヌー選手たちが来訪されるのを歓迎するとともに、姉妹都市クラムザツハを周知するためのコンサートを開催する。	オーストリアのカヌー選手たちが来訪されるのを歓迎するとともに、姉妹都市クラムザツハを周知するため、フールー、高橋秀典氏、ピアノ：市川美穂氏、バイオリン：市川正雅之氏、ソプラノ：丸山多江氏、安曇野ジュニアオーケストラ出演によるクラシック音楽、チロルの音楽、日本の唱歌のコンサートを開催する。	-	-	-	取扱基準第3条第2項により可
51	平成30年8月20日	文化	長野県芸術監督「シンビヌ」展2018」(仮)	(一財)長野県文化振興事業団 理事 長 近藤誠一	長野県、(一財)長野県文化振興事業団	共催	県内4カ所での同時開催により、各地域の市町村または教育委員会の協力を経て鑑賞機会拡大を図るため。	8月1日	平成30年12月1日(土)～12月24日(月・祝)				月	東御市、丸山晚露記念館他県内4ヶ所	長野県芸術監督団の本江邦夫氏のもと、「信州ミュージアム・ネットワーク事業」の一環として県内美術館・博物館の学芸員が協議しながら長野県ゆかりの出品作家を選定し、県内4ヶ所での展覧会を同時開催する取り組み。県内4ヶ所で開催されることにより県民の芸術鑑賞機会の拡大を図り、長野県ゆかりの現代作家を支援するとともに、ミュージアム・ネットワークの根幹をなす各館の学芸員の意識共有や資質向上を図りネットワーク化を促進する。	県内4プロック、同時に展覧会を開催。各会場において作家トークや、市町村教育委員会と連携し、地域の小中学生を招待しての美術教育普及や事業や高校美術クラブや地域住民の皆さんに作家との出合いや学びの場を提供する。			○	取扱基準第3条第1号により可

平成 30 年 8 月 24 日開催

安曇野市教育委員会 8 月定例会当日配布資料

議案第 4 号	教育部 学校教育課
平成 30 年 8 月 24 日提出	(課長) 平林 洋一 (担当係長) 等々力 洋子

タイトル	平成 29 年度 安曇野市教育委員会の事務に関する点検・評価報告書案について
決定を要する事項の内容	点検・評価報告書案の承認
要旨	<p>「地方教育行政の組織及び運営に関する法律」の規定により、すべての教育委員会は毎年その権限に属する事務の管理及び執行の状況について点検及び評価を行い、その結果を議会に提出するとともに、市ホームページで公表することとされている。</p> <p>今般、3名の学識経験者による評価を経て、報告書案をまとめた。</p>
説明	<p>安曇野市教育委員会の事務の管理及び執行状況の点検及び評価について</p> <p>1 目的</p> <p>安曇野市教育委員会の事務の管理及び執行状況の点検及び評価(以下「点検・評価」という。)は、地方教育行政の組織及び運営に関する法律(昭和 31 年法律第 162 号)第 26 条の規定に基づき実施しました。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"><p>(教育に関する事務の管理及び執行の状況の点検及び評価等)</p><p>第 26 条 教育委員会は、毎年、その権限に属する事務(前条第一項の規定により教育長に委任された事務その他教育長の権限に属する事務(同条第四項の規定により事務局職員等に委任された事務を含む。)を含む。)の管理及び執行の状況について点検及び評価を行い、その結果に関する報告書を作成し、これを議会に提出するとともに、公表しなければならない。</p></div> <p>2 教育委員会は、前項の点検及び評価を行うに当たっては、教育に関し学識経験を有する者の知見の活用を図るものとする。</p> <p>2 点検評価の対象事務事業</p> <p>第 1 次安曇野市総合計画 基本構想 後期基本計画 [平成 25 年度～平成 29 年度] に位置付けられた重点施策に関連する事務事業を対象としました。</p> <p>3 学識経験を有する者の知見の活用</p> <p>地方教育行政の組織及び運営に関する法律第 26 条第 2 項に規定する教育に関し学識経験を有する者として、以下の方を委嘱しました。</p> <ul style="list-style-type: none">○安曇野市社会教育委員 細田 利章 氏○前安曇野市社会教育委員 平田 米子 氏○前安曇野市立豊科南小学校長 筒井 年恵 氏 <p>学識経験者からは、平成 30 年 7 月 31 日(金)に、点検・評価対象事務事業の担当課長・担当者から説明を受け、質疑応答を行った上で、各事務事業に対するご意見、ご提言等をいただきました。</p> <p>4 報告書案</p> <p>別紙のとおり</p>

平成 30 年 8 月 24 日開催
安曇野市教育委員会 8 月定例会提出

平成 2 9 年度

教育委員会の事務の管理及び執行状況の点検及び評価報告書（案）

安曇野市教育委員会

安曇野市教育委員会の事務の管理及び執行状況の点検及び評価について

1 目的

安曇野市教育委員会の事務の管理及び執行状況の点検及び評価（以下「点検・評価」という。）は、地方教育行政の組織及び運営に関する法律（昭和 31 年法律第 162 号）第 26 条の規定に基づき実施したものです。

(参考)

○地方教育行政の組織及び運営に関する法律（抄）

（教育に関する事務の管理及び執行の状況の点検及び評価等）

第 26 条 教育委員会は、毎年、その権限に属する事務（前条第一項の規定により教育長に委任された事務その他教育長の権限に属する事務（同条第四項の規定により事務局職員等に委任された事務を含む。）を含む。）の管理及び執行の状況について点検及び評価を行い、その結果に関する報告書を作成し、これを議会に提出するとともに、公表しなければならない。

2 教育委員会は、前項の点検及び評価を行うに当たっては、教育に関し学識経験を有する者の知見の活用を図るものとする。

2 点検評価の対象

第 1 次安曇野市総合計画 基本構想 後期基本計画 [平成 25 年度～平成 29 年度] に位置付けられた重点施策に関連する 35 事務事業において、平成 29 年度に実施した事務事業を点検評価の対象としました。

3 自己評価の基準

自己評価の基準については、概ね下記の基準によります。

評価区分	評価にあたっての考え方
A	優れた取組が多く、十分成果が上がっている
B	優れた取組がいくつかあり、成果が上がっている
C	一定の成果は上がっているものの、課題もあり、改善の必要がある
D	十分な成果が上がっておらず、改善の余地が多く、抜本的な見直しが必要である

4 点検・評価にあたり、教育に関し学識経験を有する者の知見の活用

地方教育行政の組織及び運営に関する法律第 26 条第 2 項に規定する教育に関し学識経験を有する者として、以下の方を委嘱しました。

安曇野市社会教育委員 細田 利章 氏
前安曇野市社会教育委員 平田 米子 氏
前安曇野市立豊科南小学校長 筒井 年恵 氏

平成 29 年度 安曇野市教育委員会事務事業点検・評価項目一覧

第 1 次安曇野市総合計画後期基本計画との関係	頁	評価対象事務事業	所管課	自己評価		
				H29	H28	
第 3 章 人と文化を育むまちの形成	4	いじめ・不登校対策事業	学校教育課	B	B	
第 1 節 郷土を担う人を育むまち 1 学校教育の充実 ①時代を担う人づくりの推進 ②特色ある学校教育の推進 ③学校施設の整備 ④相談支援体制の充実	5	適応指導教室運営事業	学校教育課	B	B	
	6	教育相談事業	学校教育課	B	B	
	8	就学相談事業	学校教育課	C	C	
	9	教育指導員・教育相談員の配置	学校教育課	A	A	
	10	学校加配職員及びスクールソーシャルワーカー等の配置・派遣事業	学校教育課	A	A	
	12	学校 ICT 事業の推進	学校教育課	B	B	
	13	英語教育の推進事業	学校教育課	C	C	
	14	コミュニティスクール事業（スクールサポート事業から名称変更）	学校教育課	C	B	
	15	中学生議会事業	学校教育課	B	B	
	16	指導主事「授業支援」事業	学校教育課	B	B	
	17	入学準備金貸付制度	学校教育課	C	C	
	18	学校安全対策事業	学校教育課	B	B	
	19	小・中学校施設改修事業	学校教育課	B	B	
	20	給食事業	学校教育課	B	B	
	2 青少年の健全育成	21	青少年健全育成事業	生涯学習課	B	C
	第 3 章 人と文化を育むまちの形成 第 2 節 生涯を通じて学び合うまち 1 生涯学習の推進 ①生涯学習体制の構築 ②生涯学習機会の充実 ③生涯学習施設の整備	22	成人式実施事業	生涯学習課	B	B
		23	安曇野検定実施事業	生涯学習課	B	C
24		生涯学習講座実施事業	生涯学習課	B	C	
25		社会教育団体支援事業	生涯学習課	C	C	
26		放課後・家庭教育推進事業	生涯学習課	C	C	
27		児童館運営事業	生涯学習課	C	C	
28		中央公民館事業	生涯学習課	B	B	
29		交流学習センター等事業	図書館交流課	B	B	
30		図書館活動の推進事業	図書館交流課	B	B	
第 6 章 協働によるまちづくりの推進 第 1 節 協働で築かれるまち 4 人権の尊重 ①人権教育・啓発の推進 ②人権擁護団体の育成支援		32	人権教育推進事業	生涯学習課	B	B
33	人権啓発事業（安曇野市 1 / 2 成人式・）	生涯学習課	A	A		

安曇野市総合計画後期基本計画との関係	頁	評価対象事務事業	所管課	自己評価	
				H29	H28
2 スポーツ活動の推進 ①生涯スポーツの推進 ②スポーツ施設の整備と有効活用 ③競技スポーツの振興と指導者の育成 ④高齢者・生涯スポーツの推進 ⑤スポーツを通じたコミュニティづくり	34	体育団体等支援事業	生涯学習課	C	C
	35	市民スポーツ祭	生涯学習課	C	C
	36	新総合体育館建設事業	生涯学習課	C	C
	37	スポーツ振興事業（スポーツ教室等開催事業）	生涯学習課	B	B
	38	文化芸術振興事業	文化課	B	B
第3章 人と文化を育むまちの形成 第3節 文化を学び育むまち 1 芸術文化活動の振興 ①地域文化の振興 ②芸術文化施策の充実 ③芸術文化活動の推進 ④歴史民俗資料の保存・活用	39	諸団体との協働事業	文化課	B	B
	41	財政支援団体への補助	文化課	B	B
	42	博物館・美術館等の管理運営	文化課	B	B

事務事業	No.1	事務事業名： いじめ・不登校対策事業	H29年度決算額	21千円
事業の目的	いじめ・不登校の克服に向けて、学校・地域・関係機関が連携を図り、いじめ等の防止及び早期発見・早期対応を行う。			
事業内容	いじめ不登校問題対策連絡協議会において、児童、生徒のいじめ・不登校等の調査及び指導方法や発生防止の研究を行う。			
達成状況	<ol style="list-style-type: none"> 1 協議会委員構成(任期2年 当初は平成29年3月31日まで) 教育長 1名 福祉関係者 2名 警察関係者 1名 PTA関係者 1名 教育関係者 6名 行政関係者 2名 学識経験者 1名 計14名 2 会議 ・安曇野市いじめ不登校問題対策連絡協議会(いじめ防止対策推進法制定により、前いじめ等対策委員会を発展的解消し設置) 開催：2回 3 協議事項 ・学校及び地域におけるいじめ等の状況に関すること ・学校、地域、関係機関等によるいじめ等の防止の取り組みに関すること ・上記の他、いじめ等の防止に関すること 4 成果 ・関係機関における対応及び児童生徒や保護者に関わる情報共有をすることができた。 			
事業の課題及び方向性	<ul style="list-style-type: none"> ・いじめ・不登校の問題は全国的な課題であり、今日の学校教育について極めて重要です。これらの対応や解決には、学校だけの対応では困難であり、各機関の連携が必要不可欠です。そのためにも各機関の代表が集まり情報の共有、意見交換を行うことは極めて重要です。組織を設置して3年目でもあるので、現状の組織及び内容を継続していきます。また、いじめに関しては定義を再度確認、周知徹底を図り、防止・早期対応の観点から、各機関との更なる連携の強化を目指します。 			
自己評価	B			

※自己評価区分 A…優れた取組が多く、十分成果が上がっている B…優れた取組がいくつかあり、成果が上がっている C…一定の成果は上がっているが、課題もあり、改善の必要がある。D…成果が十分上がっておらず、改善の余地が多く、抜本的な見直しが必要である。

事務事業	No.2	事務事業名： 適応指導教室運営事業	H29 年度決算額	9,089 千円																																																
事業の目的	不登校の児童生徒を対象に、学校復帰に向けての指導及び援助を行う。																																																			
事業内容	安曇野市教育支援センター設置条例に基づき、教育支援センター内に適応指導教室を設置し、不登校児童生徒の学校復帰に向けた適応指導・学習支援等を行う。 (職員体制:適応指導員 2 名、臨時指導員 2 名)																																																			
達成状況	<p>適応指導教室の在籍状況</p> <p>5 カ年の在籍児童生徒数の推移 (単位：人)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>年度</th> <th>H25</th> <th>H26</th> <th>H27</th> <th>H28</th> <th>H29</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>小学生</td> <td>6</td> <td>6</td> <td>11</td> <td>14</td> <td>13</td> </tr> <tr> <td>中学生</td> <td>36</td> <td>18</td> <td>23</td> <td>19</td> <td>14</td> </tr> <tr> <td>年度計</td> <td>42</td> <td>24</td> <td>34</td> <td>33</td> <td>27</td> </tr> </tbody> </table> <ul style="list-style-type: none"> 平成 29 年度、在籍が最も多かった学年は中学 3 年生 5 名、次いで中学 1 年生 4 名。中学 3 年生で平成 29 年度中に学校へ復帰できた生徒は 4 名。 適応指導教室で精神的・学力面ともに力をつけ、自己に自信を持つことができたと評価できる。 適応指導教室は、不登校および不適応傾向の児童生徒の一時的な適応機関としての機能が学校及び保護者に認められ、不登校等児童生徒への指導の選択肢として定着しつつある。 <p>*参考 安曇野市の 5 カ年の欠席 30 日以上の不登校児童生徒の推移 (単位：人)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>年度</th> <th>H25</th> <th>H26</th> <th>H27</th> <th>H28</th> <th>H29</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>小学校</td> <td>29</td> <td>33</td> <td>23</td> <td>28</td> <td>28</td> </tr> <tr> <td>中学校</td> <td>97</td> <td>84</td> <td>93</td> <td>72</td> <td>76</td> </tr> <tr> <td>計</td> <td>126</td> <td>117</td> <td>116</td> <td>100</td> <td>104</td> </tr> </tbody> </table> <p>不登校数は減少傾向(29 年度は微増)にあるが、在籍率はほぼ横ばいの状況(長野県の傾向と同様)。</p>				年度	H25	H26	H27	H28	H29	小学生	6	6	11	14	13	中学生	36	18	23	19	14	年度計	42	24	34	33	27	年度	H25	H26	H27	H28	H29	小学校	29	33	23	28	28	中学校	97	84	93	72	76	計	126	117	116	100	104
年度	H25	H26	H27	H28	H29																																															
小学生	6	6	11	14	13																																															
中学生	36	18	23	19	14																																															
年度計	42	24	34	33	27																																															
年度	H25	H26	H27	H28	H29																																															
小学校	29	33	23	28	28																																															
中学校	97	84	93	72	76																																															
計	126	117	116	100	104																																															
事業の課題及び方向性	スクールソーシャルワーカー・不登校支援コーディネーターとの情報共有を図り、課題となっている在籍校と、各校の適応指導教室(中間教室)支援員や関係者との連携を更に強化していきます。																																																			
自己評価	B																																																			

※自己評価区分 A…優れた取組が多く、十分成果が上がっている B…優れた取組がいくつかあり、成果が上がっている C…一定の成果は上がっているが、課題もあり、改善の必要がある。D…成果が十分上がっておらず、改善の余地が多く、抜本的な見直しが必要である。

事務事業	No.3	事務事業名： 教育相談事業	H29年度決算額	1,397千円																								
事業の目的	学校生活等で困難を抱えている子ども達や保護者、学校関係者を支える。																											
事業内容	不登校、引きこもり、発達障がい、学校生活、進路、子育て全般、しつけ等についての教育相談活動（電話相談及び面接相談）を実施。 （職員体制：教育相談員 常勤1名、非常勤3名）																											
達成状況	<p>教育相談事業の重点と状況</p> <p>目的達成に向け、「安曇野市における教育相談体制の整備と強化を図るとともに、<u>地域における関係機関、関係団体との連携、共同体制を構築していく</u>」ことを重点とし時代のニーズに応じた教育相談室運営を目指してきた。</p> <p><連携してきた関係機関、団体></p> <p>小中学校・特別支援教育コーディネーター連絡会・家庭児童相談室・子ども発達支援相談室・特別支援学校教育相談員・適応指導教室・就学相談調査員・障がい者総合支援センターあるぷ・その他</p> <p>※教育相談室の支援だけでは効果が不十分と考えられる場合、相談者の了解や要請により、上記の関係機関、団体と連携して相談業務を行った。関係者間で「チーム支援」の意識を深めるとともに、新たな視点や発想の基で、課題解決に向けた取り組みが可能となってきている。</p> <p><教育相談の状況></p> <p>① 相談・来室者実人数：319人</p> <p>② 相談方法別相談件数(面談1回で複数人の面談を行う場合あり)</p> <p>来室による面談：148件・電話相談：30件・学校訪問：67件</p> <p>③相談対象者の年齢別相談回数(実質的な相談件数。相談報告書と一致する数)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>来訪者</th> <th>件数</th> <th>来訪者</th> <th>件数</th> <th>来訪者</th> <th>件数</th> <th>来訪者</th> <th>件数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>乳幼児</td> <td>32</td> <td>小学生</td> <td>183</td> <td>中学生</td> <td>24</td> <td>高校生</td> <td>2</td> </tr> <tr> <td>保護者</td> <td>1</td> <td>教師</td> <td>0</td> <td>その他</td> <td>0</td> <td>合計</td> <td>244</td> </tr> </tbody> </table> <p>③ 相談の主訴(1件の相談に関し、複数の主訴あり)</p> <p>性格行動214件 不登校61件 育児・しつけ5件 非行・反社会行動1件 発達障がい45件 知的障がい21件 心身症8件 学校・学級経営11件 学校生活・園生活241件</p> <p>※27年度より、学校や保護者の要請により、心理発達検査(WISC-IV)も実施し、その結果を基に、学校職員や保護者等に説明の機会を持つようにしたこと、指導・支援の具体的な内容や方法、家庭生活におけるわが子への具体的な接し方、子育てのポイント等が分かり、とてもありがたいという声をいただいている。また、子ども支援課と連携し、認定子ども園の園長や保育士に対し、WISC検査実施を通して園児への支援方法についての助言も行っている。</p>				来訪者	件数	来訪者	件数	来訪者	件数	来訪者	件数	乳幼児	32	小学生	183	中学生	24	高校生	2	保護者	1	教師	0	その他	0	合計	244
来訪者	件数	来訪者	件数	来訪者	件数	来訪者	件数																					
乳幼児	32	小学生	183	中学生	24	高校生	2																					
保護者	1	教師	0	その他	0	合計	244																					

事業の課題及び方向性	<p>関係機関との連携、共同体制の構築をさらに進める必要があります。早期発見・支援、一貫した継続的な支援が今後増々問われてきます。</p> <p>そのために、当市の大きな課題は、部局を超えた支援の連携が必須であるという共通認識のもと、更なる共同体制の構築に資していくことにあります。(例：就園前、就園時から小学校入学後への移行支援、中学卒業後の支援の充実→福祉部、保健医療部、教育部などの連携が必要)</p>
自己評価	B

※自己評価区分 A…優れた取組が多く、十分成果が上がっている B…優れた取組がいくつかあり、成果が上がっている C…一定の成果は上がっているが、課題もあり、改善の必要がある。D…成果が十分上がっておらず、改善の余地が多く、抜本的な見直しが必要である。

事務事業	No.4	事務事業名： 就学相談事業	H29年度決算額	3,759千円																																	
事業の目的	安曇野市心身障がい児就学相談委員会では、知的障がい、その他心身障がいの疑いのある児童等の調査、審査（入級、退級についての審査）および就学の相談を行う。																																				
事業内容	1 安曇野市心身障がい児就学相談委員会(委員 19名) 年3回開催 2 5地区別就学相談小委員会（小委員のべ数 72名）年間 13回開催 3 小委員会に向け資料作成のため、調査員が幼稚園、認定こども園にて観察と相談（観察園児のべ数 164名）年2回実施 4 平成28年度就学相談を受け平成29年度小中学校1年に入学した児童生徒の経過観察（小1児童55名、中1生徒48名、計103名）年1回実施																																				
達成状況	(判定数) <table border="1" style="margin-left: 20px;"> <thead> <tr> <th rowspan="2">対象者</th> <th rowspan="2">人数</th> <th colspan="3">判定結果</th> <th rowspan="2">判定と異なる就学者</th> </tr> <tr> <th>通常学級</th> <th>特別支援学級</th> <th>特別支援学校</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>幼児</td> <td>71</td> <td>33</td> <td>31</td> <td>7</td> <td>1</td> </tr> <tr> <td>児童</td> <td>78</td> <td>2</td> <td>71</td> <td>5</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>生徒</td> <td>15</td> <td>0</td> <td>15</td> <td>0</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>計</td> <td>164</td> <td>35</td> <td>117</td> <td>12</td> <td>1</td> </tr> </tbody> </table>				対象者	人数	判定結果			判定と異なる就学者	通常学級	特別支援学級	特別支援学校	幼児	71	33	31	7	1	児童	78	2	71	5	0	生徒	15	0	15	0	0	計	164	35	117	12	1
対象者	人数	判定結果					判定と異なる就学者																														
		通常学級	特別支援学級	特別支援学校																																	
幼児	71	33	31	7	1																																
児童	78	2	71	5	0																																
生徒	15	0	15	0	0																																
計	164	35	117	12	1																																
事業の課題及び方向性	1 就学判定数が平成28年度より5名増となっている。今後、早期スタートで年中からの相談も増えることが予想される。委員会前後の事務量や調査員の相談業務量の増加が著しく、今年1名人員増したが、相談日調整が難しい。 2 園児の就学相談の早期スタートが必要です。子ども発達相談室を中心に年中児のスクリーニングの試みを開始したと聞いているが、福祉課・健康推進課・子ども支援課・学校教育課などが、それぞれに受け持つことを、今できる連携の中で最善を尽くしてきているが、根本的な見直しを要望していきたい。																																				
自己評価	C																																				

※自己評価区分 A…優れた取組が多く、十分成果が上がっている B…優れた取組がいくつかあり、成果が上がっている C…一定の成果は上がっているが、課題もあり、改善の必要がある。D…成果が十分上がっておらず、改善の余地が多く、抜本的な見直しが必要である。

事務事業	No.5	事務事業名： 教育指導員・教育相談員の配置	H29年度決算額	－ 千円
事業の目的	各学校における学力・体力向上をはかると共に教育相談に対応し、安定した学校運営が行えるようにする。			
事業内容	(1) 教育全般について各学校・各機関との連携、支援 (2) 学力・体力向上にむけての取組 (3) 就学相談 (4) 教育相談 (職員体制：教育指導員3名 教育相談員1名)			
達成状況	(1) 教育全般について各学校・各機関との連携、支援 ① 学校と教育指導員との懇談会 4、5月に実施。市内17校 ② いじめホットラインとして、保護者や学校との相談 ③ 福祉課、子ども支援課等との連携担当者会議を実施 週1回 (2) 学力・体力向上に向けての取組 ① 安曇野市学力・体力4ヵ年計画の実施(27年度からスタート) ② 組織及び運営 ア 学力向上推進委員会 ・ 年9回開催し、全国学力・学習状況調査の結果を分析・考察し、報告書にまとめると共に、次年度へ向けた授業改善にかかわる提言をした。 イ 体力向上推進委員会 ・ 全国体力・運動能力、運動習慣等調査や、新体力テストの結果を分析し、公表すると共に、体力向上にむけた実践を公表するとともに、体づくり、運動遊びの研修として、長野県版運動プログラム普及事業の実施。各学校に訪問し、体づくり・運動遊びや日常の運動などについて支援。 ウ 部活動運営委員会 ・ スクールサポート事業として、健全な部活動のあり方について検討、各校の課題解決に向けて支援。 (3) 就学相談 ① 心身障がい児就学相談委員会 ・ 小中学校入学及び在学中の児童生徒に関わる、適切な就学の検討。 (4) 教育相談 教育支援センター教育相談室での教育相談に対応。			
事業の課題及び方向性	○学力・体力向上については、4ヵ年計画とし、28、29年度は「定着と深化」、30年度は「実践と評価・考察」に向けて取り組んでいきます。 ○就学支援および教育相談については、児童生徒の観察、保護者の意向などを確実に捉え、学校や各機関との連携を図りながら対応していきます。			
自己評価	A			

※自己評価区分 A…優れた取組が多く、十分成果が上がっている B…優れた取組がいくつかあり、成果が上がっている C…一定の成果は上がっているが、課題もあり、改善の必要がある。D…成果が十分上がっておらず、改善の余地が多く、抜本的な見直しが必要である。

事務事業	No.6	事務事業名： 学校加配職員及びスクールソーシャルワーカー等の配置・派遣事業	H29 年度決算額	141,672 千円																																											
事業の目的	障がい等により特別な支援を要する児童・生徒に対応するための職員を配置し、学習や学校生活の支援を行うとともに、障がい児等指導相談員等を派遣し指導方法の相談・助言を行い、健やかな成長を支援する。																																														
事業内容	<ul style="list-style-type: none"> ・学校の要望に基づき、障がい児支援員・特別支援学級補助員・中間教室支援員等の配置 ・不登校対策として、各校を巡回するスクールソーシャルワーカー、不登校支援コーディネーター、スクールカウンセラーの派遣 ・障がい児等指導相談員（学校心理士・作業療法士・言語聴覚士）の派遣 																																														
達成状況	<p>○成果</p> <ul style="list-style-type: none"> ・障がい児支援員は、特別支援学級や普通学級の仲間と行う授業等活動時に、特に学級内の人間関係面の支援と、その子どもの特性に応じた支援を心掛け、子どもが安定して活動に参加し、自己実現の経験が数多くできるよう努力し、その児童生徒と周囲の集団の生活安定に大きく寄与している。 ・各校配置の中間教室指導員ほか、スクールソーシャルワーカー、不登校支援コーディネーター及び市適応指導教室の適応指導員など、不登校支援に関わる職員が不登校傾向の子どもの支援の中核となり、関係機関とも連携しながら登校につなげる活動を行っている。 <p>【配置・派遣状況】</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>職 名</th> <th>延べ人数</th> <th>備 考</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="7">賃金</td> <td>医療支援員（看護師）</td> <td>1</td> <td>（小学校）</td> </tr> <tr> <td>障がい児支援員</td> <td>20</td> <td></td> </tr> <tr> <td>特別支援学級補助員</td> <td>20</td> <td></td> </tr> <tr> <td>学習支援員</td> <td>6</td> <td></td> </tr> <tr> <td>中間教室支援員</td> <td>18</td> <td></td> </tr> <tr> <td>スクールソーシャルワーカー 不登校支援コーディネーター</td> <td>2</td> <td>（巡回型）</td> </tr> <tr> <td>小計</td> <td>67</td> <td></td> </tr> <tr> <td rowspan="4">謝礼</td> <td>スクールカウンセラー</td> <td>9</td> <td>（巡回型）</td> </tr> <tr> <td>障がい児等指導相談員</td> <td>3</td> <td>（巡回型）</td> </tr> <tr> <td>放課後学習指導室支援員</td> <td>39</td> <td></td> </tr> <tr> <td>小計</td> <td>51</td> <td></td> </tr> <tr> <td>合計</td> <td></td> <td>118</td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>○スクールソーシャルワーカー、登校支援コーディネーター活動のべ件数（2名合計）</p> <p>面談 176 家庭訪問 86 登校支援 536 日中活動支援 1,268 支援会議 220 その他 368 合計 2,654</p>					職 名	延べ人数	備 考	賃金	医療支援員（看護師）	1	（小学校）	障がい児支援員	20		特別支援学級補助員	20		学習支援員	6		中間教室支援員	18		スクールソーシャルワーカー 不登校支援コーディネーター	2	（巡回型）	小計	67		謝礼	スクールカウンセラー	9	（巡回型）	障がい児等指導相談員	3	（巡回型）	放課後学習指導室支援員	39		小計	51		合計		118	
	職 名	延べ人数	備 考																																												
賃金	医療支援員（看護師）	1	（小学校）																																												
	障がい児支援員	20																																													
	特別支援学級補助員	20																																													
	学習支援員	6																																													
	中間教室支援員	18																																													
	スクールソーシャルワーカー 不登校支援コーディネーター	2	（巡回型）																																												
	小計	67																																													
謝礼	スクールカウンセラー	9	（巡回型）																																												
	障がい児等指導相談員	3	（巡回型）																																												
	放課後学習指導室支援員	39																																													
	小計	51																																													
合計		118																																													

事業の課題及び方向性	<ul style="list-style-type: none"> 課題を抱えている児童生徒が増加している中、障害者差別解消法を受け、合理的な配慮が求められています。そのためには支援を行う職員の配置について、より要望及び重要性が増しています。このことから、当事業は継続することと共に、保護者の要望からも一層充実を考えていかななくてはならない事業です。
自己評価	A

※自己評価区分 A…優れた取組が多く、十分成果が上がっている B…優れた取組がいくつかあり、成果が上がっている C…一定の成果は上がっているが、課題もあり、改善の必要がある。D…成果が十分上がっておらず、改善の余地が多く、抜本的な見直しが必要である。

事務事業	No.7	事務事業名： 学校 ICT 事業の推進	H29 年度決算額	110,198 千円
事業の目的	<p>情報化の進む社会での生活に必須である、パソコン等に触れる機会を設けるとともに、どの児童・生徒にとっても分かりやすい授業となるよう ICT 機器を活用して、子ども達の「生きる力」を育む学校教育を推進する。</p> <p>慢性的に飽和状態にある教員の業務について、ICT の活用で校務事務の効率化を図り、授業や子供たちと向き合う時間を創出できる環境を整備する。</p>			
事業内容	<p>教育用・校務用のパソコン等の情報機器について、セキュリティを考慮しつつ見直しを含めた更新・整備を行う。</p> <p>新学習指導要領に適合した授業の推進を支援するため、文部科学省が示す「第 2 期教育振興基本計画」に基づいた情報機器の導入を行う。</p> <p>校務支援システムの導入と積極的活用により、教員の事務処理に係る負担軽減を図り、授業の質向上への側面的支援を行う。</p>			
達成状況	<p>ICT 環境の整備に重要な情報ネットワークの高速化とセキュリティの強化を図るため、教育委員会管理のセンターサーバを設置した。各学校の機器更新に合わせ、順次、学校内ネットワークの再構築を行う。</p> <p>「第 2 期教育振興基本計画」の整備目標の機器の 1 つである電子黒板について、市内中学校への一斉導入（126 台）を行った。</p> <p>今後、更新時期を迎えるパソコン教室の教育用パソコンや教職員が使用する校務用パソコンの更新については、コストパフォーマンスに配慮しながら、なるべく陳腐化を抑制できる仕様により構成する。</p> <p>【センターサーバ設置】 平成 27～28 年度に実施済（時期更新は 32 年度～） グループウェア・校務管理サーバ、資産管理サーバ、 教育用ファイルサーバ、管理サーバ、フィルタリングサーバ</p> <p>【各小中学校パソコン等更新計画】 平成 30 年度 穂高南小・穂高西小・穂高北小・穂高東中・穂高西中 平成 31 年度 豊科南小・豊科北小・豊科東小・豊科南中・豊科北中 三郷小・三郷中</p> <p>【電子黒板】 ※ 新規 平成 29 年度 電子黒板（プロジェクター型）126 台導入 市内 7 中学校の普通教室他</p>			
事業の課題及び方向性	<p>電子黒板と校務支援システムの導入を小学校から強く要望されています。</p> <p>平成 30 年度に示される次期学習指導要領を踏まえて、タブレット端末等の整備を検討する必要があります。</p>			
自己評価	B			

※自己評価区分 A…優れた取組が多く、十分成果が上がっている B…優れた取組がいくつかあり、成果が上がっている C…一定の成果は上がっているが、課題もあり、改善の必要がある。D…成果が十分上がっておらず、改善の余地が多く、抜本的な見直しが必要である。

事務事業	No.8	事務事業名： 英語教育の推進事業	H29 年度決算額	67,832 千円
事業の目的	グローバル化する国際社会に対応できる人材の育成を目指し、国際感覚を養うと共に、英会話能力の向上と英語で積極的にコミュニケーションを図ろうとする児童・生徒を育成する。			
事業内容	中学生海外ホームステイ交流派遣事業や、中学校英語課外授業を実施するほか、中学校7校に1人ずつの外国人ALTと、小学校の外国語活動において、外国人ALT4人と、日本人ALT2人を配置し、英語教育の推進を図る。			
達成状況	<p>中学生海外ホームステイ交流派遣事業</p> <p>本事業も4回目となり、平成29年度事業においても市内中学校2年生に募集を行い、14人の参加生徒に対し54人の応募があった。</p> <p>選考された参加生徒は、3回のオリエンテーション、6回の英会話レッスンを受講しホームステイに臨んだ。現地での貴重な体験は、平成30年5月27日開催の帰国報告会で多くの来場者へ発表され、頼もしい中学生の姿を見ていただくことができた。</p> <p>派遣期間：平成30年3月17日（土）から3月26日（月）までの10日間 派遣先：オーストラリア メルボルン</p> <p>中学校英語課外授業</p> <p>市内中学校7校で放課後を活用して実施している。授業は原則的に全て英語による実践的な英会話授業で、「英会話がもっと上達したい」「外国人と日常会話ができるようになりたい」と思う生徒が、ALT、参加生徒と英語でコミュニケーションを取ることで、英語の楽しさを実感できる課外授業となっている。</p> <p>平成29年度参加生徒数：69人</p> <p>外国語指導助手派遣事業</p> <p>小学校、中学校へALTを派遣し、英語授業におけるチームティーチングや英語に触れる機会は、子ども達の国際的視野の育成やコミュニケーション能力の素地を養い、英語教育の推進に繋がっている。</p>			
事業の課題及び方向性	英語課外授業は、参加希望者の多さを考慮して1クラスあたりの生徒数の見直しを行い、平成30年度より10人→12人としました。今後も学校規模や希望者に合わせて、受け入れ可能人数の拡大について検討していく必要があります。財政上の課題として、中学生海外ホームステイ交流派遣事業の個人負担額の見直しを検討する必要があります。			
自己評価	C			

※自己評価区分 A…優れた取組が多く、十分成果が上がっている B…優れた取組がいくつかあり、成果が上がっている C…一定の成果は上がっているが、課題もあり、改善の必要がある。D…成果が十分上がっておらず、改善の余地が多く、抜本的な見直しが必要である。

事務事業	No.9	事務事業名： コミュニティスクール事業	H29 年度決算額	7,087 千円																				
事業の目的	子どもたちの育成環境の充実に向け、学校と家庭さらに地域の人々と連携を図り、開かれた特色ある学校づくりを進めるため、地域住民が多様な形態で学校教育を支援し、大人との関りを通じて「生きる力」を育む。																							
事業内容	地域の方々が学校支援ボランティアとして、学校が必要とする支援活動に参加するほか、立志塾の開催、各地域における地域教育協議会においては、学校運営等の協議を行い地域と学校が共通理解を図る。																							
達成状況	<p>学校支援ボランティアの活動</p> <p>平成 29 年度の市内全小中学校のコミュニティスクール事業（スクールサポート事業より名称変更）の申請件数（部活動外部指導者申請を含む）は 223 件で、昨年度より 11 件増加している。</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>平成 28 年度申請件数</th> <th>平成 29 年度申請件数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>学習支援活動 87 件</td> <td>学習支援活動 85 件</td> </tr> <tr> <td>総合的な学習支援活動 41 件</td> <td>総合的な学習支援活動 45 件</td> </tr> <tr> <td>読書支援活動 17 件</td> <td>読書支援活動 19 件</td> </tr> <tr> <td>子ども安全支援活動 9 件</td> <td>子ども安全支援活動 11 件</td> </tr> <tr> <td>環境整備支援活動 7 件</td> <td>環境整備支援活動 6 件</td> </tr> <tr> <td>外国籍児童生徒支援活動 4 件</td> <td>外国籍児童生徒支援活動 6 件</td> </tr> <tr> <td>障がい児支援活動 1 件</td> <td>障がい児支援活動 2 件</td> </tr> <tr> <td>部活動支援活動（外部講師） 45 件</td> <td>部活動支援活動（外部講師） 48 件</td> </tr> <tr> <td>課外活動支援活動 1 件</td> <td>課外活動支援活動 1 件</td> </tr> </tbody> </table> <p>立志塾の開催</p> <p>市内各中学校では、安曇野の中学生のよりよい育ちに向け、子どもたちの心に火をつけ、高き志を培うことを目標に、学社連携の取り組みとして、各学校に講師を招き開催している。</p> <p>平成 29 年度開催学校：6 校 開催回数：11 件</p>				平成 28 年度申請件数	平成 29 年度申請件数	学習支援活動 87 件	学習支援活動 85 件	総合的な学習支援活動 41 件	総合的な学習支援活動 45 件	読書支援活動 17 件	読書支援活動 19 件	子ども安全支援活動 9 件	子ども安全支援活動 11 件	環境整備支援活動 7 件	環境整備支援活動 6 件	外国籍児童生徒支援活動 4 件	外国籍児童生徒支援活動 6 件	障がい児支援活動 1 件	障がい児支援活動 2 件	部活動支援活動（外部講師） 45 件	部活動支援活動（外部講師） 48 件	課外活動支援活動 1 件	課外活動支援活動 1 件
平成 28 年度申請件数	平成 29 年度申請件数																							
学習支援活動 87 件	学習支援活動 85 件																							
総合的な学習支援活動 41 件	総合的な学習支援活動 45 件																							
読書支援活動 17 件	読書支援活動 19 件																							
子ども安全支援活動 9 件	子ども安全支援活動 11 件																							
環境整備支援活動 7 件	環境整備支援活動 6 件																							
外国籍児童生徒支援活動 4 件	外国籍児童生徒支援活動 6 件																							
障がい児支援活動 1 件	障がい児支援活動 2 件																							
部活動支援活動（外部講師） 45 件	部活動支援活動（外部講師） 48 件																							
課外活動支援活動 1 件	課外活動支援活動 1 件																							
事業の課題及び方向性	「安曇野市コミュニティスクール事業」への名称変更後の初年度、これまでの市教委・学校・地域の連携体制を継承していますが、事務分担などに問題が残ります。他の多くの自治体で行われているボランティアへの謝礼の無償化や事業の分化への取組みが必要です。																							
自己評価	C																							

※自己評価区分 A…優れた取組が多く、十分成果が上がっている B…優れた取組がいくつかあり、成果が上がっている C…一定の成果は上がっているが、課題もあり、改善の必要がある。D…成果が十分上がっておらず、改善の余地が多く、抜本的な見直しが必要である。

事務事業	No.10	事務事業名： 中学生議会事業	H29年度決算額	40千円
事業の目的	中学生の目線による斬新な発想やアイデアを、今後の協働のまちづくり推進に活かすとともに、中学生が主権者の立場で政治への関心を高められるようにする。			
事業内容	<ul style="list-style-type: none"> ・市内各中学校（7校）2年生から、計18人を中学生議員として委嘱する。 ・全3回の学習会で、市政について市職員から学習する。 ・提言型の質問書を作成し、中学生議会当日発表する。 			
達成状況	<ul style="list-style-type: none"> ・学習会の実施 第1回学習会では、市政全般についての説明を受け、議員の方のお話を聞いた。また、目指す安曇野市像を視覚化するために、グループ内でウェビングマップを作成し、全体で発表した。 グループは6つに分かれて実施（グループ名は総合計画と揃える）。 （1）穏やかに暮らせるまち（2）安全・安心・快適なまち （3）豊かな産業のあるまち（4）人と文化を育むまち （5）協働によるまちづくり（6）環境にやさしいまち 第2回、第3回学習会では、市の12部42課の方から市政について深く説明を聞く機会を設けた。 ・質問書の作成 各中学校の担当教諭のご指導のもと、質問書を作成した。 ・傍聴を増やすための取組 ○議会当日にパブリックビューイングとして、大会議場にて中継による傍聴を可能にした。 ○支所や図書館などに、中学生議会のポスターの掲示依頼。 →29年度の傍聴数は74名（昨年度73名、一昨年度39名）。 ・議会当日の進行について 部長等の答弁を受けて、中学生議員が「自分にできること」をひとこと添えた。一方通行のやり取りではなく対話的に行えるよう配慮した。 			
事業の課題及び方向性	<ul style="list-style-type: none"> ・これまで6回の中学生議会で提案されたことに対する各課の取組を整理し、毎年の課題が建設的な提言になっていくようにします。 ・提言型質問の内容が、市政には寄り添うものになりますが、中学生からは少し離れた内容になりやすいので、「目指す安曇野市の姿」を実現するための提言であるということを大前提において作成していきます。 			
自己評価	B			

※自己評価区分 A…優れた取組が多く、十分成果が上がっている B…優れた取組がいくつかあり、成果が上がっている C…一定の成果は上がっているが、課題もあり、改善の必要がある。D…成果が十分上がっておらず、改善の余地が多く、抜本的な見直しが必要である。

事務事業	No.11	事務事業名： 指導主事「授業支援」事業	H29 年度決算額	— 千円																																										
事業の目的	<ul style="list-style-type: none"> ・安曇野の教育大綱と学力体力向上4カ年計画を実現する。 ・新学習指導要領で求められている「主体的・対話的で深い学び」の実現に向けて教員の資質能力向上を図る。 																																													
事業内容	<ul style="list-style-type: none"> ・市内小中学校 17 校への授業づくり支援 ・研究グループ（部会）への参加、支援 ・指導主事通信を発行し、先生方や児童生徒のよい姿をとらえ、広めていく。 																																													
達成状況	<ul style="list-style-type: none"> ・「できる限り学校へ足を運ぶこと」を心がけ、135 回訪問した。そのうち、学校からの訪問要請は 77 回で、日々の授業づくりをする機会を頂いた。 ・授業参観に限らず、「授業づくり支援」として事前に訪問し、先生方と共に教材研究や授業構想を練り、本番に備える形態での支援も行った。 ・学級づくりや児童生徒指導にかかわる支援の要請も多く、日々学校のニーズに答えられる支援を目指した。 <p>支援内容の内訳</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="3">学校訪問総数</th> <th colspan="4">学校訪問の内訳</th> </tr> <tr> <th></th> <th>訪問回数</th> <th>昨年度</th> <th>授業参観</th> <th>昨年度</th> <th>授業づくり支援</th> <th>昨年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>小学校</td> <td>68</td> <td>37</td> <td>53</td> <td>33</td> <td>15</td> <td>4</td> </tr> <tr> <td>中学校</td> <td>67</td> <td>49</td> <td>44</td> <td>32</td> <td>23</td> <td>17</td> </tr> <tr> <td>合計</td> <td>135</td> <td>86</td> <td>97</td> <td>65</td> <td>38</td> <td>21</td> </tr> <tr> <td>校外</td> <td>6</td> <td>6</td> <td colspan="3">※上記の内、学校から要請数 →</td> <td>77</td> </tr> </tbody> </table> <ul style="list-style-type: none"> ・教師主導型の授業が減り、児童生徒が主体的に学習を進める場面が増えた。 ・中学校に大型電子黒板が導入され、効果的に使われている場面が多かった。生徒の顔がしっかりと上がり、学びに向かう力が育成されている。 				学校訪問総数			学校訪問の内訳					訪問回数	昨年度	授業参観	昨年度	授業づくり支援	昨年度	小学校	68	37	53	33	15	4	中学校	67	49	44	32	23	17	合計	135	86	97	65	38	21	校外	6	6	※上記の内、学校から要請数 →			77
学校訪問総数			学校訪問の内訳																																											
	訪問回数	昨年度	授業参観	昨年度	授業づくり支援	昨年度																																								
小学校	68	37	53	33	15	4																																								
中学校	67	49	44	32	23	17																																								
合計	135	86	97	65	38	21																																								
校外	6	6	※上記の内、学校から要請数 →			77																																								
事業の課題及び方向性	<ul style="list-style-type: none"> ・確かな学力を付けるために、「何を教えるか」ではなく「何ができるようになるか」をさらに意識したい。 ・「先生の言った通りのことができる力」ではなく、課題を解決するために自分で考え、それを友と練り上げ、多面的な考えをもつことができる力を目指したい。 ・ICT機器を更に効果的に活用し、「勉強したい」という子どものサインを巧みに引き出し、意欲を高める魅力的な授業を展開したい。 ・30 年度は、新学習指導要領の移行期間に入る。「どんな子どもたちに育てたいか」のイメージを先生方と共有し、子どもたちの気持ちをつかむ魅力あふれる授業づくりをしたい。 																																													
自己評価	B																																													

※自己評価区分 A…優れた取組が多く、十分成果が上がっている B…優れた取組がいくつかあり、成果が上がっている C…一定の成果は上がっているが、課題もあり、改善の必要がある。D…成果が十分上がっておらず、改善の余地が多く、抜本的な見直しが必要である

事務事業	No.12	事務事業名： 入学準備金貸付制度	H29 年度決算額	4,680 千円																												
事業の目的	未来を担う人材の育成を図るため、高等学校又は大学等への入学に要する費用の支出が困難な保護者に対し、入学準備金を無利子で貸付ける「安曇野市入学準備金貸付制度」を創設し、平成 28 年 11 月から運用を開始した。																															
事業内容	平成 30 年 4 月に高等学校又は大学等への入学を希望する生徒の保護者で、入学に要する費用の支出が困難な方に対し、入学準備金の貸付けを無利子で行なう。																															
達成状況	<p>1. 貸付限度額</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="2">学校種別等</th> <th>貸付限度額</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="2">高等学校・高等専門学校</td> <td>国・公立</td> <td>10 万円</td> </tr> <tr> <td>私立</td> <td>30 万円</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">大学・短期大学・専門学校</td> <td>国・公立</td> <td>40 万円</td> </tr> <tr> <td>私立</td> <td>60 万円</td> </tr> </tbody> </table> <p>2. 要件</p> <p>(1) 高校・大学等に入学することが確実である進学希望者の保護者で安曇野市に住民票があり、かつ、現に市内に居住している方</p> <p>(2) 生計を一にする者の所得の合計額が基準額以下である方</p> <p>(3) 所得の合計額が基準額以上であっても、経済状況等が急変した方</p> <p>(4) 連帯保証人を立てられる方</p> <p>3. 返済方法 入学月の 4 月から返済が始まり、進学者の通常の修学期間内に完済</p> <p>4. 平成 29 年度利用実績</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>私立高校</th> <th>私立大学</th> <th>私立短期大学</th> <th>私立専門学校</th> <th>計</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>2 件</td> <td>4 件</td> <td>1 件</td> <td>2 件</td> <td>9 件</td> </tr> <tr> <td>600,000 円</td> <td>2,400,000 円</td> <td>480,000 円</td> <td>1,200,000 円</td> <td>4,680,000 円</td> </tr> </tbody> </table>				学校種別等		貸付限度額	高等学校・高等専門学校	国・公立	10 万円	私立	30 万円	大学・短期大学・専門学校	国・公立	40 万円	私立	60 万円	私立高校	私立大学	私立短期大学	私立専門学校	計	2 件	4 件	1 件	2 件	9 件	600,000 円	2,400,000 円	480,000 円	1,200,000 円	4,680,000 円
学校種別等		貸付限度額																														
高等学校・高等専門学校	国・公立	10 万円																														
	私立	30 万円																														
大学・短期大学・専門学校	国・公立	40 万円																														
	私立	60 万円																														
私立高校	私立大学	私立短期大学	私立専門学校	計																												
2 件	4 件	1 件	2 件	9 件																												
600,000 円	2,400,000 円	480,000 円	1,200,000 円	4,680,000 円																												
事業の課題及び方向性	<p>・平成 29 年度は、夏休み前に中学校、高校等の生徒及び保護者への周知を図った。30 年度も引き続き夏休み前の周知を行う。</p> <p>・29 年度から返済が開始されているが、滞納となる世帯が出始めてきているので、一定期間経過した後、保護者または連帯保証人への催告を都度行っていく。</p>																															
自己評価	C																															

※自己評価区分 A…優れた取組が多く、十分成果が上がっている B…優れた取組がいくつかあり、成果が上がっている C…一定の成果は上がっているが、課題もあり、改善の必要がある。D…成果が十分上がっておらず、改善の余地が多く、抜本的な見直しが必要である。

事務事業	No.13	事務事業名： 学校安全対策事業	H29 年度決算額	2,831 千円
事業の目的	通学路、学校敷地内の安全確保に対する対策を実施する。			
事業内容	児童・生徒の安全確保のため、熊よけ鈴の配布、通学路安全マップの作成、スズメ蜂等の害虫駆除、学校緊急無線通報システム、学校安全連絡網メール配信システムの活用、通学路合同点検の実施等の各種対策をする。			
達成状況	<p>(1) 熊よけ鈴の配布 小学校に対し希望数を調査し、予算の範囲内で購入・配布している。 平成 29 年度配布学校数：8 校（100 個）</p> <p>(2) 通学路安全マップの作成 通学路における危険箇所、注意箇所を記載した安全マップを関係機関及び地域に配布し、安全指導、見守り等の安全確保に活用していただくほか、市ホームページにも掲載し、一般の方が確認できるようにしている。</p> <p>(3) スズメ蜂等害虫駆除 学校敷地内のスズメ蜂の巣を専門業者に依頼し、駆除を行っている。 平成 29 年度実施件数：12 校 28 回</p> <p>(4) 学校緊急無線通報システム 学校内に不審者が侵入した場合や事故等があった場合、即座に職員室に連絡が取れる緊急無線通報システムを活用している。</p> <p>(5) 学校安全連絡網メール配信システム 安全連絡網メール配信システム（オクレンジャー）により、警察からの不審者情報をタイムリーに送信するほか、緊急連絡網として活用している。</p> <p>(6) 通学路合同点検の実施 通学路の継続的な安全確保の取り組みとして「安曇野市通学路交通安全プログラム」を策定し、地区・PTA 要望として提出された、通学路危険箇所を警察、道路管理者、学校、地域の方々と点検を行い、改善等の対応をしている。 学校教育課としても「通学路」標識等の修繕、設置工事を実施している。 平成 29 年度設置枚数：3 ヶ所</p>			
事業の課題及び方向性	児童・生徒の安全確保については、関係機関等との連携を強化し、情報共有を行いながら推進していきます。			
自己評価	B			

※自己評価区分 A…優れた取組が多く、十分成果が上がっている B…優れた取組がいくつかあり、成果が上がっている C…一定の成果は上がっているが、課題もあり、改善の必要がある。D…成果が十分上がっておらず、改善の余地が多く、抜本的な見直しが必要である。

事務事業	No.14	事務事業名： 小・中学校施設改修事業	H29 年度決算額	381,360 千円												
事業の目的	1. 学校教育法に基づき、小・中学校施設を整備する。 2. 国が示す耐震性能を確保し、安全な施設環境を提供する。 3. 老朽化した施設を改修し、健全な施設環境を提供する。															
事業内容	1. 屋内運動場の非構造部材の耐震化 2. 老朽化したトイレの改修 3. 校舎の長寿命化改良															
達成状況	1. 屋内運動場の非構造部材の耐震化 災害発生時に避難所となる体育館等の天井等の落下防止対策工事を行い、防災機能を強化した。平成 29 年度は計画していた 4 箇所を施工した。 <table border="1" data-bbox="427 680 1398 931"> <thead> <tr> <th>実施場所</th> <th>工事請負費</th> <th>主な内容</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>三郷小学校 体育館</td> <td>33,480,000 円</td> <td rowspan="4"> ・吊り天井撤去 ・高天井照明の耐震化 ・高天井照明の LED 化 </td> </tr> <tr> <td>明南小学校 体育館</td> <td>41,461,000 円</td> </tr> <tr> <td>穂高西中学校 体育館</td> <td>91,800,000 円</td> </tr> <tr> <td>堀金中学校 体育館</td> <td>54,000,000 円</td> </tr> </tbody> </table>				実施場所	工事請負費	主な内容	三郷小学校 体育館	33,480,000 円	・吊り天井撤去 ・高天井照明の耐震化 ・高天井照明の LED 化	明南小学校 体育館	41,461,000 円	穂高西中学校 体育館	91,800,000 円	堀金中学校 体育館	54,000,000 円
実施場所	工事請負費	主な内容														
三郷小学校 体育館	33,480,000 円	・吊り天井撤去 ・高天井照明の耐震化 ・高天井照明の LED 化														
明南小学校 体育館	41,461,000 円															
穂高西中学校 体育館	91,800,000 円															
堀金中学校 体育館	54,000,000 円															
	2. トイレの改修 平成 29 年度におけるトイレ改修は、1 校を計画して施工した。 ○豊科北中学校トイレ改修工事（Ⅲ期） 工事請負費：66,960,000 円															
	3. 校舎の長寿命化改良 構造体等の長寿命化による、中長期的な維持管理等に係る経費縮減及び学校施設の機能・性能の向上を目的とした、長寿命改良工事を、新たに穂高南小学校で実施した。なお、本工事の工期は平成 32 年度まで 4 年間の予定。 ○穂高南小学校長寿命化改良工事（Ⅰ期）工事請負費：59,190,000 円															
事業の課題及び方向性	体育館等の非構造部材耐震化工事については、学校の夏休みに工事が集中するなか、概ね計画どおりに実施することができ、体育館の吊り天井の耐震化は平成 30 年度に完了予定で、照明器具の落下防止工事などの吊り天井以外の耐震化は平成 31 年度に完了予定です。 豊科北中学校のトイレ改修工事は 3 年間の工事が完了し、清潔なトイレは生徒から高い評価を得ていますが、他校のトイレ改修が今後の課題である。 安曇野市内の小中学校 17 校のうち、7 校が既に築 40 年が経過し、老朽対策が課題となっている。改築（建替え）に係る国の補助金等の支援が見込めないことから、長寿命化改良工事を活用して学校施設の老朽化対策を実施していきます。															
自己評価	B															

※自己評価区分 A…優れた取組が多く、十分成果が上がっている B…優れた取組がいくつかあり、成果が上がっている C…一定の成果は上がっているが、課題もあり、改善の必要がある。D…成果が十分上がっておらず、改善の余地が多く、抜本的な見直しが必要である

事務事業	No.15	事務事業名： 給食事業	H29 年度決算額	304,260 千円
事業の目的	安曇野市学校給食理念（目標）に基づき、安全・安心で栄養バランスのとれた給食を提供するとともに、地産地消及び食育の推進を図る。			
事業内容	<ol style="list-style-type: none"> 1 市内 17 の小・中学校に安全・安心で美味しい給食の提供 2 食育への取り組みと地産地消の推進 3 学校給食食材の安全確保の取り組み 4 学校給食費の徴収及び食材費支払い 			
達成状況	<ol style="list-style-type: none"> 1 市内 17 の小・中学校に安全・安心で美味しい給食の提供 <ul style="list-style-type: none"> ・ 1 日の給食提供食数 約 8,550 食 ・ 年間の給食提供食数 約 1,710,000 食 ・ アレルギー対応食提供者数 45 人 2 食育への取り組みと地産地消の推進 <ul style="list-style-type: none"> ・ 月 1 回「安曇野の日」を設定し、地元食材を使用した献立の提供により地産地消を推進（年 12 回、4 センター共通） ・ 栄養教諭、栄養士等が学校訪問し、食育（栄養・食事のバランス・食の大切さ等）の実施（市内 17 校、314 クラス） ・ 給食だよりの発行（給食提供日全クラス数発行、4 センター共通） 3 学校給食食材の安全確保の取り組み <ul style="list-style-type: none"> ・ 市独自の放射線測定の実施（H23.11 月から） 全 315 食材（不検出） ・ 県への学校給食食材放射性物質検査の依頼（H24.4 月から各センター月 1 回） 全 38 食材（不検出） 4 学校給食費の徴収状況 <ul style="list-style-type: none"> ・ 口座振替登録率 99.34% ・ 給食費収納率 99.70%（前年比△0.04%） 			
事業の課題及び方向性	<p>【課題】 稼働から 10 年以上を経過（北部センター除く）し、厨房設備・施設等の修繕費が増加しています。食器の劣化が進み、入れ替えが必要です。学校給食費の収納率向上にむけて対策を強化します。</p> <p>【方向性】 安全・安心で栄養バランスのとれた給食を安定的に提供できるように管理運営を実施する。併せて、地元食材の使用拡大を進め地産地消推進と栄養教諭等の学校訪問を積極的に進め、食育の推進を図ります。</p>			
自己評価	B			

※自己評価区分 A…優れた取組が多く、十分成果が上がっている B…優れた取組がいくつかあり、成果が上がっている C…一定の成果は上がっているが、課題もあり、改善の必要がある。D…成果が十分上がっておらず、改善の余地が多く、抜本的な見直しが必要である。

事務事業	No.16	事務事業名： 青少年健全育成事業	H29 年度決算額	13,669 千円
事業の目的	青少年が心身ともに健やかに育ち、社会の一員としての使命と役割に自覚をもって自立する力を育成する。			
事業内容	1 青少年健全育成環境整備事務 2 青少年体験事業 3 子ども会育成会支援事務			
達成状況	<p>1 青少年センター事業</p> <p>(1)市の青少年健全育成の拠点となる「青少年センター」の事業において、広報・啓発、青少年相談、街頭巡回、社会環境浄化活動に取り組んだ。</p> <p>(2)広報・啓発活動では、日本と海外の子どもの生活の違いを知るパネルディスカッション「日本の子ども、外国の子ども、生活の違い」を開催、広報紙の発行、青少年相談活動として、学校教育課と連携した相談対応、街頭巡回活動として、長期休み中の5地域の街頭巡回、社会環境浄化活動として、有害図書・ビデオ等の自動販売機現地確認、また座禅による立ち直り支援活動を実施している「活禅寺北アルプス別院」の視察を行った。</p> <p>2 青少年体験事業</p> <p>(1)子どもの科学に対する探究心を深めるため、子どもから大人まで楽しめる、米村でんじろうサイエンスプロダクションによるサイエンスショーを10月8日に堀金総合体育館サブアリーナで開催し、約350人の来場があった。</p> <p>(2)「子ども文化祭」を11月25日穂高交流学習センター「みらい」にて行った。ステージ発表の部8団体、展示の部4団体が参加し、参加者は約250人、来場者は約350人。</p> <p>(3)子ども会育成会の小学校高学年生を対象にジュニアリーダー養成講座として、6月10日にレクレーション講座を安曇野市役所大会議室で、11月11日に三九郎組立講座を堀金中央公園で開催し、それぞれ28人と32人の児童が参加した。</p> <p>(4)『まごころ工房』と題して、犬との触合いを通して命の大切さを学ぶ講座をはじめ、子どもたちが体験できる講座を年間6回開催し、100人の児童が参加した。</p> <p>3 子ども会育成会支援</p> <p>(1)地域での子ども達の自主的な活動を推進させ、また、地域育成会の活動の活発化を目的に子ども会育成会活動への補助を行った。</p> <p>(2)基本補助金(平等割、均等割) 97 地区育成会 (補助金:4,672,750 円)</p> <p>(3)活性化補助金 44 地区育成会 (補助金:1,746,000 円)</p> <p>(4)安全共済会加入補助 8,176 人 (補助金:1,226,270 円)</p>			
事業の課題及び方向性	<p>ジュニアリーダーの養成講座について、実際の活動に繋がる事業展開に取り組みました。今後更に検討していきます。</p> <p>地域子ども会育成会の活動を活発にするため、活性化補助金の更なる活用に向けて周知を図るとともに利用地区数の増加に努めたいと考えます。</p>			
自己評価	B			

※自己評価区分 A…優れた取組が多く、十分成果が上がっている B…優れた取組がいくつかあり、成果が上がっている C…一定の成果は上がっているが、課題もあり、改善の必要がある。D…成果が十分上がっておらず、改善の余地が多く、抜本的な見直しが必要である。

事務事業	No.17	事務事業名： 成人式実施事業	H29 年度決算額	3,801 千円																																												
事業の目的	<p>当該年、成人となる若者を一堂に迎えて祝福するとともに、新成人としての自覚と誇りをもって前進することを念願して、安曇野市成人式を挙げる。</p> <p>この祝典を通じて、特に社会参加と、明るく豊かな社会づくりへの積極的な意識・態度を養う契機とする。</p>																																															
事業内容	<p>記念写真撮影</p> <p>記念式典</p> <p>交流会</p>																																															
達成状況	<p>安曇野市で 12 回目となる成人式を開催した。平成 30 年の成人式は安曇野スイス村サンモリッツを会場に 1 月 7 日（日）の連休中日に挙行され、対象者 1,047 人のうち 775 人の出席があった。</p> <p>式典は進行等の役割を実行委員が行ない、来賓約 60 人に御臨席いただき厳正に執り行われ、市から記念品として「袱紗」と「記念写真」を贈った。記念写真は、出身中学校別に当時の恩師も含め撮影した。</p> <p>式典後は、実行委員会制作のフォトムービーを鑑賞し、懐かしい給食を味わいながら交流会が行われた。</p> <p>※安曇野市成人式の出席の状況</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>年</th> <th>出席者数</th> <th>対象者数</th> <th>出席率 (%)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr><td>21</td><td>724</td><td>1,069</td><td>67.7</td></tr> <tr><td>22</td><td>764</td><td>1,041</td><td>73.4</td></tr> <tr><td>23</td><td>743</td><td>1,028</td><td>72.3</td></tr> <tr><td>24</td><td>765</td><td>1,049</td><td>72.9</td></tr> <tr><td>25</td><td>747</td><td>1,041</td><td>71.8</td></tr> <tr><td>26</td><td>716</td><td>979</td><td>73.1</td></tr> <tr><td>27</td><td>844</td><td>1,155</td><td>73.1</td></tr> <tr><td>28</td><td>761</td><td>1,028</td><td>74.0</td></tr> <tr><td>29</td><td>780</td><td>1,041</td><td>74.9</td></tr> <tr><td>30</td><td>775</td><td>1,047</td><td>74.0</td></tr> </tbody> </table>				年	出席者数	対象者数	出席率 (%)	21	724	1,069	67.7	22	764	1,041	73.4	23	743	1,028	72.3	24	765	1,049	72.9	25	747	1,041	71.8	26	716	979	73.1	27	844	1,155	73.1	28	761	1,028	74.0	29	780	1,041	74.9	30	775	1,047	74.0
年	出席者数	対象者数	出席率 (%)																																													
21	724	1,069	67.7																																													
22	764	1,041	73.4																																													
23	743	1,028	72.3																																													
24	765	1,049	72.9																																													
25	747	1,041	71.8																																													
26	716	979	73.1																																													
27	844	1,155	73.1																																													
28	761	1,028	74.0																																													
29	780	1,041	74.9																																													
30	775	1,047	74.0																																													
事業の課題及び方向性	<p>成人式は、対象者は近年 1,000 人前後を推移しており、出席率についてはここ数年 70% 以上の高い水準を維持しています。今後も実行委員と実施内容を検討し、記念となる式典になるよう努めます。</p>																																															
自己評価	B																																															

※自己評価区分 A…優れた取組が多く、十分成果が上がっている B…優れた取組がいくつかあり、成果が上がっている C…一定の成果は上がっているが、課題もあり、改善の必要がある。D…成果が十分上がっておらず、改善の余地が多く、抜本的な見直しが必要である。

事務事業	No.18	事務事業名： 安曇野検定実施事業	H29 年度決算額	2,329 千円															
事業の目的	「合併後、他地域のことを知る機会がない。市として市民の一体感を醸成するには、お互いの地域を知る機会が不可欠である。」との市民の声から、平成 23 年度より『安曇野検定』を実施している。																		
事業内容	安曇野検定（一般の部、ジュニアの部） 安曇野検定準備講座（全 10 回） 図書「つなぐ－安曇野の伝説－」作成																		
達成状況	<p>○安曇野検定</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>区分</th> <th>受検者</th> <th>合格者</th> <th>合格率</th> <th>※平成 28 年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>一般の部</td> <td>55 人</td> <td>14 人</td> <td>25.5%</td> <td>基本編 45 人(合格者 42 人) 講座編 37 人(合格者 17 人)</td> </tr> <tr> <td>ジュニアの部</td> <td>288 人</td> <td>141 人</td> <td>49.0%</td> <td>241 人 (合格者 156 人)</td> </tr> </tbody> </table> <p>※出題範囲 一般の部：安曇野検定準備講座（全 10 回）の内容から出題。 ジュニアの部：図書「つなぐ－安曇野の伝説－」の内容から出題。</p> <p>※合格基準 一般の部、ジュニアの部ともに 100 点満点中 70 点以上が合格</p> <p>○安曇野検定準備講座 安曇野ゆかりの人物を学ぶことで市の歴史や文化を深く知るための講座を全 10 回実施（①戦前日本航空界の英雄 飯沼正明、②長野県国会開設運動を導いた人 藤森寿平【前編】、③長野県国会開設運動を導いた人 藤森寿平【後編】、④貞享騒動とその時代 多田加助【前編】、⑤貞享騒動とその時代 多田加助【後編】、⑥郷土の彫刻家 小川大系、⑦郷土を愛した漆芸術家 高橋節郎、⑧大河小説『安曇野』の作家 臼井吉見【前編】、⑨大河小説『安曇野』の作家 臼井吉見【後編】、⑩映画監督 熊井啓）、延べ 601 人が受講した。</p> <p>○図書「つなぐ－安曇野の伝説－」作成 子どもたちが過去から伝わる物語に触れ、昔の人々の生活や考えに思いを巡らし、郷土愛を育むため、記録に残る昔話を図書「つなぐ－安曇野の伝説－」として編纂し 500 部発行。小中学校や図書館等関係機関に配布した。また、小学校において読み聞かせの出前講座を行った。</p>				区分	受検者	合格者	合格率	※平成 28 年度	一般の部	55 人	14 人	25.5%	基本編 45 人(合格者 42 人) 講座編 37 人(合格者 17 人)	ジュニアの部	288 人	141 人	49.0%	241 人 (合格者 156 人)
区分	受検者	合格者	合格率	※平成 28 年度															
一般の部	55 人	14 人	25.5%	基本編 45 人(合格者 42 人) 講座編 37 人(合格者 17 人)															
ジュニアの部	288 人	141 人	49.0%	241 人 (合格者 156 人)															
事業の課題及び方向性	全国的にご当地検定の廃止・見直しがされるなか、安曇野検定でも一般の部については受検者が年々減少し、受検者の固定化も見られます。今後は、地域を知る機会としての目的はそのままに、市民ニーズが高い「安曇野のことを知る」ための講座のみへ転換し、内容の充実を図るよう進めます。また、受講者によるグループ結成促進や新たな講師の人材育成にも努めます。																		
自己評価	B																		

※自己評価区分 A…優れた取組が多く、十分成果が上がっている B…優れた取組がいくつかあり、成果が上がっている C…一定の成果は上がっているが、課題もあり、改善の必要がある。D…成果が十分上がっておらず、改善の余地が多く、抜本的な見直しが必要である

事務事業	No.19	事務事業名： 生涯学習講座実施事業	H29 年度決算額	1,264 千円												
事業の目的	安曇野市生涯学習推進計画に基づき、健康で豊かな生涯学習社会を実現する。															
事業内容	市民大学講座（特別編 1 回・信州大学編 5 回） 学校開放講座（13 講座 78 回） 日本語教室（原則毎週 1 回、4 会場） 日本語教室ボランティア講習会（2 回）															
達成状況	<p>○市民大学講座 特別編 会場：豊科公民館ホール 参加者 595 人 演題：「日本百名山、2 百名山踏破を語る」 講師：田中 陽希さん</p> <p>○市民大学講座信州大学編 会場：豊科交流学習センター 参加者延べ 279 人</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th style="width: 50%;">演題</th> <th style="width: 50%;">講師名</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>信州の気候と地球温暖化</td> <td>理学部 鈴木 啓助 教授</td> </tr> <tr> <td>花粉症と食物アレルギー —症状緩和の糸口とは？—</td> <td>農学部 片山 茂 准教授</td> </tr> <tr> <td>睡眠と健康 人はなぜ眠るのか —睡眠のメカニズム—</td> <td>医学部 藤本 圭作 教授</td> </tr> <tr> <td>錯覚の不思議な世界</td> <td>人文学部 菊池 聡 教授</td> </tr> <tr> <td>信濃の国におけるまちの起源と成長物語 —地域探究の楽しさを知る—</td> <td>教育学部 石澤 孝 教授</td> </tr> </tbody> </table> <p>○学校開放講座 参加者延べ 778 人 南安曇農業高等学校、豊科高等学校、穂高商業高等学校、明科高等学校、 豊科南中学校、穂高南小学校で実施</p> <p>○日本語教室 延べ 1,081 人 豊科、穂高、三郷及び堀金で原則毎週 1 回開催</p> <p>○日本語教室ボランティア講習会 延べ 22 人 日本語の教え方についての講習会を 2 回開催</p>				演題	講師名	信州の気候と地球温暖化	理学部 鈴木 啓助 教授	花粉症と食物アレルギー —症状緩和の糸口とは？—	農学部 片山 茂 准教授	睡眠と健康 人はなぜ眠るのか —睡眠のメカニズム—	医学部 藤本 圭作 教授	錯覚の不思議な世界	人文学部 菊池 聡 教授	信濃の国におけるまちの起源と成長物語 —地域探究の楽しさを知る—	教育学部 石澤 孝 教授
演題	講師名															
信州の気候と地球温暖化	理学部 鈴木 啓助 教授															
花粉症と食物アレルギー —症状緩和の糸口とは？—	農学部 片山 茂 准教授															
睡眠と健康 人はなぜ眠るのか —睡眠のメカニズム—	医学部 藤本 圭作 教授															
錯覚の不思議な世界	人文学部 菊池 聡 教授															
信濃の国におけるまちの起源と成長物語 —地域探究の楽しさを知る—	教育学部 石澤 孝 教授															
事業の課題及び方向性	広報紙やホームページへの掲載、ポスター掲示、チラシの配布などで周知に努めていますが、若年層の参加が少ないため、周知方法を工夫する必要があります。市民大学講座では、知名度がある講師を招いたり、世相を反映した講座を実施することで参加者が増加しました。今後も時代の潮流にあった事業展開をするとともに、幅広い世代のニーズを把握し、事業を企画するよう努めます。															
自己評価	B															

※自己評価区分 A…優れた取組が多く、十分成果が上がっている B…優れた取組がいくつかあり、成果が上がっている C…一定の成果は上がっているが、課題もあり、改善の必要がある。D…成果が十分上がっておらず、改善の余地が多く、抜本的な見直しが必要である。

事務事業	No.20	事務事業名： 社会教育団体支援事業	H29年度決算額	2,187千円																																																																																			
事業の目的	予算の範囲内で補助金を交付し、社会教育事業及び生涯学習事業の推進を図る。																																																																																						
事業内容	社会教育推進事業及び芸術文化協会の運営への補助金交付																																																																																						
達成状況	○安曇野市社会教育事業補助金交付要綱による社会教育推進団体への補助金																																																																																						
	<table border="1"> <thead> <tr> <th>交付先</th> <th>補助金額</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>安曇野市連合婦人会</td> <td>90,000円</td> </tr> <tr> <td>安曇野市太鼓連盟</td> <td>200,000円</td> </tr> <tr> <td>安曇野市鈴虫を育てる会</td> <td>40,000円</td> </tr> <tr> <td>安曇野市囲碁・将棋大会</td> <td>93,670円</td> </tr> <tr> <td>芸術文化協会</td> <td>1,763,200円</td> </tr> <tr> <td>合計</td> <td>2,186,870円</td> </tr> </tbody> </table> <p>各種団体での社会教育事業及び地域芸術文化協会の運営は円滑に行われ、適正に遂行されていた。</p> <p>参考：芸術文化協会の状況（会員数） (人)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>年度</th> <th>H22</th> <th>H23</th> <th>H24</th> <th>H25</th> <th>H26</th> <th>H27</th> <th>H28</th> <th>H29</th> <th>比較 (22:29)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>豊科</td> <td>430</td> <td>394</td> <td>374</td> <td>355</td> <td>353</td> <td>309</td> <td>281</td> <td>273</td> <td>△157</td> </tr> <tr> <td>穂高</td> <td>672</td> <td>672</td> <td>575</td> <td>548</td> <td>517</td> <td>500</td> <td>572</td> <td>647</td> <td>△25</td> </tr> <tr> <td>三郷</td> <td>467</td> <td>431</td> <td>417</td> <td>368</td> <td>361</td> <td>405</td> <td>421</td> <td>418</td> <td>△49</td> </tr> <tr> <td>堀金</td> <td>340</td> <td>293</td> <td>276</td> <td>291</td> <td>277</td> <td>280</td> <td>257</td> <td>236</td> <td>△104</td> </tr> <tr> <td>明科</td> <td>226</td> <td>218</td> <td>217</td> <td>250</td> <td>240</td> <td>240</td> <td>240</td> <td>240</td> <td>14</td> </tr> <tr> <td>合計</td> <td>2,135</td> <td>2,008</td> <td>1,859</td> <td>1,812</td> <td>1,748</td> <td>1,734</td> <td>1,771</td> <td>1,814</td> <td>△321</td> </tr> </tbody> </table>				交付先	補助金額	安曇野市連合婦人会	90,000円	安曇野市太鼓連盟	200,000円	安曇野市鈴虫を育てる会	40,000円	安曇野市囲碁・将棋大会	93,670円	芸術文化協会	1,763,200円	合計	2,186,870円	年度	H22	H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29	比較 (22:29)	豊科	430	394	374	355	353	309	281	273	△157	穂高	672	672	575	548	517	500	572	647	△25	三郷	467	431	417	368	361	405	421	418	△49	堀金	340	293	276	291	277	280	257	236	△104	明科	226	218	217	250	240	240	240	240	14	合計	2,135	2,008	1,859	1,812	1,748	1,734	1,771	1,814
交付先	補助金額																																																																																						
安曇野市連合婦人会	90,000円																																																																																						
安曇野市太鼓連盟	200,000円																																																																																						
安曇野市鈴虫を育てる会	40,000円																																																																																						
安曇野市囲碁・将棋大会	93,670円																																																																																						
芸術文化協会	1,763,200円																																																																																						
合計	2,186,870円																																																																																						
年度	H22	H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29	比較 (22:29)																																																																														
豊科	430	394	374	355	353	309	281	273	△157																																																																														
穂高	672	672	575	548	517	500	572	647	△25																																																																														
三郷	467	431	417	368	361	405	421	418	△49																																																																														
堀金	340	293	276	291	277	280	257	236	△104																																																																														
明科	226	218	217	250	240	240	240	240	14																																																																														
合計	2,135	2,008	1,859	1,812	1,748	1,734	1,771	1,814	△321																																																																														
事業の課題及び方向性	社会教育事業を推進するため、関係団体や各種事業の要望を把握するとともに従来事業の内容精査、自立を促します。																																																																																						
自己評価	C																																																																																						

※自己評価区分 A…優れた取組が多く、十分成果が上がっている B…優れた取組がいくつかあり、成果が上がっている C…一定の成果は上がっているが、課題もあり、改善の必要がある。D…成果が十分上がっておらず、改善の余地が多く、抜本的な見直しが必要である。

事務事業	No.21	事務事業名： 放課後・家庭教育推進費	H29 年度決算額	7,387 千円																																																																														
事業の目的	<ul style="list-style-type: none"> ・放課後の子どもの居場所として学校の施設を使用し、1年生から6年生までの異年齢の子どもが交じりあい、十分に遊び、さらに地域の人たちと関わることで、たくましさや社会性を養う。 ・子どもが健やかに成長できるよう家庭教育の支援を行い、社会性のある自立した子どもを育てる。 																																																																																	
事業内容	1 放課後子ども教室実施事業 2 家庭教育支援事業																																																																																	
達成状況	1 放課後子ども教室推進事業 放課後の児童の安全安心な居場所として、また、異年齢間の交流を図り、様々な体験や遊びを通じ、地域の大人の見守りの中で、思い切り遊ぶ機会を確保するため、10小学校の施設を利用して、週1回の放課後子ども教室「わいわいランド」を開催した。 <table border="1" data-bbox="485 824 1337 1518"> <thead> <tr> <th>学校名</th> <th>コーディネーター</th> <th>教育活動サポーター</th> <th>登録児童数</th> <th>開催日数</th> <th>延べ出席人数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr><td>豊科南</td><td>2</td><td>13</td><td>77</td><td>28</td><td>1,523</td></tr> <tr><td>豊科北</td><td>2</td><td>14</td><td>97</td><td>30</td><td>2,061</td></tr> <tr><td>豊科東</td><td>2</td><td>13</td><td>53</td><td>34</td><td>1,208</td></tr> <tr><td>穂高南</td><td>2</td><td>21</td><td>133</td><td>34</td><td>3,178</td></tr> <tr><td>穂高北</td><td>2</td><td>22</td><td>146</td><td>33</td><td>3,430</td></tr> <tr><td>穂高西</td><td>2</td><td>12</td><td>79</td><td>33</td><td>2,082</td></tr> <tr><td>三郷</td><td>2</td><td>21</td><td>139</td><td>35</td><td>3,911</td></tr> <tr><td>堀金</td><td>2</td><td>16</td><td>143</td><td>33</td><td>2,739</td></tr> <tr><td>明南</td><td>2</td><td>14</td><td>58</td><td>33</td><td>1,305</td></tr> <tr><td>明北</td><td>2</td><td>15</td><td>43</td><td>32</td><td>1,109</td></tr> <tr><td>合計</td><td>20</td><td>161</td><td>968</td><td>325</td><td>22,546</td></tr> <tr><td>H28年度</td><td>20</td><td>144</td><td>917</td><td>312</td><td>24,986</td></tr> </tbody> </table>				学校名	コーディネーター	教育活動サポーター	登録児童数	開催日数	延べ出席人数	豊科南	2	13	77	28	1,523	豊科北	2	14	97	30	2,061	豊科東	2	13	53	34	1,208	穂高南	2	21	133	34	3,178	穂高北	2	22	146	33	3,430	穂高西	2	12	79	33	2,082	三郷	2	21	139	35	3,911	堀金	2	16	143	33	2,739	明南	2	14	58	33	1,305	明北	2	15	43	32	1,109	合計	20	161	968	325	22,546	H28年度	20	144	917	312	24,986
学校名	コーディネーター	教育活動サポーター	登録児童数	開催日数	延べ出席人数																																																																													
豊科南	2	13	77	28	1,523																																																																													
豊科北	2	14	97	30	2,061																																																																													
豊科東	2	13	53	34	1,208																																																																													
穂高南	2	21	133	34	3,178																																																																													
穂高北	2	22	146	33	3,430																																																																													
穂高西	2	12	79	33	2,082																																																																													
三郷	2	21	139	35	3,911																																																																													
堀金	2	16	143	33	2,739																																																																													
明南	2	14	58	33	1,305																																																																													
明北	2	15	43	32	1,109																																																																													
合計	20	161	968	325	22,546																																																																													
H28年度	20	144	917	312	24,986																																																																													
	2 家庭教育支援事業 子育てが楽しくなる、撮影技術を学んで実際にわが子を撮影してみる、子どもの写真の撮り方講座を2回開催し、東ロビーで作品展示を行った。																																																																																	
事業の課題及び方向性	放課後子ども教室は、昨年と比べ延べ参加人数が若干減少しましたが、引き続き安全運営及びスタッフの確保に努め実施していきます。																																																																																	
自己評価	C																																																																																	

※自己評価区分 A…優れた取組が多く、十分成果が上がっている B…優れた取組がいくつかあり、成果が上がっている C…一定の成果は上がっているが、課題もあり、改善の必要がある。D…成果が十分上がっておらず、改善の余地が多く、抜本的な見直しが必要である。

事務事業	No.22	事務事業名： 児童館運営事業	H29年度決算額	192,657千円
事業の目的	国の地域子育て支援拠点事業、放課後児童健全育成事業を推進するため、また子育て支援の充実を図るため、児童館、児童クラブの運営及び施設整備を行う。			
事業内容	市内9ヶ所の児童館の運営、市内11ヶ所（穂高西小、三郷小空き教室含む）の児童クラブの運営を、指定管理者である安曇野市社会福祉協議会に委託し、子育て支援事業、子育て相談事業、地域ふれあい事業、青少年育成事業、放課後児童健全育成事業等の事業を実施する。			
達成状況	<p>1 児童館実施事業</p> <p>(1) 子育て支援事業 「キッズパーク」、「みんなあつまれ」、「お下がり会」</p> <p>(2) 子育て相談事業 「育児相談」、「子育て勉強会」</p> <p>(3) 地域ふれあい事業 「ふれあい農園」、「地域ボランティア」「児童館祭り」</p> <p>(4) 青少年育成事業 「チャレンジタイム」、「お楽しみ企画」</p> <p>(5) 放課後児童健全育成事業 「児童クラブ」、「障がい児児童クラブ」</p> <p>2 児童館来館者数 91,581人（児童クラブ利用者数を含まない）</p> <p>3 児童クラブ事業</p> <p>(1) 児童クラブ定員 通年 694人、長期 342人、合計 1,036人</p> <p>(2) 児童クラブ登録者 通年 556人、長期 399人、合計 955人（最多時）</p> <p>(3) 延べ利用者数 97,978人（平成28年度延べ利用者数 88,641人）</p> <p>(4) 平成29年4月1日より、穂高西小学校内において余裕教室を利用して児童クラブを実施している。</p> <p>また、平成29年度は南穂高児童クラブ30人、穂高南小児童クラブ14人の通年定員の拡充を図った。</p>			
事業の課題及び方向性	<p>児童クラブ事業は、利用のニーズが増加により6年生までの利用拡大の検討や、小学校の余裕教室等の活用も含め施設整備を進める必要があります。</p> <p>児童館・児童クラブ事業は、平成25年度から指定管理により運営を行っていますが、一層の子育て支援サービスの充実を図るために、今後も指定管理者との協議を密にし、事業の在り方等を検討していきます。</p>			
自己評価	C			

※自己評価区分 A…優れた取組が多く、十分成果が上がっている B…優れた取組がいくつかあり、成果が上がっている C…一定の成果は上がっているが、課題もあり、改善の必要がある。D…成果が十分上がっておらず、改善の余地が多く、抜本的な見直しが必要である。

事務事業	No.23	事務事業名： 中央公民館事業	H29年度決算額	36,455 千円
事業の目的	<p>地域の社会教育機関として、社会教育法第 20 条で定める「市民の生活文化の進行と社会福祉の増進に寄与する」ため、『安曇野市公民館の理念』の下、安曇野市公民館を運営した。</p> <p>【一安曇野市公民館の理念（平成 27 年 10 月 26 日制定）一】</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 地域づくりを地区公民館とともに進めます。 2 地域のつなぎ役として、各種団体と連携し交流を進めます。 3 事業の継続性を大事にしながら、時代に即したものに発展させます。 4 市民に最も身近な生涯学習活動の場を提供します。 			
事業内容	<p>公民館運営審議会の運営 公民館長会・公民館担当者会議の運営 安曇野市公民館大会の開催 安曇野市公民館報の発行 安曇野市総合芸術展の開催 各 5 分館における講座等の開催 地区公民館活動及び建設補助金の交付</p>			
達成状況	<p>○「安曇野市公民館大会」を 5 月 21 日に開催し、約 300 人が参加した。功労者・地区公民館報表彰、事例発表を野沢地区公民館が、また「群がりづくり～やっちゃえ！公民館～」と題して、脚本・演出家の丸田 勉さんによる講演を行なった。</p> <p>○安曇野市公民館報は市民 5 人の編集委員の協力により、地域で活躍しているリーダーやグループ、地区公民館の活動紹介などの記事を掲載し、6 回発行した。</p> <p>○「安曇野市総合芸術展」を 3 月 7 日から 20 日にかけて、豊科交流学習センター「きぼう」で開催し、絵画・写真・彫刻などの分野から 104 点を展示し、観覧者数は延べ 963 人であった。</p> <p>○各 5 分館における講座等の開催 豊科、穂高、三郷、堀金、明科の 5 分館において、ふるさと講座や地場産食材を使った料理教室など各地域の特徴を活かした講座を実施した。</p> <p>○地区公民館活動補助金として、98 地区公民館へ計 30,825,000 円と、地区公民館建設補助金を 1 地区公民館に 1,766,666 円の補助を行い、地区公民館を支援した。</p>			
事業の課題及び方向性	<p>「安曇野市公民館の理念」の下、各公民館の運営体制の統一を図るため、館長会や担当者会議で情報を共有しながら、随時調整を行っていく必要があります。</p>			
自己評価	B			

※自己評価区分 A…優れた取組が多く、十分成果が上がっている B…優れた取組がいくつかあり、成果が上がっている C…一定の成果は上がっているが、課題もあり、改善の必要がある。D…成果が十分上がっておらず、改善の余地が多く、抜本的な見直しが必要である。

事務事業	No.24	事務事業名： 交流学习センター等事業	H29年度決算額	6,654千円
事業の目的	市民の「交流の場」「学習の場」、さらには地域交流の拠点として、市民が参加し活発に利用されるよう、安曇野市穂高交流学习センター、安曇野市豊科交流学习センター、安曇野市三郷交流学习センター、安曇野市明科学習館の4施設の適正かつ円滑に管理運営を行う。			
事業内容	生涯学習推進計画及び文化振興計画の実現のため、次代の文化活動の担い手の育成や、親子で参加できる体験・学習できるような文化活動等による教育の機会の充実を図るとともに、文化芸術の鑑賞の機会と創作活動・発表の場の提供として、自主文化事業、貸館業務のほか、各種団体等との共催事業にも取り組みを行った。			
達成状況	<p>○主な自主事業</p> <p>1 あづみの新進音楽家公開オーディション、選考された者によるコンサート</p> <p>(1)第7回あづみの新進音楽家公開オーディション 開催日7月29日(土) 参加者 ジュニアの部13組15人 一般の部 3組4人</p> <p>(2)選考された者によるコンサート</p> <p>ア ウィンターコンサート 開催日12月16日(土) 参加者 3組4人 入場者155人</p> <p>イ 第3回あづみジュニアクラシックコンサート 開催日3月24日(土) 参加者8組12人 入場者130人</p> <p>2 熊井啓監督顕彰事業 熊井啓監督没後10周年記念企画「お吟さま」上映会・熊井明子氏講演会 開催日2月3日(土) 入場者 午前の部175人 午後の部177人</p> <p>3 三郷交流学习センター開館記念コンサート</p> <p>(1)viva!プラス!!東京吹奏楽団ファミリーコンサート 開催日3月10日(土) 入場者 315人</p> <p>(2)viva!プラス!!東京吹奏楽団スプリングコンサート 開催日3月11日(日) 入場者165人</p> <p>4 安曇野スタイル2017(共催事業) 開催期日11月2日(木)から5日(日) 安曇野スタイル2017の開催に合わせ、インフォメーションとして参加作家の作品を展示</p>			
事業の課題及び方向性	<p>【課題】</p> <p>三郷交流学习センター開館記念事業は、チケットが完売となり好評を得ました。あづみの新進音楽家公開オーディション一般の部の参加者や、アンサンブル藝弦コンサートの入場者数が減少傾向にあります。</p> <p>【方向性】</p> <p>自主事業の内容の充実と周知方法を検討し、より多くの市民に優れた文化芸術を提供します。</p>			
自己評価	B			

※自己評価区分 A…優れた取組が多く、十分成果が上がっている B…優れた取組がいくつかあり、成果が上がっている C…一定の成果は上がっているが、課題もあり、改善の必要がある。D…成果が十分上がっておらず、改善の余地が多く、抜本的な見直しが必要である。

事務事業	No.25	事務事業名： 図書館活動の推進事業	H29年度決算額	164,892千円																																																																																																						
事業の目的	市民へ質の高い情報を提供できる「学習センター」、「情報センター」、「文化センター」として多様化する市民の「学び」のニーズに応える図書館の確立を進めている。																																																																																																									
事業内容	1 新鮮な資料や最新の情報の市民への提供 2 さまざまな「学び」の場としての図書館サービスの充実 3 「地域の教育力」を高める活動の推進 4 図書館利用に障がいのある方々への支援 5 安曇野市の歴史文化の伝承 6 市民の調査・研究支援体制の強化援助																																																																																																									
達成状況	1 図書館基本計画（平成21年9月策定）のサービス目標値と平成29年度末の状況 (1) 全館 <table border="1" data-bbox="459 855 1393 1066"> <thead> <tr> <th>項目</th> <th>個人登録率</th> <th>市民1人あたりの貸出点数</th> <th>団体登録数</th> <th>蔵書総点数</th> <th>年間利用者数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>目標値</td> <td>39.5%</td> <td>5.6</td> <td>150</td> <td>400,000</td> <td>280,000</td> </tr> <tr> <td>H29年度末</td> <td>44.5%</td> <td>7.7</td> <td>213</td> <td>415,533</td> <td>205,944</td> </tr> </tbody> </table> <p>※人口：98,073人（平成30年4月1日現在）</p> (2) 館別 <table border="1" data-bbox="475 1160 1393 1868"> <thead> <tr> <th>項目</th> <th>個人貸出点数</th> <th>団体貸出点数</th> <th>予約件数</th> <th>レファレンスサービス件数</th> <th>総蔵書点数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="2">中央</td> <td>目標値</td> <td>215,000</td> <td>28,000</td> <td>3,800</td> <td>250</td> <td>200,000</td> </tr> <tr> <td>H29年度末</td> <td>477,488</td> <td>9,907</td> <td>13,163</td> <td>2,049</td> <td>207,847</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">豊科</td> <td>目標値</td> <td>160,000</td> <td>3,100</td> <td>3,500</td> <td>150</td> <td>65,000</td> </tr> <tr> <td>H29年度末</td> <td>155,476</td> <td>8,525</td> <td>7,262</td> <td>1,413</td> <td>84,022</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">三郷</td> <td>目標値</td> <td>86,000</td> <td>1,700</td> <td>3,200</td> <td>100</td> <td>53,000</td> </tr> <tr> <td>H29年度末</td> <td>36,176</td> <td>2,036</td> <td>2,113</td> <td>331</td> <td>39,019</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">堀金</td> <td>目標値</td> <td>45,000</td> <td>900</td> <td>2,000</td> <td>50</td> <td>41,000</td> </tr> <tr> <td>H29年度末</td> <td>59,333</td> <td>3,411</td> <td>3,383</td> <td>28</td> <td>36,034</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">明科</td> <td>目標値</td> <td>54,000</td> <td>900</td> <td>2,700</td> <td>50</td> <td>41,000</td> </tr> <tr> <td>H29年度末</td> <td>29,965</td> <td>3,430</td> <td>2,361</td> <td>1,043</td> <td>48,611</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">合計</td> <td>目標値</td> <td>560,000</td> <td>34,600</td> <td>15,200</td> <td>600</td> <td>400,000</td> </tr> <tr> <td>H29年度末</td> <td>760,053</td> <td>27,309</td> <td>28,282</td> <td>4,864</td> <td>415,533</td> </tr> </tbody> </table> <p>※ 目標値は、中央・明科は、平成26年度、その他は、整備後5年以内</p>				項目	個人登録率	市民1人あたりの貸出点数	団体登録数	蔵書総点数	年間利用者数	目標値	39.5%	5.6	150	400,000	280,000	H29年度末	44.5%	7.7	213	415,533	205,944	項目	個人貸出点数	団体貸出点数	予約件数	レファレンスサービス件数	総蔵書点数	中央	目標値	215,000	28,000	3,800	250	200,000	H29年度末	477,488	9,907	13,163	2,049	207,847	豊科	目標値	160,000	3,100	3,500	150	65,000	H29年度末	155,476	8,525	7,262	1,413	84,022	三郷	目標値	86,000	1,700	3,200	100	53,000	H29年度末	36,176	2,036	2,113	331	39,019	堀金	目標値	45,000	900	2,000	50	41,000	H29年度末	59,333	3,411	3,383	28	36,034	明科	目標値	54,000	900	2,700	50	41,000	H29年度末	29,965	3,430	2,361	1,043	48,611	合計	目標値	560,000	34,600	15,200	600	400,000	H29年度末	760,053	27,309	28,282	4,864	415,533
項目	個人登録率	市民1人あたりの貸出点数	団体登録数	蔵書総点数	年間利用者数																																																																																																					
目標値	39.5%	5.6	150	400,000	280,000																																																																																																					
H29年度末	44.5%	7.7	213	415,533	205,944																																																																																																					
項目	個人貸出点数	団体貸出点数	予約件数	レファレンスサービス件数	総蔵書点数																																																																																																					
中央	目標値	215,000	28,000	3,800	250	200,000																																																																																																				
	H29年度末	477,488	9,907	13,163	2,049	207,847																																																																																																				
豊科	目標値	160,000	3,100	3,500	150	65,000																																																																																																				
	H29年度末	155,476	8,525	7,262	1,413	84,022																																																																																																				
三郷	目標値	86,000	1,700	3,200	100	53,000																																																																																																				
	H29年度末	36,176	2,036	2,113	331	39,019																																																																																																				
堀金	目標値	45,000	900	2,000	50	41,000																																																																																																				
	H29年度末	59,333	3,411	3,383	28	36,034																																																																																																				
明科	目標値	54,000	900	2,700	50	41,000																																																																																																				
	H29年度末	29,965	3,430	2,361	1,043	48,611																																																																																																				
合計	目標値	560,000	34,600	15,200	600	400,000																																																																																																				
	H29年度末	760,053	27,309	28,282	4,864	415,533																																																																																																				

事業の課題及び方向性	<p>1 課題</p> <p>平成 30 年 3 月に三郷図書館がリニューアルオープンし、市内図書館の整備が終了しました。市民アンケートでは、公共図書館を利用する市民の割合は約半数という結果ですが、図書館に足を運んでくれるきっかけづくりとして、イベントや講座などソフト事業の充実を図るとともに、図書館活動の周知を図るため、マスコミへの情報提供や広報誌への掲載、ホームページやツイッターなど様々な媒体による情報発信が必要です。</p> <p>2 方向性</p> <p>第 2 次図書館基本計画の基本方針に基づき、ソフト事業を中心とした図書館運営の充実を図ります。また、複合施設である市の図書館の特徴を生かし、交流学习センター等と連携した図書館サービスの提供や、各図書館の地域性を生かした特色ある蔵書、運営について検討する必要があります。</p>
自己評価	B

※自己評価区分 A…優れた取組が多く、十分成果が上がっている B…優れた取組がいくつかあり、成果が上がっている C…一定の成果は上がっているが、課題もあり、改善の必要がある。D…成果が十分上がっておらず、改善の余地が多く、抜本的な見直しが必要である。

事務事業	No.26	事務事業名： 人権教育推進事業	H29年度決算額	2,067千円
事業の目的	安曇野市人権教育・啓発推進計画の基本目標と基本方針に基づき、人権問題の現状と課題に対し、あらゆる場を通じた人権教育・啓発を推進する。			
事業内容	人権教育推進委員会・人権教育指導員合同会議運営 企業人権教育推進協議会の運営 地域人権教育推進協議会、学社連携事業、地区人権学習会支援			
達成状況	<p>安曇野市人権教育・啓発推進計画に基づき、人権教育の推進に向けて全市的に啓発事業に取り組むとともに、各地域の人権教育推進協議会等と地区公民館での取り組みを推進した。</p> <p>○全市的取り組み 学校、地域、家庭、職場が一体となった人権教育推進に向けて人権教育推進委員会小委員会、人権教育推進委員及び人権教育指導員の合同会議をそれぞれ2回開催し、合同会議では、研修として講演会を実施した。 企業人権教育推進協議会は設立8年目となり、31企業53事業所が加入しています（H30.2月現在）。本年度は総会、理事会に加え、2回の啓発講演会を実施した。</p> <p>○各地域の取り組み 人権教育推進協議会の開催のほか学社連携事業として、小中学校人権教育推進協議会と連携し、地域ごとに人権教育推進委員・指導員が授業参観、講演会、懇談会などへ参加した。 また、地区公民館での人権学習会開催を支援し、地区の現状に応じて扱いやすいテーマで98全ての地区公民館で実施され、高齢者、女性、子どもの人権などの人権問題について幅広い学習が行われた。</p>			
事業の課題及び方向性	安曇野市人権教育・啓発推進計画の基本目標と基本方針に基づき、人権問題の現状と課題に対し、あらゆる場を通じた人権教育・啓発を継続的に推進する必要があります。			
自己評価	B			

※自己評価区分 A…優れた取組が多く、十分成果が上がっている B…優れた取組がいくつかあり、成果が上がっている C…一定の成果は上がっているが、課題もあり、改善の必要がある。D…成果が十分上がっておらず、改善の余地が多く、抜本的な見直しが必要である。

事務事業	No.27	事務事業名： 人権啓発事業	H29年度決算額	1,888千円
事業の目的	<p>市内小学校（10校）の4年生が共通の体験を積み、安曇野に対する郷土愛や児童同士の絆を深め、人権について学習することを目的に「安曇野市 1/2 成人記念 人権・平和特別授業～kizuki～」を開催した。</p> <p>また、人権尊重に対する意識を高めるため、「安曇野市人権尊重作文集～kiseki～」の作成に取り組みを行った。</p>			
事業内容	<ul style="list-style-type: none"> ・安曇野市 1/2 成人記念 人権・平和特別授業～kizuki～ 市歌斉唱 児童発表「私たちの平和なふるさと安曇野」 ミュージカル「オズの魔法使い」（劇団ポプラ）鑑賞 ・安曇野市人権尊重作文集～kiseki～ 人権尊重作文集の作成・配布 			
達成状況	<p>○市歌斉唱 各学校において事前に練習を行い、当日は840人の児童が声を合わせて市歌を斉唱した。</p> <p>○児童発表「私たちの平和なふるさと安曇野」 「みんなが笑顔になるために」をテーマに各学校で取り組んでいる活動を発表しました。あいさつ運動や姉妹学級の交流、名前を大切にしている活動など、他の学校の取り組みを聞くことができ、児童にとって良い学習になった。</p> <p>○ミュージカル「オズの魔法使い」の鑑賞 オズの魔法使いは、冒険を通して故郷とそこで暮らす人々を想う心や考える力、優しい心などに気付くストーリーとなっており、子どもたちの感想文には、「家族や友だちとの絆を深めたい」「人の気持ちを考えていけるよう努力したい」「自分に自信を持ちたい」などの感想があり、子どもたちに多くの気付きがあった。</p> <p>○人権尊重作文集の作成・配布 安曇野市人権尊重作文集～kiseki～は、市内小学校3年生から中学校3年生の各学年から2～4作品を選考（小学4年生は1校1作品）し、合計27作品を掲載した。各学校・図書館・人権教育推進委員・各地区人権教育推進委員に配布し、人権教育の教材・資料として役立てることができた。</p>			
事業の課題及び方向性	<p>平成28年度からミュージカル上演が可能な施設である豊科公民館ホールで実施していますが、収容人数が限られているため5校ずつ2回に分けて実施しています。市内10校の4学年全児童が一堂に会せるよう事業内容の見直しを図る必要があります。</p>			
自己評価	A			

※自己評価区分 A…優れた取組が多く、十分成果が上がっている B…優れた取組がいくつかあり、成果が上がっている C…一定の成果は上がっているが、課題もあり、改善の必要がある。D…成果が十分上がっておらず、改善の余地が多く、抜本的な見直しが必要である。

事務事業	No.28	事務事業名： 体育団体等支援事業	H29 年度決算額	11,518 千円
事業の目的	市民のスポーツ振興、健康体力づくりの推進、競技力向上などの活動に対する支援を目的に、体育協会及びスポーツ少年団の活動に対して助成する。また、全国大会以上のスポーツ等の大会に出場する個人・団体に激励金を交付する。			
事業内容	①体育協会に対しては対象事業費の2分の1以内で予算の範囲内の助成 ②スポーツ少年団に対しては、対象事業費の3分の2以内で予算の範囲内の助成 ※いずれも「安曇野市社会教育事業補助金交付要綱」による			
達成状況	<p>数値目標（安曇野市スポーツ振興計画 25 ページより）</p> <p>体育協会加入者数 平成 29 年度末：8,000 人 ※スポーツ少年団の目標数値はない。</p> <p>(1)体育協会への支援 登録者数：6,216 人 補助額：6,200 千円</p> <p>(2) スポーツ少年団への支援 登録者数：1,877 人 補助額：4,092 千円</p> <p>(3)各種競技会及び発表会出場者激励金 件数：107 件 激励金総額：1,226 千円 (内訳：全国大会：105 件、世界大会：2 件)</p>			
事業の課題及び方向性	<p>体育協会については、団体離れする中で、4 年間ほぼ横這いから登録者数となっています。中核的なスポーツ振興を担う体育協会は、市民スポーツの活性化に重要な役割を果たしているため、今後も協議しながら事業内容に合った適正な補助金額の支出が必要と考えます。</p> <p>また、全国大会以上の競技出場者が増加する一方、スポーツ少年団の指導者の高齢化やなり手不足の現状から、指導者の増加に向け、資格取得の支援や研修会などの指導者の育成に対する取り組みが必要です。</p>			
自己評価	C			

※自己評価区分 A…優れた取組が多く、十分成果が上がっている B…優れた取組がいくつかあり、成果が上がっている C…一定の成果は上がっているが、課題もあり、改善の必要がある。D…成果が十分上がっておらず、改善の余地が多く、抜本的な見直しが必要である。

事務事業	No.29	事務事業名： 市民スポーツ祭	H29年度決算額	1,500千円
事業の目的	市民スポーツを通して交流を深め、安曇野市民としての連帯感を共有するとともに、スポーツの普及振興を図ることを目的として、実行委員会に運営を委託する。			
事業内容	(1)総合開会式（誰もがスポーツに親しむことができる体験種目・スポーツ交流会及び体力測定）の開催 (2) 17の種目別競技会			
達成状況	<p>平成22年度から始まった「市民スポーツ祭」も、第8回目の開催となり、日頃の練習の成果の場としての競技力向上やスポーツの親睦が図られた。また、5種目のスポーツ体験及び体力測定を通じて、自己の体力・運動能力を知り、スポーツの楽しみを体験しながら、興味・関心を持つきっかけの助長となった。</p> <p>(1) 総合開会式 6月25日(日) 堀金総合体育館 約530人参加 ・総合開会式：市歌斉唱、市歌体操の実施 安曇野市スポーツ大使に委嘱した、有森裕子さんのビデオメッセージ放映 ・スポーツ交流会(ニュースポーツ：5種目)と体力測定</p> <p>(2) 種目別競技会 6～12月まで 述べ 2,701人参加</p> <p>※目標数値等はない。</p>			
事業の課題及び方向性	<p>市民スポーツ開始から8年を経過し、当初からの目的である市民スポーツの一体感の醸成は一定の効果が出ています。</p> <p>しかし、開催競技種目が固定化(マンネリ化)されており、参加者数もほぼ横這い状態であることから、運営方法等の今後の方向性を実行委員会の中で検討し、多くの方が参加できる内容の充実を図ることが必要と思われます。</p>			
自己評価	C			

※自己評価区分 A…優れた取組が多く、十分成果が上がっている B…優れた取組がいくつかあり、成果が上がっている C…一定の成果は上がっているが、課題もあり、改善の必要がある。D…成果が十分上がっておらず、改善の余地が多く、抜本的な見直しが必要である。

事務事業	No.30	事務事業名： 新総合体育館建設事業（H28～32）	H29年度決算額	50,537千円
事業の目的	<p>安曇野地域合併協議会の合意項目にも上げられ、新市で調整することとなっていた、豊科南部総合公園屋内運動施設や「公共施設白書」に盛り込まれている公共施設の統合・再整理等を検討する中で、市内だけでなく市外や県外からの利用を想定し、規模の大きな大会にも利用が可能となる施設の整備を重点に、平成27年6月に「公式スポーツ施設整備計画」を策定した。</p> <p>この計画の趣旨及び基本方針を基に、豊科南部総合公園に新総合体育館を、合併特例債の期限である平成32年度までに整備する事を目的とした事業である。</p>			
事業内容	<p>豊科南部総合公園計画区域変更（都市計画決定変更）拡張面積 A=2.9ha 用地取得 A=約 2.8ha 新総合体育館建設 延床面積（屋内）A=約 7,300㎡ 駐車場等外構整備</p>			
達成状況	<p>現地測量実施（地形図作成） 用地測量実施（境界確認、分筆図作成） 地質調査実施（機械土質ボーリングΣL=92.0m、土質試験一式） 基本設計完了</p> <p>基本設計業務委託について、安曇野市新総合体育館建設基本設計者審査検討委員会を設置し、プロポーザルにて選定した大建・エアンドエー安曇野市新総合体育館建設設計共同企業体と9月に契約を締結した。市民ワークショップ、市民説明会等を経て3月に基本設計が完了した。</p> <p>基本設計の概要 施設規模：延床面積（屋内）約 7,300㎡ 主要施設：メイン・サブアリーナ、柔剣道場、トレーニング室兼多目的利用室 付帯施設：会議室、幼児体育室、更衣・シャワー室、事務室、放送室等 外構：駐車場、ふらっとひろば、多目的ひろば、ウォームアップひろば、スケートボードひろば</p>			
事業の課題及び方向性	<p>計画の実現に向けては、次のような点が重点項目となる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・市民に親しまれ、多くの人に利用いただけるような体育館を建設すること。 ・スポーツだけでなく、市民交流、健康長寿、防災などの利活用。 ・合併特例債の発行期限である平成32年度末までに事業を完了すること ・財源の確保 ・法規制への対応(都市計画法、都市公園法、農地法等) ・関係者、地元等の合意形成 ・拡張用地取得 <p>平成30年度中に用地取得及び実施設計を取りまとめる予定。</p>			
自己評価	C			

※自己評価区分 A…優れた取組が多く、十分成果が上がっている B…優れた取組がいくつかあり、成果が上がっている C…一定の成果は上がっているが、課題もあり、改善の必要がある。 D…成果が十分上がっておらず、改善の余地が多く、抜本的な見直しが必要である。

事務事業	No.31	事務事業名： スポーツ振興事業（スポーツ教室等開催事業）	H29年度決算額	7,168 千円
事業の目的	<p>運動をするきっかけづくりのための教室や、その後の継続性を高めるためのサークル化に向けた支援などを行い、スポーツ実施率*の向上を目指す。</p> <p>また、幼児期の体力向上に向けた取り組みとして、市内保育園の18園に講師を派遣し、コーディネーショントレーニングを実施する。</p> <p>※スポーツ実施率：過去1年間に週に1回以上、運動・スポーツを行った成人の割合</p>			
事業内容	<p>① 子どもや親子を対象にした主な教室 （親子ウキウキ体操教室、わんぱくGYM、アーチェリー、スラックライン など）</p> <p>② 成人を対象にした主な教室 （スポーツ吹矢、エアロビクス系の教室、ニュースポーツ、インターバル速歩、ウェープリングストレッチ、ポールウォーキング など）</p> <p>③ 平衡感覚や運動神経が発達する幼少期の運動能力向上を目的としたコーディネーショントレーニングの推進 （幼保派遣事業・キッズ教室・学ぶ会）</p>			
達成状況	<p>(1)スポーツ教室の開催 定員数1,926人の教室を開催し、延べ12,887人の参加があり、年々参加者が増加しているとともに、全教室の平均出席率は約88%と、前年度から9%程度上昇し参加者も意欲的であった。</p> <p>また、全教室でアンケートを実施し、参加者の状況や継続したスポーツへの意欲等を把握し、次年度の計画の資料とした。</p> <p>(2)コーディネーショントレーニングの開催 幼保派遣事業(市内18園) 回数：122回 参加者：述べ6,811人 キッズ教室 回数：60回 参加者：述べ263人 学ぶ会 回数：1回 参加者：31人 ※教室終了後、自主活動サークルへ移行した団体：4団体</p>			
事業の課題及び方向性	<p>アンケートで希望の多かったスポーツ教室の導入や継続しやすい初心者向けのスポーツに配慮し、市民ニーズにあった教室を開催しました。また、教室の開催時期・託児所の配置など教室の参加しやすい環境づくりや、教室の申し込みの24時間受付可能な電子サービスを導入するなど利便性を図り、効果的かつ効率的な教室運営に努めました。</p> <p>コーディネーショントレーニング事業の保育園への派遣は定着しつつありますが、講師不足が課題であるため、指導者の確保について検討が必要です。</p>			
自己評価	B			

※自己評価区分 A…優れた取組が多く、十分成果が上がっている B…優れた取組がいくつかあり、成果が上がっている C…一定の成果は上がっているが、課題もあり、改善の必要がある。D…成果が十分上がっておらず、改善の余地が多く、抜本的な見直しが必要である。

事務事業	No.32	事務事業名： 文化芸術振興事業	H29 年度決算額	5,119 千円
事業の目的	<p>子どもや高齢者、障がいのある人など、全ての市民がすぐれた文化芸術に接することができるよう、展覧会やコンサートなどの内容を充実するとともに鑑賞しやすい環境づくりを進める。</p> <p>市民の文化芸術活動が、文化芸術を受容鑑賞するだけでなく、創作や発表へと発展し自己実現を図ることができる環境づくりを推進する。</p>			
事業内容	<p>「文化振興計画」に掲げられた諸施策の実現に向け諸事業を実施した。</p> <p>(1) 東京藝術大学との交流事業の開催 第1回：6月2日(金) 第2回：11月4日(土)・5日(日) 第3回：2月3日(土)・4日(日) 小中学校合同吹奏楽祭：10月7日(日)</p> <p>(2) 能楽教室の開催 6月27日(火)：三郷中学校 6月28日(水)：穂高西小学校</p> <p>(3) 文化講演会の開催 テーマ「発酵と微生物の神秘」 (講師：小泉武夫氏) 12月17日(日)</p>			
達成状況	<p>(1) 東京藝術大学との交流事業 参加生徒数 241人(目標150人) 合同コンサート来場者数289人(目標400人) 小中学校合同吹奏楽祭：1,780人</p> <p>(2) 能楽教室 鑑賞者数995人</p> <p>(3) 文化講演会 来場者数450人</p>			
事業の課題及び方向性	<p>・平成29年度に策定した「第2次安曇野市文化振興計画」に基づき、事業内容の充実や発展に向けて推進していきたい。</p>			
自己評価	B			

※自己評価区分 A…優れた取組が多く、十分成果が上がっている B…優れた取組がいくつかあり、成果が上がっている C…一定の成果は上がっているが、課題もあり、改善の必要がある。D…成果が十分上がっておらず、改善の余地が多く、抜本的な見直しが必要である。

事務事業	No.33	事務事業名： 諸団体との協働事業	H29年度決算額	13,163 千円
事業の目的	安曇野の風土と先人たちの営みによって、培われ、育まれてきた文化を土台に、新たな安曇野の文化、個性あふれる魅力的な文化を創造していくために、必要な環境の整備と文化を支える協働の仕組みづくりを推進する。			
事業内容	<p>諸団体への補助、協働による事業実施などを通じて、市民が多様な文化芸術に親しむ機会を創出し、豊かで潤いある市民生活の実現を目指した。</p> <p>(1) 第 18 回安曇野紙ヒコーキ競技大会 4月9日(日)報償費：63,721 円 (2) 第 13 回あづみの公園早春賦音楽祭 5月4日(木)補助金：1,900,000 円 (3) 第 54 回童謡まつり 5月5日(金) 補助金：500,000 円 (4) 第 27 回信州安曇野能楽鑑賞会 8月19日(土) 補助金：3,900,000 円 (5) 『安曇野文化』刊行 第 23 号～25 号発行 補助金：1,900,000 円 (6) 美術館博物館連携事業 ア 美術館等連携事業印刷物等作成・年間行事予定表デザイン印刷業務委託料 136,620 円 イ スタンプラリー・ギャラリートークリレー・学校ミュージアムほか 学校ミュージアム 1月25日(木)：堀金中学校 1月26日(金)：豊科北小学校 (7) 映像史料保存活用事業（あづみのフィルムアーカイブ）：3,780,000 円 ア 市民団体と協働し、各家庭に眠る昭和 50 年代までの 8mm フィルムを 収集しデジタル化を進め『よみがえる安曇野Ⅱ』を制作し上映会を開催。 イ 出前講座として『よみがえる安曇野』の上映会の開催 (8) 安曇野市古民家調査（信州大学工学部）：497,380 円 (9) 「懐かしき安曇野の水のすがた-移り変わりの記録-」（川の自然と文化研究所）：486,000 円 ア 古写真の収集とデジタル化を行ない、写真展示と記念講演会の開催</p>			
達成状況	<p>諸団体との協働事業</p> <p>(1) 第 18 回安曇野紙ヒコーキ競技大会 参加者数 30 人 (2) 第 13 回あづみの公園早春賦音楽祭 来場者数 17,100 人 (3) 第 54 回童謡まつり 来場者数 550 人 (4) 第 27 回信州安曇野能楽鑑賞会 来場者数 433 人 (5) 『安曇野文化』刊行 第 23 号～25 号発行 (6) 美術館博物館連携事業 ア 美術館等連携事業印刷物等作成 市立美術館・博物館の年間行事予定一覧表を全校児童・生徒に配布。 イ ギャラリートークリレー・学校ミュージアムほか、文化庁の補助金を得て、市内公私立の美術館博物館で実行委員会を組織して諸事業を実施。児童の利用促進に結び付けることができた。 計 2,448 人</p>			

	<p>(7) 映画『よみがえる安曇野Ⅱ』完成上映会（あづみのフィルムアーカイブ） 来場者 580 人 ア 『よみがえる安曇野』上映回数 8ヶ所 上映会来場者延べ約 380 人</p> <p>(8) 安曇野市民家調査（信州大学工学部） ア 本棟造りの成立過程の調査、古文書にみる建築材の比較から、他地域の 本棟造りとの違いを調査、建築部材樹種の調査。</p> <p>(9) 「懐かしき安曇野の水のすがた-移り変わりの記録-」（川の自然と文化研究所）記念講演会参加者 80 人</p>
事業の課題及び方向性	<p>・各事業とも、合併以前より各町村が行ってきた文化事業を継続して行っており、マンネリ傾向にあります。「信州安曇野新能事業」は会場となる龍門淵公園周辺の整備工事が終わり、今後、屋外での新能公演とするか検討が必要です。</p>
自己評価	B

※自己評価区分 A…優れた取組が多く、十分成果が上がっている B…優れた取組がいくつかあり、成果が上がっている C…一定の成果は上がっているが、課題もあり、改善の必要がある。D…成果が十分上がっておらず、改善の余地が多く、抜本的な見直しが必要である。

事務事業	No.34	事務事業名： 財政支援団体への補助	H29 年度決算額	6,770 千円
事業の目的	<p>安曇野の風土と先人たちの営みによって、培われ、育まれてきた文化を土台に、新たな安曇野の文化、個性あふれる魅力的な文化を創造していくために、必要な環境の整備と文化を支える協働の仕組みづくりを推進する。</p> <p>安曇野市の文化振興の一翼を担う組織として、市が出捐する公益財団法人安曇野文化財団の自主事業の充実を図る。</p>			
事業内容	<p>財政支援団体への補助金交付</p> <p>(1) 公益財団法人安曇野文化財団運営補助 補助金：5,630,000 円</p> <p>(2) 一般財団法人井口喜源治記念館運営補助 補助金：1,140,000 円</p>			
達成状況	<p>1 財政支援団体の活動状況</p> <p>(1) 公益財団法人安曇野文化財団運営補助 生活工芸品の管理・活用、財団の管理運営（事務局業務）を実施した。</p> <p>(2) 一般財団法人井口喜源治記念館運営補助 井口喜源治の遺産を大切に保管・管理し、各種事業を実施した。</p>			
事業の課題及び方向性	<p>・財政支援団体の活動にあたっては、事業内容に合った適正な補助金額の支出が必要。事業実施にあたって、各団体と連絡を密にし、効果的な事業推進を図ります。</p>			
自己評価	B			

※表の行の高さは自由に調整してください。

※自己評価区分 A…優れた取組が多く、十分成果が上がっている B…優れた取組がいくつかあり、成果が上がっている C…一定の成果は上がっているが、課題もあり、改善の必要がある。D…成果が十分上がっておらず、改善の余地が多く、抜本的な見直しが必要である

事務事業	No.35	事務事業名： 博物館・美術館等の管理運営	H29 年度決算額	139,861 千円																																					
事業の目的	<p>市民ニーズに沿い、各施設の個性や特徴を活かした魅力ある企画を実現できるよう、利用形態や運営方針の改善に努めるほか、施設間の連携強化を図る。</p> <p>市民が幅広く文化の魅力を理解し、豊かな感性や想像力を養うことができるように、学習・体験機会の充実を図る。</p>																																								
事業内容	<p>1 豊科近代美術館・田淵行男記念館・飯沼飛行士記念館・穂高陶芸会館・臼井吉見文学館・高橋節郎記念美術館・豊科郷土博物館・貞享義民記念館・穂高郷土資料館の管理運営を行う。</p> <p>2 博物館・美術館等の管理運営、資料の収集については下記で審議。</p> <p>(1) 博物館協議会 登録博物館 4 館及び類似施設 5 館の管理運営状況等について協議。全 3 回</p> <p>(2) 美術資料等選定委員会：美術資料の収集について協議。全 2 回</p> <p>3 「新市立博物館構想」を策定し、今後の安曇野市の博物館等の方向性を規定。</p>																																								
達成状況	<p>1 博物館等の運営状況</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>施設名</th> <th>運営</th> <th>指定管理料</th> <th>入館者数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>豊科近代美術館</td> <td rowspan="4">(公財)安曇野文化財団</td> <td>33,893,000 円</td> <td>21,465 人</td> </tr> <tr> <td>田淵行男記念館</td> <td>19,228,000 円</td> <td>8,894 人</td> </tr> <tr> <td>飯沼飛行士記念館</td> <td>2,244,000 円</td> <td>556 人</td> </tr> <tr> <td>穂高陶芸会館</td> <td>7,344,000 円</td> <td>2,514 人</td> </tr> <tr> <td>臼井吉見文学館</td> <td>ほたるぶくろの会</td> <td>2,185,000 円</td> <td>426 人</td> </tr> <tr> <td>高橋節郎記念美術館</td> <td>直営</td> <td>-</td> <td>11,085 人</td> </tr> <tr> <td>豊科郷土博物館</td> <td>直営</td> <td>-</td> <td>10,904 人</td> </tr> <tr> <td>貞享義民記念館</td> <td>直営</td> <td>-</td> <td>6,277 人</td> </tr> <tr> <td>穂高郷土資料館</td> <td>直営</td> <td>-</td> <td>1,315 人</td> </tr> </tbody> </table> <p>2 目標数値等</p> <p>(1) 高橋節郎記念美術館 貸出施設(主屋・南の蔵)の稼働率(年間実使用时间/使用可能時間):51.5%</p> <p>(2) 貞享義民記念館 貸出施設(企画展示室)の稼働率(年間実使用日数/使用可能日数):88.93% 貸出施設(研修室)の稼働率(年間実使用时间/使用可能時間):12.54%</p>				施設名	運営	指定管理料	入館者数	豊科近代美術館	(公財)安曇野文化財団	33,893,000 円	21,465 人	田淵行男記念館	19,228,000 円	8,894 人	飯沼飛行士記念館	2,244,000 円	556 人	穂高陶芸会館	7,344,000 円	2,514 人	臼井吉見文学館	ほたるぶくろの会	2,185,000 円	426 人	高橋節郎記念美術館	直営	-	11,085 人	豊科郷土博物館	直営	-	10,904 人	貞享義民記念館	直営	-	6,277 人	穂高郷土資料館	直営	-	1,315 人
施設名	運営	指定管理料	入館者数																																						
豊科近代美術館	(公財)安曇野文化財団	33,893,000 円	21,465 人																																						
田淵行男記念館		19,228,000 円	8,894 人																																						
飯沼飛行士記念館		2,244,000 円	556 人																																						
穂高陶芸会館		7,344,000 円	2,514 人																																						
臼井吉見文学館	ほたるぶくろの会	2,185,000 円	426 人																																						
高橋節郎記念美術館	直営	-	11,085 人																																						
豊科郷土博物館	直営	-	10,904 人																																						
貞享義民記念館	直営	-	6,277 人																																						
穂高郷土資料館	直営	-	1,315 人																																						
事業の課題及び方向性	<p>・「新市立博物館構想」に基づき、管理運営体制の見直しや、一部の施設の統廃合について検討したいと考えます。歴史的な価値のある公文書や、古文書の収集・整理を引き続き実施、蓄積された貴重な資料を有効に活用するために、文書館の開館を目指したいと考えています。</p>																																								
自己評価	B																																								

※自己評価区分 A…優れた取組が多く、十分成果が上がっている B…優れた取組がいくつかあり、成果が上がっている C…一定の成果は上がっているが、課題もあり、改善の必要がある。D…成果が十分上がっておらず、改善の余地が多く、抜本的な見直しが必要である。

【個別の事務事業に対する意見、提言等】

No.	事務事業	意見・要望等
1~2	<ul style="list-style-type: none"> ・いじめ・不登校対策事業 ・適応指導教室運営事業 	<ul style="list-style-type: none"> ・通常学級だけが児童・生徒の学ぶ場所ではなく、不登校傾向にある子どもにとって必要な居場所としての適応指導教室である。小学校、中学校とも、不登校児童生徒数が微減あるいは横ばいの状態であることは、関係の先生方等の努力の成果が表れている。 ・民生児童委員は地域の子どもと非常に密接な関係がある。地域との関係や、学校とのつながりを今後も一層緊密にしてほしい。その中で、民生児童委員が地域全体で子どもたちを守るという形につながっていくよう望む。 ・いじめの根源が家族間のトラブルに起因するケースもある。この場合、地域で様子をよく知っている人が中に入ることによって解決に導かれるというケースもあるので、参考にしてほしい。 ・いじめ不登校問題対策連絡協議会の会議が年2回ということだが、会議の回数を増やすなど、関係者が情報をより共有できる場としてほしい。形式的な会議ではなく、日常的に子どもに深く関わり、実情を把握している多くの人材の参画を求めることが有効である。 ・適応指導教室では、その子に自己肯定間持たせることが、学校復帰につながる。適応指導教室は学校との間にワンクッション置いた場所であるので、常に門戸を広げ、迅速に対応できるようにしてほしい。
3~6	<ul style="list-style-type: none"> ・教育相談事業 ・就学相談事業 ・教育指導員等の配置 ・学校加配職員及びスクールソーシャルワーカー等の配置・派遣事業 	<ul style="list-style-type: none"> ・発達障がいの子どもたちの割合が増えている状況がある。H29からH30にかけて、信州大学の本田教授が発達障がいの子供たちを診察できる小児科医を増やす動きや、信大の学生に発達障がいの専門的な授業を行う動きなど、「発達障がいの子供たちの支援をどのように行っていったらいいのか」を社会に広める努力をされている。最近も保育士を中心とした本田教授の講演会が開かれた。このように教育・保育従事者をはじめ、保護者が発達障がいについて、深く学ぶ機会を設けることが必要である。 ・いじめ、不登校の問題は、発達障がいをもつ子どもたちの問題とかなり重複している部分があるため、早期発見、早期対応が重要となる。子どもの発達について疑問が生じた場合、関わっている人間がすぐに声を出せること、その声を気軽に相談ができるという意味において、教育相談事業はとても大切な事業である。 ・子育てに関する年齢別相談件数では、小学生の相談が増大しており、低学年指導の重要性和難しさを感じる。このため、市

		<p>内各校で低学年教育の充実をさらに図っていく必要がある。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・不登校にかかわる支援員も高齢化してきている中、概ね 65 才を原則としているが、大幅に年齢を超えている方もみられる。ベテランには、ベテランなりの優秀な方もいるが、体力的に激しく動き回る子供たちについていけない方もいるのが現状である。このことから、当該支援員の採用にあたっては、採用年齢の原則が守られるよう配慮する必要がある。 ・各小中学校に配置されている特別支援教育コーディネーター及び不登校支援コーディネーターの役割は、全校レベルで様々な事案に対応するとともに、支援会議への出席、保護者との連絡・調整など多岐にわたる。また、各コーディネーターには、特別な支援を要する対象児童生徒に関する様々な情報が蓄積されている。市が配置する各種相談員等との有機的な連携を一層強めるとともに、市としても年々増加している発達障がい傾向がみられる児童生徒への迅速なWISC検査の実施や、相談体制の充実について検討する必要がある。 ・市では、特別な支援を要する児童生徒への支援など、多様な教育課題に対応するため、多額の市費を投じて多くの加配職員を小中学校に配置している。このように、市として個に応じたきめ細やかな教育を進めていることを、学校などを通じて保護者に伝えるとともに、市の広報等で、その効果・成果などを広く市民に示していくことが必要である。また、各支援員間の連携は絶対的に必要なことであるので、引き続きこのことを継続してほしい。 ・教育指導員の配置については、自己評価のとおり成果や手応えがあると考えているので、一層切れ目ない支援体制のもとに取り組みを進めていただきたい。 ・学校加配職員による支援体制により、教育をきめ細かく行うことは、将来の明るい社会をつくる上で大事なことであり、人材を育成していくための一番の基本となる。家族の力を借りながら正しく成長でき、どれだけ社会人として、社会を形成していく上で役立つ人間になるかが目的であり、予算を多少費やしても取り組むべき大事な部分である。市費により小中学校へ配置している67名の支援員の努力にあらためて感謝したい。
7	学校 ICT 事業の推進	<ul style="list-style-type: none"> ・近隣と比べた場合、安曇野市は電子黒板の導入が遅れているということを先生や保護者から聞いていた。今回、中学校に電子黒板が導入されたことは教育の振興を図る上で画期的であり、今後、小学校への拡大を望む。
10	中学生議会事業	<ul style="list-style-type: none"> ・当事業では、大人が気づかないところに子どもたちの視点があり、市民にも勉強してもらおう良い機会となっていることは評

		価できる。
11	指導主事「授業支援」事業	・新学習指導要領実施にほぼ合わせる形で、指導主事というポストを置いたことは評価する。頼りになる身近な存在として活躍していただいていることは、学校関係者にとって大変心強い。
12	入学準備金貸付制度	・「日本学生支援機構」の奨学金についても、返済できず自己破産に至ったといったケースがある。入学準備金貸付金については、保護者の十分な理解を得た上で貸し付けることが重要である。
13	学校安全対策事業	・通学路合同点検により、具体的に改善された箇所が何ヶ所もあり、子どもの安全性が高まってきている。関係者による合同点検の意義を強く感じるので、これを継続して行って欲しい。 ・地域の大人が子どもに対し、あいさつ程度の話をしたところ、それを聞いた保護者が不審者扱いしたとの話を聞く。地域の方が子どもに挨拶もできなくなってしまう環境を危惧する。保護者にも不審者に対して過敏な傾向が見られるので、学校側も事案に対して検討の上、発信して欲しい。
14	小・中学校施設改修事業	・社会体育で無人状態の学校体育館等を使用した利用者が、修繕箇所に気づいた場合の窓口（意見箱、目安箱等）があれば、より利便性の向上につながるので検討してほしい。 ・学校のトイレ使用に伴う節水意識が不足している感がある。（特に女子の場合）。環境面からも、学校生活の中での節水、節電等の意識を高めることが大切である。
16	青少年健全育成事業	・ジュニアリーダー養成講座を経験した子供たちが、地域に戻って活躍できるよう 98 地区の公民館全てに浸透させて欲しい。
19	生涯学習講座実施事業	・講座に若者の参加が少ない理由として、開催の時間帯が影響しているように思う。例えば、冬季の夜より、夏に夕涼みがてら参加できる等、ニーズと時間帯に工夫することにより、若者もより参加できるのではないかな。
20	社会教育団体支援事業	・芸術文化協会については、穂高地域は会員が減っていないが、豊科地域は徐々に減っている状況がある。穂高地域の場合、集まりやすい環境づくりや運営の仕方についても工夫されている。豊科地域においても、入りやすい、魅力のある芸術文化協会を目指し取り組んで欲しい。
22	児童館運営事業	・児童クラブは、子どもの安全も確保されており、親も安心して働くことができる環境づくりに役立っている。今後も、安全で子育てにやさしいまちづくりという観点での運営に心掛けて欲しい。
24	交流学習センター等事業	・新進の音楽家は発表の場に恵まれない状況がある。将来、新進音楽家を育てるためにも、周知の方法等を工夫するなど一層

		の集客を図って欲しい。市民が協力、応援をしていかなければ、芸術家は育たない。
26	人権教育推進事業	・安曇野市協働のまちづくり出前講座として、人権に絡めた講座が実施されていることは評価できる。
27	人権啓発事業 (安曇野市1/2成人式記念 人権・平和特別授業～kizuki～)	・安曇野市1/2成人式記念 人権・平和特別授業～kizuki～は、学校でなく場所を変えて行う特別な授業ということであり、子どもたちの心に残る事業であると感じている。 ・小学4年～6年までが参加する方法よりは、10才で1度経験するという現在の形の方が望ましい。
29	市民スポーツ祭	・開催会場である堀金体育館内の放送に対して、聞き取りにくいとの意見が毎年出されるため、速やかな改善を求める。
33	諸団体との協働事業	・夏休み中、子どもの生活リズムを崩さないためにも、中央図書館以外の図書館の開館時間を1時間早め、午前9時からとしてはどうか。なお、開館時間を変更した場合は、きめ細かな周知を行ってほしい。
35	博物館・美術館等の管理運営	・文化財を所有する地区所有者が、あらためて文化財の価値を認識し、大切にしてもらえるような手立て、働きかけが必要である。

報告第1号	教育部 学校教育課
平成30年8月24日提出	(課長) 平林 洋一 (担当係長) 中村 正勝

タイトル	安曇野市内小中学校の普通教室での温湿度調査の実施について
決定を要する事項の内容	
要旨	小学校と中学校の全ての普通教室に、今回新たに温湿度計を設置し、平成30年8月27日から9月末日までの約1か月間、普通教室の「温度」及び「湿度」の測定・記録を行うものである。
説明	<p>平成30年4月2日付の「学校環境衛生基準の一部改正について」において、教室等の温度の基準が、従来は「10℃以上、30℃以下であることが望ましい」であったものが「17℃以上、28℃以下であることが望ましい」へ変更された。</p> <p>また、本年の猛暑から冷房設備への要望が寄せられていることを受け、市では冷房設備基本方針（仮称）の策定を進めている。</p> <p>今回の普通教室の温度及び湿度の測定・記録は、本基本方針策定に係る基礎資料とする。</p> <p>なお、普通教室への冷房設置を検討しているが、現時点では、冷房の整備範囲、整備年度は未定である。</p> <p>本調査は、学校側の協力を得て、来年度も継続的に実施する予定である。</p> <p>詳細については、別添資料のとおり。</p>

平成30年度 普通教室温湿度状況調査票 (第1週目)

- 1 学校名 豊科南小学校
 2 教室名 3年 4組 (2階)
 3 扇風機 有 (2機/正常・不調) ・ 無
 4 調査項目

日時 ※注1	調査時間 ※注2、3	室内 温度 (°C)	室内 湿度 (%)	外気温 ※注4	その他
記載例 8月1日(水)	午前10時頃	28	28.4	32°C	
	午後1時頃	29	30.4		
	午後3時頃	29	31.4		
8月27日(月)	午前10時頃				
	午後1時頃				
	午後3時頃				
8月28日(火)	午前10時頃				
	午後1時頃				
	午後3時頃				
8月29日(水)	午前10時頃				
	午後1時頃				
	午後3時頃				
8月30日(木)	午前10時頃				
	午後1時頃				
	午後3時頃				
8月31日(金)	午前10時頃				
	午後1時頃				
	午後3時頃				

○測定方法は、原則として、教室内の正面黒板の右側に今回配布した温湿度計を設置し、調査・記録。

※調査期間は、8月下旬から9月下旬の約1か月間。

調査票は、第1週目(8/27~8/31)から第5週目(9/25~9/28)の5枚。

週の調査が終わり順次、調査票を市教育委員会へ届けてください。

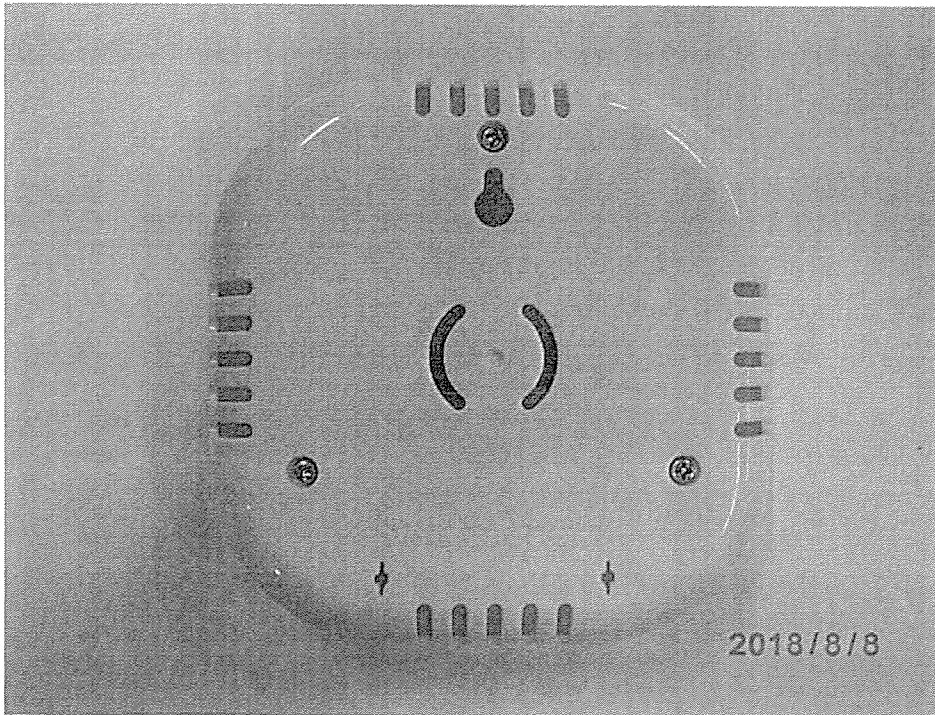
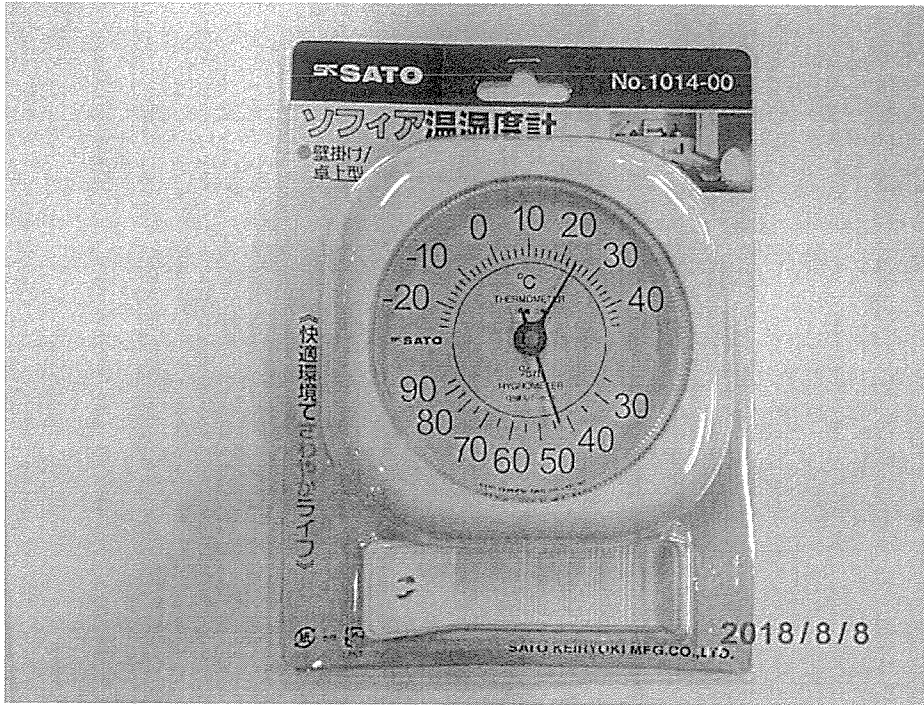
※注1 休日の調査は実施しません。

※注2 平日は、授業を受けている状態(授業中に窓及び扉を開放していれば開放した状態)で調査・記入。

※注3 測定時間は、午前10時頃、午後1時頃、午後3時頃の1日3回調査。

※注4 「外気温(°C)」は、正午に百葉箱等学校内の一定箇所を定め調査・記録。
 ただし、負担軽減のため「外気温」は、各校で一括調査し、市教育委員会へ報告時に、その調査結果を併せて報告することも可能です。

平成30年8月 普通教室へ設置する温湿度計



報告第2号	教育部 学校教育課
平成30年8月24日提出	(センター長)丸山 仁一 (担当)宮澤 慎二

タイトル	平成29年度の決算報告年度学校給食費会計監査報告について
報告を要する事項の内容	平成29年度学校給食費会計の監査報告
要旨	平成29年度学校給食費会計の報告と監査結果について
説明	<p>7月11日に、平成29年度学校給食費会計についての監査を実施し、7月24日の本年度第2回学校給食センター運営委員会に於いて29年度の決算の報告をおこないました。</p> <p>一昨年から、外部機関(会計事務所)より、資料作成補助と監査実施時に助言を受けることにより監査時の監事の負担軽減を図っています。</p> <p>帳票類につきましては、会計事務所から、適正に処理をされているとの講評を受けました。</p> <p>監査にあられた監事の皆さんからも帳票類についてはよく整備されているとの評価を受けました。</p> <p>事業費としては、4センター合計で5億円余の予算執行となりました。</p> <p>また、監査・運営委員会とも給食費の滞納について、現年度の滞納を増やさない方策についての意見が出されました。</p>

平成 29 年度

安曇野市学校給食費会計決算書

北部学校給食センター
堀金学校給食センター
中部学校給食センター
南部学校給食センター

平成30年7月
学校教育課

平成29年度 安曇野市学校給食費会計決算総括表

歳入合計額	503,059,032 円
歳出合計額	500,266,266 円
差引残額	2,792,766 円

【歳入】

(単位：円)

		北部学校給食センター	堀金学校給食センター	中部学校給食センター	南部学校給食センター	合計
給食費	現年度	167,795,578	55,498,783	139,706,480	137,165,330	500,166,171
	過年度	311,673	137,392	229,966	147,123	826,154
雑収入		229	74	185	177	665
繰越金		684,581	96,935	753,933	530,593	2,066,042
歳入合計		168,792,061	55,733,184	140,690,564	137,843,223	503,059,032

【歳出】

(単位：円)

		北部学校給食センター	堀金学校給食センター	中部学校給食センター	南部学校給食センター	合計
主食費	米飯	12,225,600	3,565,309	8,265,230	8,644,968	32,701,107
	パン	3,701,165	1,419,588	4,480,834	4,118,068	13,719,655
	麺	2,923,904	867,427	2,615,598	2,208,407	8,615,336
	牛乳	29,369,749	9,813,775	24,014,202	24,512,403	87,710,129
副食費		113,369,774	38,384,597	96,764,678	93,881,744	342,400,793
還付金		5,398,804	1,483,934	4,240,171	3,996,337	15,119,246
歳出合計		166,988,996	55,534,630	140,380,713	137,361,927	500,266,266

【滞納額・収納率】

(単位：円)

		北部学校給食センター	堀金学校給食センター	中部学校給食センター	南部学校給食センター	合計
現年度		699,272	325,100	308,648	142,126	1,475,146
過年度		823,338	155,652	1,235,303	939,927	3,154,220
滞納額合計		1,522,610	480,752	1,543,951	1,082,053	4,629,366
給食費 収納率	全体	99.10%	99.14%	98.91%	99.01%	99.03%
	現年度	99.58%	99.42%	99.78%	99.90%	99.71%
	過年度	27.46%	46.88%	15.69%	10.64%	19.32%

平成29年度 安曇野市北部学校給食センター給食費会計歳入歳出決算書

歳入決算額 168,792,061 円
 歳出決算額 166,988,996 円
 差引残額 1,803,065 円

1 歳入

(単位：円)

科 目			予算額	調定額	収入済額	収入未済額	予算との比較	備考
款	項	目						
1	給食費		169,350,000	169,629,861	168,107,251	1,522,610	△ 1,242,749	
	1	給食費	169,350,000	169,629,861	168,107,251	1,522,610	△ 1,242,749	(収入済額)
		1 給食費	169,349,000	168,494,850	167,795,578	699,272	△ 1,553,422	穂高東中学校 32,741,086 穂高西中学校 31,434,182 穂高南小学校 33,933,760 穂高北小学校 41,763,110 穂高西小学校 26,368,320 給食センター 1,555,120
		2 滞納分	1,000	1,135,011	311,673	823,338	310,673	滞納繰越分
2	雑収入		1,000	229	229	0	△ 771	
	1	雑収入	1,000	229	229	0	△ 771	預金利子
3	繰越金		1,000	684,581	684,581	0	683,581	
	1	繰越金	1,000	684,581	684,581	0	683,581	前年度繰越金
歳入合計			169,352,000	170,314,671	168,792,061	1,522,610	△ 559,939	

2 歳 出

(単位：円)

科 目			予算額	支出済額	不用額	備 考
款	項	目				
1 事業費			169,352,000	166,988,996	2,363,004	
	1 主食費		50,115,000	48,220,418	1,894,582	
		1 米飯等購入費	11,340,000	12,225,600	△ 885,600	
		2 パン製品購入費	4,811,000	3,701,165	1,109,835	
		3 麺購入費	3,606,000	2,923,904	682,096	
		4 牛乳購入費	30,358,000	29,369,749	988,251	
	2 副食費	1 副食材料購入費	114,525,000	113,369,774	1,155,226	
	3 還付金	1 還付金	4,712,000	5,398,804	△ 686,804	
歳 出 合 計			169,352,000	166,988,996	2,363,004	

平成29年度 安曇野市堀金学校給食センター給食費会計歳入歳出決算書

歳入決算額 55,733,184 円
 歳出決算額 55,534,630 円
 差引残額 198,554 円

1 歳入

(単位：円)

科 目			予算額	調定額	収入済額	収入未済額	予算との比較	備 考	
款	項	目							
1	給食費		55,879,000	56,116,927	55,636,175	480,752	△ 242,825		
	1	給食費	55,879,000	56,116,927	55,636,175	480,752	△ 242,825	(収入済額)	
		1	給食費	55,878,000	55,823,883	55,498,783	325,100	△ 379,217	堀金小学校 33,036,005 堀金中学校 21,589,738 給食センター 873,040
		2	滞納分	1,000	293,044	137,392	155,652	136,392	滞納繰越分
2	雑収入		1,000	74	74	0	△ 926		
	1	雑収入	1,000	74	74	0	△ 926	預金利子	
3	繰越金		1,000	96,935	96,935	0	95,935		
	1	繰越金	1,000	96,935	96,935	0	95,935	前年度繰越金	
歳 入 合 計			55,881,000	56,213,936	55,733,184	480,752	△ 147,816		

2 歳 出

(単位：円)

科 目			予算額	支出済額	不用額	備 考
款	項	目				
1	事業費		55,881,000	55,534,630	346,370	
	1	主食費	15,800,000	15,666,099	133,901	
		1 米飯等購入費	3,480,000	3,565,309	△ 85,309	
		2 パン製品購入費	1,305,000	1,419,588	△ 114,588	
		3 麺購入費	1,005,000	867,427	137,573	
		4 牛乳購入費	10,010,000	9,813,775	196,225	
	2	副食費 1 副食材料購入費	39,081,000	38,384,597	696,403	
	3	還付金 1 還付金	1,000,000	1,483,934	△ 483,934	
歳 出 合 計			55,881,000	55,534,630	346,370	

平成29年度 安曇野市中部学校給食センター給食費会計歳入歳出決算書

歳入決算額 140,690,564 円
 歳出決算額 140,380,713 円
 差引残額 309,851 円

1 歳入

(単位:円)

科 目			予算額	調定額	収入済額	収入未済額	予算との比較	備 考
款	項	目						
1	給食費		140,007,000	141,480,397	139,936,446	1,543,951	△ 70,554	
	1	給食費	140,007,000	141,480,397	139,936,446	1,543,951	△ 70,554	
		1 給食費	140,006,000	140,015,128	139,706,480	308,648	△ 299,520	(収入済額) 豊科北小学校 32,080,830 豊科東小学校 12,204,910 明南小学校 15,672,720 明北小学校 7,294,560 豊科南中学校 26,125,520 豊科北中学校 28,978,950 明科中学校 15,676,890 給食センター 1,672,100
		2 滞納分	1,000	1,465,269	229,966	1,235,303	228,966	滞納繰越分
2	雑収入		1,000	185	185	0	△ 815	
	1	雑収入 1雑収入	1,000	185	185	0	△ 815	預金利子
3	繰越金		1,000	753,933	753,933	0	752,933	
	1	繰越金 1繰越金	1,000	753,933	753,933	0	752,933	前年度繰越金
歳入合計			140,009,000	142,234,515	140,690,564	1,543,951	681,564	

2 歳 出

(単位：円)

科 目			予算額	支出済額	不用額	備 考
款	項	目				
1	事業費		140,009,000	140,380,713	△ 371,713	
	1	主食費	39,766,000	39,375,864	390,136	
		1 米飯等購入費	9,368,000	8,265,230	1,102,770	
		2 パン製品購入費	3,684,000	4,480,834	△ 796,834	
		3 麺購入費	2,303,000	2,615,598	△ 312,598	
		4 牛乳購入費	24,411,000	24,014,202	396,798	
	2	副食費	96,256,000	96,764,678	△ 508,678	
		1 副食材料購入費				
	3	還付金	3,987,000	4,240,171	△ 253,171	
		1 還付金				
歳 出 合 計			140,009,000	140,380,713	△ 371,713	

平成29年度 安曇野市南部学校給食センター給食費会計歳入歳出決算書

歳入決算額 137,843,223 円
 歳出決算額 137,361,927 円
 差引残額 481,296 円

1 歳入

(単位:円)

科 目			予算額	調定額	収入済額	収入未済額	予算との比較	備 考	
款	項	目							
1	給食費		137,067,000	138,689,882	137,312,453	1,377,429	245,453	(収入済額) 三郷中学校 38,611,650 三郷小学校 58,909,760 豊科南小学校 37,688,550 給食センター 1,955,370	
	1	給食費	137,067,000	138,689,882	137,312,453	1,377,429	245,453		
		1	給食費	137,066,000	137,307,456	137,165,330	142,126		99,330
		2	滞納分	1,000	1,382,426	147,123	1,235,303		146,123
2	雑収入		1,000	177	177	0	△ 823	預金利子	
	1	雑収入	1,000	177	177	0	△ 823		
3	繰越金		1,000	530,593	530,593	0	529,593	前年度繰越金	
	1	繰越金	1,000	530,593	530,593	0	529,593		
歳入合計			137,069,000	139,220,652	137,843,223	1,377,429	774,223		

2 歳 出

(単位：円)

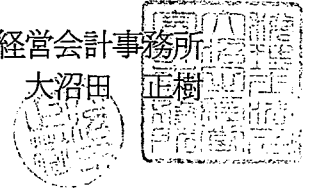
科 目			予算額	支出済額	不用額	備 考
款	項	目				
1	事業費		137,069,000	137,361,927	△ 292,927	
	1	主食費	41,390,000	39,483,846	1,906,154	
		1 米飯等購入費	9,183,000	8,644,968	538,032	
		2 パン製品購入費	3,563,000	4,118,068	△ 555,068	
		3 麺購入費	2,604,000	2,208,407	395,593	
		4 牛乳購入費	26,040,000	24,512,403	1,527,597	
	2	副食費	92,079,000	93,881,744	△ 1,802,744	
		1 副食材料購入費				
	3	還付金	3,600,000	3,996,337	△ 396,337	
		1 還付金				
歳 出 合 計			137,069,000	137,361,927	△ 292,927	

監査報告書

平成30年 7月11日

安曇野市学校給食センター運営委員会委員長 殿

税理士法人 大沼田経営会計事務所
代表社員 大沼田 正樹



私は、平成29年度下半期の会計期間の監査をいたしました。その方法及び結果について、次のとおり報告いたします。

1. 監査の方法及びその内容

私は、管理者及び使用人等と意思疎通を図り、情報の収集及び監査の環境の整備に努めるとともに、管理者及び使用人等からその職務の執行状況について報告を受け、必要に応じて説明を求め、重要な決裁書類を閲覧し、業務及び資金の状況を調査しました。以上の方法に基づき、当該会計期間に係る会計報告について検討いたしました。

さらに、会計帳簿又はこれに関する資料の調査を行い、当該会計年度に係る財務諸表（歳入歳出決算書）について検討いたしました。

2. 監査意見

(1) 会計報告等の監査結果

- 一 会計報告は、法令に従い、各給食センターの状況を正しく示しているものと認めます。
- 二 管理者及び使用人等の職務の執行に関する不正の行為又は法令に違反する重大な事実は認められません。

(2) 財務諸表の監査結果




財務諸表は、各給食センターの資金及び決算書の状況をすべて重要な点において適正に示しているものと認めます。

(3) その他の監査結果

学校行事及び給食実施日を確認し適正に支出されたものと認めます。

監査結果報告書

平成30年7月11日

監査委員 三尾浩幸 
監査委員 北澤宏和 
監査委員 猿田真由美 

平成30年7月11日、中部学校給食センター会議室において、平成29年度安曇野市学校給食費会計決算について各センター別に監査を実施したので、下記のとおり報告します。

	北部センター	堀金センター	中部センター	南部センター	計
歳入決算額	168,792,061円	55,733,184円	140,690,564円	137,843,223円	503,059,032円
歳出決算額	166,988,996円	55,534,630円	140,380,713円	137,361,927円	500,266,266円
差引残額	1,803,065円	198,554円	309,851円	481,296円	2,792,766円

上記歳入歳出決算について、諸帳簿を検査したところ正確に処理されており、収入支出とも適正であり、かつ誤りのないことを認めます。

安曇野市学校給食費会計 小・中学校別滞納状況一覧表 (平成29年度 現年度分)

(単位：円)

No.	給食センター	地区名	学校名	平成29年度分			滞納額		備考	
				件数(人数)	調定金額	件数(人数)	納入金額	件数(人数)		滞納金額
1	北部学校給食センター		穂高南小学校	607	32,836,830	602	32,741,086	5	95,744	
2			穂高北小学校	746	31,653,830	735	31,434,182	11	219,648	
3		穂高地区	穂高西小学校	471	34,068,862	466	33,933,760	5	135,102	
4			穂高東中学校	498	41,945,568	487	41,763,110	10	182,458	
5			穂高西中学校	473	26,434,640	472	26,368,320	1	66,320	
			小計	2,795	166,939,730	2,762	166,240,458	32	699,272	
6	堀金学校給食センター		堀金小学校	556	33,265,077	545	33,036,005	11	229,072	
7		堀金地区	堀金中学校	315	21,685,766	310	21,589,738	5	96,028	
			小計	871	54,950,843	855	54,625,743	16	325,100	
8	中部学校給食センター		豊科北小学校	547	32,137,150	542	32,080,830	5	56,320	
9			豊科東小学校	215	12,210,542	214	12,204,910	1	5,632	
10		豊科地区	豊科南中学校	371	26,223,680	367	26,125,520	4	98,160	
11			豊科北中学校	415	29,074,430	412	28,978,950	3	95,480	
12			明南小学校	265	15,672,720	265	15,672,720	0	0	
13		明科地区	明北小学校	123	7,294,560	123	7,294,560	0	0	
14			明科中学校	220	15,729,946	216	15,676,890	4	53,056	
			小計	2,156	138,343,028	2,139	138,034,380	17	308,648	
15	南部学校給食センター		豊科南小学校	691	38,667,970	687	38,611,650	4	56,320	
16		三郷地区	三郷小学校	1,029	58,966,036	1,025	58,909,760	4	56,276	
17			三郷中学校	571	37,718,080	566	37,688,550	5	29,530	
			小計	2,291	135,352,086	2,278	135,209,960	13	142,126	
合計	4 給食センター	5 地区	17校	8,113	495,585,687	8,034	494,110,541	78	1,475,146	

※ 上記滞納金額や対象者人数は、平成29年度会計末日現在の数字です。

※ 給食センター職員分はありません。

安曇野市学校給食費会計 小・中学校別滞納状況集計表 (平成29年度末現在)

(単位：円)

No.	センター名	地区名	学校名	平成29年度分		滞納繰越分(28年度以前分)		滞納額合計		備考
				件数(人数)	滞納金額	件数(人数)	滞納金額	件数(人数)	滞納金額	
1	北部学校給食センター	穂高地区	穂高南小学校	5	95,744	2	45,656	7	141,400	
2			穂高北小学校	11	219,648	11	370,508	22	590,156	
3			穂高西小学校	5	135,102	6	183,904	11	319,006	
4			穂高東中学校	10	182,458	5	156,854	15	339,312	
5			穂高西中学校	1	66,320	1	66,416	2	132,736	
			小計	32	699,272	25	823,338	57	1,522,610	
7	堀金学校給食センター	堀金地区	堀金小学校	11	229,072	3	29,684	14	258,756	
8			堀金中学校	5	96,028	3	125,968	8	221,996	
			小計	16	325,100	6	155,652	22	480,752	
9	中部学校給食センター	豊科地区	豊科北小学校	5	56,320	10	682,846	15	739,166	
10			豊科東小学校	1	5,632	0	0	1	5,632	
11			豊科南中学校	4	98,160	7	443,689	11	541,849	
12			豊科北中学校	3	95,480	7	108,768	10	204,248	
13	明科地区	明科地区	明南小学校	0	0	0	0	0	0	
14			明北小学校	0	0	0	0	0	0	
15			明科中学校	4	53,056	0	0	4	53,056	
			小計	17	308,648	24	1,235,303	41	1,543,951	
16	南部学校給食センター	豊科地区	豊科南小学校	4	56,320	7	418,393	11	474,713	
17			三郷小学校	4	56,276	3	262,908	7	319,184	
18			三郷中学校	5	29,530	3	258,626	8	288,156	
			小計	13	142,126	13	939,927	26	1,082,053	
合計	4給食センター	5地区	17校	78	1,475,146	68	3,154,220	146	4,629,366	

※ 上記滞納金額や対象者人数は、平成29年度会計末日現在の数字です。

報告第3号	教育部 生涯学習課
平成30年8月24日提出	(課長) 臼井 隆昭 (担当係長) 臼井 直美

タイトル	安曇野市生涯学習推進市民会議委員の委嘱について
報告を要する事項の内容	委員の委嘱
要旨	<p>安曇野市生涯学習推進市民会議設置要綱により、別紙の者を「安曇野市生涯学習推進市民会議委員」に委嘱したので報告します。</p> <p>【安曇野市生涯学習推進市民会議設置要綱抜粋】 (設置)</p> <p>第1条 安曇野市生涯学習推進計画（以下「計画」という。）の推進及び取組状況の点検、評価等を行うため、安曇野市生涯学習推進市民会議（以下「市民会議」という。）を設置する。 (所掌事務)</p> <p>第2条 市民会議は、次に掲げる事項を所掌する。 (1) 計画に関する事業の進捗確認に関すること。 (2) 計画の推進に向けた重点施策に関すること。 (3) その他計画の推進に関し必要な事項に関すること。 (組織)</p> <p>第3条 市民会議の委員は、15人以内とし、次に掲げる者のうちから教育委員会が任命又は委嘱する。 (1) 社会教育関係者 (2) 生涯学習団体の代表者 (3) 公募により選考された市民 (4) その他教育委員会が必要と認める者 (任期)</p> <p>第4条 委員の任期は、2年とする。ただし、補欠委員の任期は、前任者の残任期間とする。</p>
説明	<p>○委嘱した者 別紙のとおり 12名</p> <p>交付日：平成30年4月1日</p> <p>任 期：平成32年3月31日まで</p>

安曇野市生涯学習推進市民会議委員

任期：平成30年4月1日から平成32年3月31日まで

◎安曇野市生涯学習推進市民会議設置要綱に基づき任期は2年、委員の定数は15人以内

※安曇野市生涯学習推進市民会議設置要綱第3条により教育委員会が委嘱する。

No	氏名	住所	選出区分
1	内川 淳	安曇野市豊科光2113番地4	社会教育関係者
2	高橋 みち子	安曇野市豊科高家5195番地44	社会教育関係者
3	細田 利章	安曇野市豊科796番地	社会教育関係者
4	荻原 義重	安曇野市穂高1589番地	社会教育関係者
5	腰原 正己	安曇野市穂高北穂高2766番地	社会教育関係者
6	三澤 知子	安曇野市穂高6595番地6	社会教育関係者
7	千國 寛一	安曇野市三郷明盛806番地2	社会教育関係者
8	山崎 敦子	安曇野市三郷温3795番地2	社会教育関係者
9	宮澤 純子	安曇野市堀金烏川2574番地4	社会教育関係者
10	丸山 明男	安曇野市堀金烏川3421番地1	社会教育関係者
11	浅見 郁子	安曇野市明科中川手6818番地9	社会教育関係者
12	幅 修一	安曇野市明科南陸郷3408番地3	社会教育関係者

報告第4号	教育部 各課
平成30年8月24日提出	

タイトル	後援依頼の教育長専決分の報告について
報告を要する事項の内容	教育長専決に伴う報告
要旨	学校教育課 2件 生涯学習課 5件 文化課 6件 (詳細別紙)
<p>○安曇野市教育委員会の共催及び後援等に関する取扱基準【抜粋】 (定義)</p> <p>第2条 この基準における用語の定義は、次の各号に定めるところによる。</p> <p>(1) 行事 講演会、演奏会、展覧会等の集会、体育大会等の催し物をいう。</p> <p>(2) 共催 行事の企画又は運営に参加し、共同主催者としての責任の一部を負担することをいう。</p> <p>(3) 後援 行事の趣旨に賛同し、名義の使用を承認することをいい、責任の負担はしないことをいう。</p> <p>(審査基準)</p> <p>第3条 教育委員会は、次の各号に掲げるいずれかの団体が主催する行事は、共催又は後援するものとする。</p> <p>(1) 国又は地方公共団体</p> <p>(2) 学校又は学校の連合体</p> <p>2 教育委員会は、前項の団体以外が主催する場合は、次に掲げる事項を満たすことが明らかに確認できるものに限り、共催又は後援をするものとする。</p> <p>(1) 行事の内容が教育、学術、文化及びスポーツの普及向上に寄与するものであること。</p> <p>(2) 公益性のあるもので営利を目的としないものであること。</p> <p>(3) 政治活動又は宗教活動と認められないものであること。</p> <p>(4) 参加者等の参集予定範囲が市内全域又はそれ以上であること。</p> <p>(5) 入場料、参加料、出品料等の経費を主催者が徴収するものについては、その経費の算出等について配慮がなされており、営利事業的なものでないこと。</p> <p>(6) 団体内の親睦等が主たる目的ではないこと。</p> <p>(教育長の専決範囲)</p> <p>第4条 後援の承認について、教育長が専決できる行事は次に掲げるとおりとする。</p> <p>(1) 前条第1項に規定する行事</p> <p>(2) 過去に教育委員会が承認した行事(団体又は行事が、前条第2項の規定を満たしているか判断し難いものは除く。)</p>	

学校教育課 共催・後援台帳(平成30年度8月定例会専決報告事項)

No.	受付日	所管	件名	申請者	主催者 (団体)	種別	申請理由	申請日	開催日	専決	理由	承認	承認(専決)日	会場	開催目的(趣旨)	開催内容	H26	H28	H27	所管課 意見
20	H30.7.25	学校教育	リレー・フォー・ライ フ・ジャパン2018信 州まつもと	リレー・フォー・ライ フ・ジャパン信州ま つもと実行委員会 実行委員長 瀬下 美奈	リレー・フォー・ライ フ・ジャパン信州ま つもと実行委員会 公益財団法人 日 本対がん協会	後援	全国的に子ども 達へのがん教育 が必要とされて いるため。	7月25日	平成30年9月8日 (土) ・9日(日)	専決	過去 承認	○	7月30日	松本市 やまびここ え	がん患者支援・がん征圧の ためのチャリティイベント	24時間夜通し歩くリレーイベ ント、がんに関するパネル展示 やセミナーの開催、がん予防・ 早期発見の啓発・募金活動 等	○	—	—	基礎第3 条第2項 及び第4 条第2号 により可
21	H30.8.10	学校教育	第34回中信地区中 学校英語弁論大会	長野県英語教育研究 会 文雄 黒田 文雄	長野県英語教育研 究会 中信地区 読売新聞社	後援	中信地区の中学 生の英語弁論大 会が安曇野市で 開催されるた め。	8月9日	平成30年9月8日 (土)	専決	過去 承認	○	8月13日	安曇野市 三郷公民館	英語学習に高い関心を持 つ中信地区の中学生が一 堂に集って、各自のテーマ に沿った英語の弁論を行う ことを通して、お互いの英 語力の向上と親睦を深める ことを目的とする。	制限時間一人5分で弁論発表 を行い、審査員3名が3部門 (内容・英語力・表現)で審査。 県大会出場者(上位7名)を決 定する。	○	○	○	基礎第3 条第2項 及び第4 条第2号 により可

教育部生涯学習課 共催・後援台帳(平成30年度8月定例会専決報告事項)

No.	受付日	所管	件名	申請者	主催者(団体)	種別	申請理由	申請日	開催日	専決	理由	承認	承認(専決)日	会場	開催目的(趣旨)	開催内容	H29	H28	H27	所管課意見
33	H30.7.13	社会教育担当	第30回平和のための信州・戦争展	第30回平和のための信州・戦争展中地区実行委員会 大串 潤 大見 和	第30回平和のための信州・戦争展中地区実行委員会	後援	より幅広い市民の皆さんに参加を促すため	7月12日	平成30年9月21日(金)～23日(日)	○	過去承認	○	7月19日	松本市勤労者福祉センター大会議室 2-1 2-2	明治以降の日本の戦争と戦後を検証し、平和の作り方について参加者で考えていく	パネルディスカッション「明治150年」-アジアのいまを考える、パネルディスカッション「科学技術と平和」を考える、ジャズ&フィートショーなど 入場料:一般3日通し券1,000円・1日券500円・大学生2日通し券500円・高校生以下無料 参加料:2,000円 平成26年度後援あり	-	-	-	基準第3条第2項及び第4条第2号により可
34	H30.7.13	社会教育担当	文部科学大臣賞 争奪「全日本健康麻将将選権」長野県予選大会	全日本健康麻将協議会 岡田 彦	全日本健康麻将協議会	後援	安心して参加できる環境づくりのため	7月13日	平成30年9月23日(日)	○	過去承認	○	7月19日	松本市総合社会福祉センター3階	「健康麻将」を生涯学習として普及させ、男女・年齢を問わず地域交流の活性化を目指す	参加費:2,800円 1回戦から4回戦	○	○	-	基準第3条第2項及び第4条第2号により可
35	H30.8.13	社会教育担当	第9回安曇野市囲碁・将棋大会	安曇野市囲碁・将棋大会実行委員会 実行委員長 大須賀 欽一	安曇野市囲碁・将棋大会実行委員会	後援	安曇野市の公民館施設を借りて大会を開催する。囲碁・将棋を通して市内住民の親睦・交流を図る。	8月1日	平成30年11月25日(日)	○	過去承認	○	8月6日	安曇野市明科公民館	日本の伝統文化である囲碁や将棋の良さを改めて見直し、趣味の発見・技術の向上・市民の交流と幅広い年齢層への普及を図るもの。	囲碁の部、将棋の部に分かれ試合 参加料:1人1,000円(高校生以下500円)	○	○	○	基準第3条第2項及び第4条第2号により可
36	H30.8.13	スポーツ推進担当	平成30年度第25回安曇野市卓球選手権大会兼卓球選権大会	安曇野市卓球連盟 会長 西 義夫 村 義夫	安曇野市卓球連盟	後援	社会教育の一環として必要。	7月20日	平成30年9月2日(日)	○	過去承認	○	8月7日	穂高総合体育館	安曇野卓球選手権大会と同時に長野県卓球選手権大会安曇野市予選会を行い、県大会(10月20・21日:佐久穂町)から社会体育館)の出場代表者を決めるため。	競技種目:男子シングルス、女子シングルス、男子ダブルス、女子ダブルス、混合ダブルス 競技方法:各種目共同トーナメント方式、試合はすべて1本5ゲームスマッチ(3点先取)で行う。 参加料:シングルス1人1,000円、ダブルス1組1,600円	-	○	○	基準第3条第2項及び第4条第2号により可

教育部生涯学習課 共催・後援台帳(平成30年度8月定例会専決報告事項)

No.	受付日	所管	件名	申請者	主催者(団体)	種別	申請理由	申請日	開催日	専決	理由	承認	承認(専決)日	会場	開催目的(趣旨)	開催内容	H 29	H 28	H 27	所管課 意見
37	H30.8.1	スポーツ推進担当	平成30年度「第29回安曇野卓球連盟ベテラン卓球大会」	安曇野卓球連盟 会長 西村 義夫	安曇野卓球連盟	後援	社会教育一環として必要。	7月20日	平成30年9月2日(日)	○	過去承認	○	8月7日	穂高総合体育館卓球室	中高年者(30歳以上)を対象に生涯スポーツの一つとして、卓球競技を通じて楽しく親しむ者の拡大を図る。	参加対象:安曇野市内に居住又は通勤し、翌年4月1日までに満30歳に達している者。 予定参加者約24名。 競技方法:3ダブルスによる予選リーグ及び決勝リーグ 参加料:1人1,000円	-	○	○	基準第3条第2項及び第4条第2号により可

教育部文化課 共催・後援台帳(平成30年度8月定例会専決報告事項)

No.	受付日	所管	件名	申請者	申請者(団体)	種別	申請理由	申請日	開催日	専決	理由	承認	承認(専決)日	会場	開催目的(趣旨)	開催内容	H 27	H 28	H 29	所管課意見
38	平成30年7月9日	文化	第34回 安曇野で道祖神を語る集い	道祖神まつり実行委員会 穂高神社 宮司 穂高光雄	道祖神まつり実行委員会	後援	昔から続く民間信仰を広く一般に周知するため	7月9日	平成30年8月25日(土)~8月26日(日)	○	過去承認		7月12日	(1日目)穂高神社 集い (2日目)生坂村、大町市八坂	道祖神まつりは昭和58年から開催しており、今年で34回目を迎える。昨年引き継ぎ興味深い、飾り付けなどがあつた東筑摩郡生坂村の道祖神と大町市八坂地区の道祖神を巡り、参加者の道祖神研究の一助としたい。	1日目は穂高駅前で道祖神祭りに参加し、高神社参集殿に移動し開会式及び窪田雅之氏、倉石忠彦氏を講師に迎えて講演会を開催する。2日目は生坂村と大町市八坂地区の道祖神15体ほどを巡る。参加者は80名ほど。参加料は5,000円(1日目のみ参加:1,500円、2日目のみ参加:3,500円)				取扱基準第4条第2号により可
39	平成30年7月11日	文化	教育講演会&ワークショップ「7カ国語で話そう。」	(一財)言語交流研究所 代表理事 鈴木堅史	(一財)言語交流研究所 ポリアミアリーククラブ	後援	平成30年より安曇野市でも私達の活動を開始したことを、広く一般に周知するため。	7月5日	①平成30年9月27日(木) ②10月5日(金) ③10月14日(日)	○	過去承認	7月12日	塩尻市市民交流センター ①塩尻市市民交流センター ②ぱえん ③豊科交流学習センター ターぎぼう	講演会では多言語活動の紹介、ワークショップ、「7カ国語で話そう」というテーマで講演を開催する。この講演会を通じてコミュニケーションを容易に楽しむことを可能にした多言語活動そのものを実感していただき、多言語性、多文化、多世代、多言語の柔軟で可能性に開かれた環境について地域の皆様と理解を深め、次世代を担う子供たちを育成するより良い環境づくりについて共に考えていきます。				基準第4条第2号により可		
40	平成30年7月17日	文化	第11回あつがるファミリーコンサート	松本マザーズアンサンブル あつがる 横山 愛	松本マザーズアンサンブル あつがる	後援	子育て中心に私たちの活動と演奏を広く一般に周知するため。	7月13日	平成30年12月24日(月・祝)	○	過去承認	7月18日	松本市音楽文化ホール (ザ・ホール) 二ホー ル)メイン ホール	主催団体は平成19年9月に発足したママさん吹奏楽団で松本市、安曇野市、塩尻市などから子育て中々練習に励んでいる。年に一度開催している「あつがるファミリーコンサート」は団員の練習の成果を発表するため開催している。演奏会を通じて小さなお子さん連れのご家族も気軽に聞いて楽しんでいただきたい。	曲目:パラダイスハズノー ポーター、大草原の歌他を演奏する。入場料:無料				基準第4条第2号により可	

教育部 文化課 共催・後援台帳(平成30年度8月定例会専決報告事項)

No.	受付日	所管	件名	申請者	主催者(団体)	種別	申請理由	申請日	開催日	専決	理由	承認	承認(専決)日	会場	開催目的(趣旨)	開催内容	H 29	H 28	H 27	所管 課 意見
41	平成30年7月18日	文化	穂高美術協会展	穂高美術協 西澤 洋	穂高美術協 会	後援	安曇野地域の文化活動に貢献したいため	7月15日	平成30年9月28日(金)～10月2日(火) * 搬入作業日 9月27日(木)	○	過去承認	承認	7月19日	礪山公園 研成ホール	美術展を多くの方に鑑賞していただき関心を寄せてもらうことで地域の振興をはかる	会員が春季展に向けて制作した油絵・アクリル画などの作品50点ほどを展示する。	○	○	○	基準 第4 条第 2号 により可
42	平成30年7月20日	文化	第54回彫刻展	丸山と志 江	彫刻展の会	後援	多くの安曇野市在住者を含み、そのほとんどが60歳以上の出品者による54作品を教える彫刻作品展である。貴市の進める生涯学習・芸術文化振興に寄与するであろう制作者の自己研さんに励み姿勢を奨励し、後援をさせていただきます。	7月20日	平成30年11月16日(金)～11月18日(日) * 搬入作業日 11月15日(木)	○	過去承認	承認	7月27日	礪山公園 研成ホール	第54回彫刻展として自己研さんによる彫刻作品を展示・発表することにより、地域の芸術文化の振興・発展に資する。5年前よりご後援をいただき、研成ホールにおいて毎年開催してきている。	会員18名による約50点の彫刻・デッサン作品を展示する。参加料は1人8,000円、入場料は無料	○	○	○	基準 第4 条第 2号 により可
46	平成30年8月2日	文化	礪山美術館友の会第12回会員美術展	幅谷啓子	礪山美術館友の会	後援	会員の多くが安曇野市民で構成される友の会であり、作品展は市民の生涯学習の場であることから、支援をお願いしたい。	8月2日	平成30年9月7日(金)～9月11日(火) * 搬入作業日 9月6日(木)	○	過去承認	承認	8月7日	礪山公園 研成ホール	自ら作品を制作して美術界に豊富な実績をお持ちの方から、美術館の講座に学び初めて制作された方までの多様な会員が、作品を発表して学び合い親睦を深める目的で友の会の会展を実施する。	絵画・彫刻・工芸作品を展示(各部門あわせて1人3点以内の出品可)入場料は無料、参加料は1人3,000円	○	○	○	取扱 基準 第4 条第 2号 により可

報告第5号

平成30年度事業進捗状況報告（懸案事項等）

<学校教育課>

学校教育係

事業（懸案事項）	現 況	今後の取り組み
安曇野市コミュニティ スクール事業	県による中学校部活動指導員任用事業の 説明会に出席 (8/2)	中学校部活動指導員任用事業 →安曇野市での実施に向けて の準備
中学生海外ホームステイ 交流派遣事業	<ul style="list-style-type: none"> 希望者の募集受付・締切（7/20） →7中学校から52名の応募 個別面接 8/17日（金）と18日（土） ※例年通り3名の面接官により実施 	候補者14名の決定と、結果通知 8/31（金）予定
学校安全総合支援事業	<ul style="list-style-type: none"> 事業実施対象校（13校）の「5年計画 と成果」提出書類のとりまとめ→県へ 報告済み 各学校の訪問希望日と防災アドバイザー との日程調整 廣内先生→調整中 本間先生→一部訪問日決定 島田先生→調整済み（11/24） <p>※学校安全総合支援事業 学校における防災教育をより実践的・ 効果的にするために、長期（5年間） の計画を策定し、成果を検証します。 また、学校で防災訓練や打ち合わせ 等に防災アドバイザーの派遣・指導を 行います。</p>	県教育委員会に派遣依頼予定

平成30年度事業進捗状況報告（懸案事項等）

生涯学習課社会教育担当

社会教育総務費事業

事業（懸案事項）	現況	今後の取り組み
生涯学習推進計画		8月28日（火） 生涯学習推進市民会議

生涯学習推進費

事業（懸案事項）	現況	今後の取り組み
市民大学講座	市民大学講座【信州大学編】 8月2日（木）第1回「脳卒中と認知症」 ・講師 本郷 一博さん ・参加者 64人 8月23日（木）第2回「ヨーグルトの健康機能」 ・講師 下里 剛士さん	市民大学講座【信州大学編】 8月30日（木） 第3回「長野県の火山と防災」 9月6日（木） 第4回「ポジティブに生きるための心理学」 9月13日（木） 第5回「脳のごちそう」

人権教育推進事業

事業（懸案事項）	現況	今後の取り組み
安曇野市人権・平和特別授業 ～kizuki～	7月30日（月）4学年主任打ち合わせ会議 ・事業概要 ・タイムスケジュール ・バス運行について 他 7月30日（月）児童発表打ち合わせ	

中央公民館事業費

事業（懸案事項）	現況	今後の取り組み
公民館長会	8月6日（月）第5回公民館長会 ・第2回公民館担当者会議の協議内容について ・地域文化祭の共催・後援について 他	9月10日（月）第6回公民館長会 9月27日（木）～28日（金） 長野県公民館大会
公民館担当者会議	7月26日（木）第2回 ・公民館管理運営に伴う情報共有について ・使用料・貸館等について ・生涯学習情報～Link～について	8月23日（木）第3回
公民館報	8月7日（火）第3回公民館報校正会議 8月22日（水）公民館報45号企画会議	

作成者：社会教育担当 2018/08/15

平成30年度事業進捗状況報告（懸案事項等）

生涯学習課社会教育担当

青少年健全育成費事業

事業（懸案事項）	現況	今後の取り組み
子ども会育成会支援	8月10日（金）松本地方子ども会育成連絡会	
青少年センター	7月26日（木）豊科、穂高、三郷地域街頭巡回 7月27日（金）明科、堀金地域街頭巡回	
ジュニア・リーダー養成事業		11月11日（日）講習会（三九郎組立）
まごころ工房 （夏休み子ども体験ラボ）	7月31日（火）「ハーバリウムを作ろう！」 18名 8月2日（木）「葉脈のキーホルダーを作ろう！」 29名 8月8日（水）「勾玉を作ろう！」 24名	
こども体験ショー	4月～7月 イベント内容検討	8月下旬 出演者との打合せ 10月中旬 環境フェアと同時開催
こども文化祭	5月～8月 企画・運営方法検討開始	5月～8月 企画・運営方法検討 9月～10月 出演・出品者の募集 11月17日（土）こども文化祭の開催
安曇野こども映画教室	7月28日（土）第3回教室開催 22名+ボランティア4名 8月25日（土）第4回教室開催	11月まで 毎月1回土曜日開催 11月17日（土）完成披露上映会

放課後・家庭教育推進費

事業（懸案事項）	現況	今後の取り組み
放課後子ども総合プラン運営委員会		9～10月 第1回運営委員会の開催
放課後子ども教室	5月～ 穂高北小除く9小学校で実施中	8月29日（水）穂高北小保護者説明会

児童館運営費

事業（懸案事項）	現況	今後の取り組み
児童館・放課後児童クラブ	7月下旬～8月下旬 夏期休業利用児童クラブ開所 9月6日（木）～7日（金） 豊科南小児童クラブ移転作業 9月10日（月）豊科南小で児童クラブ再開	10月下旬 次年度児童クラブ説明会 11月下旬 次年度申請開始

成人式実施事業

事業（懸案事項）	現況	今後の取り組み
成人式	5月～9月 イベント内容、記念品の検討 8月17日（金）第1回実行委員会	8月～11月 実行委員会

平成 30 年度事業進捗状況報告（懸案事項等）

生涯学習課社会教育担当（豊科公民館）

豊科公民館事業費

事業（懸案事項）	現 況	今後の取り組み
第 13 回豊科さわやか市民運動会	各地区体育部長、豊科地域体育協議会及びその傘下団体、スポーツ推進委員等が実行委員会を組織し、運動会開催に向けた協議、取組みを行う。 7月26日（木） スポーツ推進委員と打合せ 8月2日（木） 第1回実行委員会 ・37名出席 8月17日（木） プログラム編成会議 実施予定 8月28日（火） 第2回実行委員会 実施予定	10月4日（木） 第3回実行委員会 10月14日（日） 市民運動
出合い・ふれあい・生きがいセミナー	全4回の講座。 前期2回は、「東海道中膝栗毛」の続編「続膝栗毛」で弥次喜多が安曇野を訪れた時のエピソードについて紹介する。 7月31日（火） 第1回「弥次喜多道中 in 安曇野」 ・講師 丸山英二氏 ・受講生 20名出席	9月4日（火） 19:00～ 第2回「弥次喜多道中北の安曇野へ」

中央公民館事業

事業（懸案事項）	現 況	今後の取り組み
楽しい菊づくり講座	4月27日を初回として視察研修を含め全7回行う。 講師 鈴木輝彦氏 7月19日（木） 第4回 ・「誘引（整枝）」「定植」「支柱立て」実施 ・受講生 18名出席 8月21日（火） 第5回 ・「光菊花クラブの栽培状況の見学」実施予定	10月10日（水） 第6回目 11月6日（火） 第7回目
豊科公民館講座「暮らしとともに歩んできた安曇野の建物」	平成29年度より全4回の講座を企画、今年は後期2回の講座を行う。安曇野の暮らしを支え、歴史の息づかいを感じる市内の建物をバスを使って訪ねる。 7月25日（水） 第3回 堀金・豊科地域探訪 ・講師 高原正文氏 ・受講生 11名出席	9月7日（金） 第4回目 豊科・三郷地域探訪

*会議・講座等の会場は、いずれも豊科公民館

平成30年度事業進捗状況報告（懸案事項等）

生涯学習課スポーツ推進担当

体育団体等支援事業

事業（懸案事項）	現 況	今後の取り組み
全国大会等に係る市長表敬訪問		8月20日(月) 全国大会優勝に伴う表敬訪問 ・訪問者：ストリートダンスカンパニー舞遊人（6人） （こどもチャレンジカップ第11回全国大会グループヒップホップの部優勝）
スポーツ推進委員会		8月21日(火) 第1回役員会議

社会体育施設管理費

事業（懸案事項）	現 況	今後の取り組み
明科体育館非構造部材耐震化工事	7月30日 工事契約締結(期間7月30日～11月30日)	8月 監理業務入札予定

市民プール管理費

事業（懸案事項）	現 況	今後の取り組み
穂高プール運営	7月14日 穂高プール開場（7月14日～8月26日） 開場期間中、穂高プール利用者アンケート実施 （8月5日現在、約1,600枚回収）	アンケート結果を分析し、今後の方針を決める

平成 30 年度事業進捗状況報告 (懸案事項等)

〈文化課〉

文化振興係

文化団体補助事業

事業 (懸案事項)	現 況	今後の取り組み 備 考
信州安曇野能楽鑑賞会 主催：信州安曇野新能 実行委員会	第 28 回信州安曇野能楽鑑賞会 期日：8 月 25 日 (土) 会場 豊科公民館ホール 演目：能「羽衣」、狂言「文荷 (ふみにない)」、能「烏帽 子折」	第 3 回実行委員会 期日 8 月 2 日 (木)
「安曇野文化」刊行		第 28 号 (8 月 31 日予定)

美術館博物館連携事業

事業 (懸案事項)	現 況	今後の取り組み 備 考
安曇野市美術館博物館 連携事業	美術館博物館年間予定表の作成 (5 月 1 日発行・配布) 小中学生を同伴した保護者の入館料を無料とするパスポ ートの発行 (全児童・生徒へ配布) 5 月中の利用者数 74 人 6 月中の利用者数 18 人 7 月中の利用者数 36 人	
	安曇野市美術館博物館連携事業実行委員会 平成 30 年度文化芸術振興費補助金 地域と共働した美 術館・歴史博物館創造活動支援事業採択 (2, 390, 000 円)	第 3 回専門部会 9 月 7 日 (金)
	夏のミュージアムワークショップ-美術館・博物館をあそ びつくそう！ 期間：7 月 14 日 (土)～9 月 30 日 (日) 各博物館にて、小中学生向けの体験講座等を実施。 全施設合計 195 人参加 (8 月 8 日現在)	

豊科近代美術館管理運営事業・田淵行男記念館管理運営事業・飯沼飛行士記念館管理運営
事業・穂高陶芸会館管理運営事業・臼井吉見文学館管理運営事業

事業 (懸案事項)	現 況	今後の取り組み 備 考
指定管理者導入の更 新・廃止手続き	応募書類の締切：7 月 24 日 (火) 総務課への書類提出：8 月 6 日 (月) 第 3 回安曇野市公の施設指定管理者審査委員会 期日：8 月 21 日 (火)	

高橋節郎記念美術館教育普及事業

事業 (懸案事項)	現 況	今後の取り組み 備 考
第7回そば猪口アート 公募展	<p>概要：全国から自作の「そば猪口」を公募し、入選作品を展示する。</p> <p>募集：7月1日(日)～8日(日) 276点受付、126点入選 審査会：7月17日(火)・18日(水) 展覧会：10月2日(火)～11月4日(日)</p> <p>【入賞 12賞】</p> <p>大賞 佐野 圭亮「"Reborn"」(1994年生 群馬県) 漆 準大賞 白井 渚「漂霧-朝-一夜-」(1991年生 愛知県) 磁 優秀賞 大江 絵「葉器」(1995年生 東京都) 金工 優秀賞 保木 詩衣吏「雪溪」(1985年生 石川県) ガラス</p> <p>特別賞 石村 有弓「^{きんまらでん}蒟醬螺鈿そば猪口「てふてふ」(岡山県) 漆 特別賞 塩井 隆晴「私69才と妻66才の夫婦そば猪口」(1949年生 神奈川県) ガラス 特別賞 鈴木由美子「光散乱」(1976年生 神奈川県) 陶</p> <p>審査員賞 泉谷郁美「^{とちもく}栃杣そば猪口"月影"」(1990年生 石川県) 漆 審査員賞 金 知瑞「Tropea Sunset」(1984年生 韓国) 陶、漆 審査員賞 黒田明日美「みなも」(1996年生 東京都) ガラス 審査員賞 サイ ツグハ「春めく」(1988年生 石川県) 金工 審査員賞 黒田 昌吾「溜塗そば猪口Ⅰ・Ⅱ」(1963年生 富山県) 漆</p>	安曇野市商工会・安曇野スタイルネットワークとの連携
企画展「小口正二と高橋節郎-うるしのいろと彩」	<p>概要：信州が生んだ漆芸家 小口正二と高橋節郎の二人を紹介。</p> <p>会期 7月7日(土)～9月9日(日)</p> <p>○記念シンポジウム 参加者 25人 8月4日(土) 午後2時～3時30分</p> <p>パネリスト 赤堀郁彦、木下五郎、竹森公男</p>	
講座「漆はし加飾講座」	<p>期日：7月21日(土)、22日(日)</p> <p>講師：東京藝大漆芸研究室 田中館亜美、平井順名</p> <p>参加者 21日12人、22日4名</p>	
夜のミュージアム	<p>日時：8月14日(火)17時～21時 夜間延長開館</p> <p>コンサート 出演 折井清純(マンドリン)・棟居淳(ギター)</p> <p>時間：午後6時～7時 会場 記念美術館中庭</p> <p>花火見物会(予定) 時間：19時～21時 会場：美術館駐車場</p>	

郷土博物館事業

事業(提案事項)	現 況	今後の取り組み
博物館企画展	<p>「安曇野 人の一生Ⅲ どうする？葬式 どうなる？葬式」</p> <p>会期：6月30日(土)～8月26日(日)</p> <p>会場：豊科郷土博物館 2階展示室</p>	
新市立博物館準備室出前展示(コンパクト展示)	<p>「講～地域のきずな～」展(仮称)</p> <p>会期：7月12日(木)～7月31日(火)及び8月7日(火)～8月24日(金)</p> <p>会場：本庁舎1階中央ロビー</p>	
	<p>「レッドデータ展-安曇野から消えゆく生きもの-」</p> <p>会期：7月3日(火)～8月3日(金)</p> <p>会場：穂高交流学习センター</p>	
講座等	<p>講演会「どのように死と向き合うのか-死と葬儀の民俗をみつめながら」</p> <p>日時：8月4日(土)</p> <p>会場：豊科交流学习センターきぼう</p>	
	<p>イベント「夜の博物館～ナイトミュージアムで肝試し」</p> <p>日時：8月10日(金)</p> <p>会場：博物館</p>	
職員派遣その他	<p>市民会議主催「森林エリア植物観察会」への講師派遣</p> <p>期日：8月4日(土)</p> <p>会場：県烏川溪谷緑地</p>	<p>環境カウンセラーズ主催の環境講座への講師派遣</p> <p>期日：9月30日(日)</p> <p>会場：安曇野市自然体験交流センター「せせらぎ」及びその周辺</p>
	<p>梓川アカデミア館主催「夏休み企画 はくせいお話し会」への講師派遣</p> <p>期日：8月11日(土・祝)</p> <p>会場：梓川アカデミア館</p>	
	<p>境省第5次レッドリスト作成調査への参加</p> <p>期間：～平成31年3月15日(金)</p> <p>内容：平成30年度の絶滅のおそれのある維管束植物の生育状況等に関する現地調査。</p>	

郷土資料館事業

事業(懸案事項)	現況	今後の取り組み 備考
穂高郷土資料館	北アルプス山麓で発掘された縄文土器や土偶のほか、農具や漁具、養蚕資料など民具を展示(常設展示を見やすくわかりやすい展示に整理し、考古資料等、みどころとなる資料を解説等で強調)。隣接する「鐘の鳴る丘集会所」の関連資料も展示。	
穂高鐘の鳴る丘集会所	郷土の歴史や文化に係る学習や青少年の健全育成に関する事業を行う市民等の利用に供する。	

貞享義民記念館事業

事業(懸案事項)	現況	今後の取り組み 備考
企画展示	「第11回楡フォトクラブ写真展」 会期:7月31日(火)～8月19日(日)	「デイサービスセンター 三郷作品展」 会期:9月12日(水)～9月24日(月)
	「江戸期の刀装具展」 会期:8月21日(火)～9月9日(日)	
講座等	小学生のための「じょうきょうそうどう」と加助 期日: :8月4日(土)、18日(土)	「古文書講座」 期日:9月8日(日)、29日(土)

文書館事業

事業(懸案事項)	現況	今後の取り組み 備考
開館(10月1日)準備業務	式典招待状の送付 予定日:8月下旬	文書館案内パンフレット、館だより(創刊号)等の作成業務
	古文書調査研究に関わる意見交換会 期日:8月6日(月) 内容:文書館講義室	
	適正な公文書管理に関する職員研修の実施 期日:8月27日(月)・28日(火)	
重要文書等収集・整理	重要文書等のシステム登録作業 公開・非公開の選別作業 地域資料利用許諾に向けた調整	

企画展示	開館記念展ポスター、チラシ、パンフレット等の送付 予定日:8月下旬	開館記念展示企画「明治150年 松沢求策と国会開設運動」 会期:10月1日(月)～12月28日(金) 場所:堀金公民館・文書館 「常念校長・佐藤嘉市と学校登山」 会期
講座等	開館記念講演会 期日:9月30日(日) 場所:堀金公民館講堂	開館記念式典 期日:10月1日(月)～10月31日(水) 場所:堀金公民館講堂・文書館

文化財保護係

文化財保護事業

事業(懸案事項)	現 況	今後の取り組み
文化財補助事業事務	・無形民俗文化財の保存伝承関係、文化財維持管理関係、有形文化財の修理関係等への補助事業申請の受付事務	有形文化財保存修理についての打合せ(スケジュール確認と今後の事務等)
「安曇平のお船祭り」調査	・平成30年度のお船祭り調査 (秋の例大祭へ向けての準備・打合せ・調査開始)	調査を継続
出前講座「よみがえる安曇野」上映会	・8月21日(火)午後2時～3時 ツクイ安曇野 ・8月25日(土)午前10時～11時 等々力会館	申し込みにより随時対応
重文:曾根原家住宅保存修理事業及び情報発信事業	・大屋根板葺き屋根葺き替え工事終了し、軒先、壁等補修始まる ・8月9日(木)午前中、現場視察対応 ・補助事業の計画変更の申請事務(工期の延長と、耐震補強工事等の増工)	修理事業を継続
平成30年度登録文化財講習会	・平成30年度 登録文化財講習会 8月2・3日(木・金) 文化庁主催 於:気仙沼市	
平成30年度文化財担当者研修会	・8月7日(火)長野県文化財事務担当者研修会 於:長野保健福祉事務所	
文化財保護へ向けた啓発活動	・広報への文化財コラムの掲載	

埋蔵文化財発掘調査事業

事業(懸案事項)	現 況	今後の取り組み
遺跡内での開発に 対しての協議及び 工事立会いの実施	・一般開発・公共事業に伴う現地協議及び工事立会い	随時対応
法 第 93・94 条関 係の事務	・周知の埋蔵文化財包蔵地内で開発が行われる際の 届出・通知受付事務	随時対応
法 第 92 条関係 F-9号墳の学術調査 への協力	・国営アルプスあづみの公園内にあるF-9号墳の学術調査。 H22 から國學院大学が実施(夏季のみ) ・本年の調査期間は 8月7日(火)～16日(木) ・12日(日)午前10時～と11時からの2回、一般向けの現 地説明会を実施	
平成30年度以降 公共事業照会	・平成30年度以降に計画されている公共事業を把握し、 埋蔵文化財包蔵地及び文化財、希少野生動植物への影響が 懸念される事業を抽出する	担当部署と保護協議を 開き、必要に応じ予算化 を図る準備をする
遺跡出土の金属製 品の保存処理	・E-13号墳出土馬具他の鉄製品の劣化が激しいため、専門 の研究機関へ保存処理を依頼	
埋蔵文化財 報告書作成作業	・『ほうろく屋敷遺跡 発掘調査報告書』『潮神明宮前 遺跡 発掘調査報告書』刊行へ向けての作業。 遺物実測、図面整理、原稿執筆他	継続
明科廃寺出土遺物 整理作業	・文化財資料センターで、6月上旬に終了した明科廃寺発 掘調査で出土した遺物の洗浄作業を行う	洗浄作業を継続

交流学習センター等事業

事業（懸案事項）	現 況	今後の取り組み
<p>交流学習センター等事業</p>	<p>○アンサンブル藝弦「気軽に寄り道コンサート」</p> <ul style="list-style-type: none"> ・期日：8月2日（木） ・場所：堀金公民館 ・参加者：20人 ・場所：三郷交流学習センター「ゆりのき」 展示ギャラリー ・参加者：17人 ・期日：8月3日（金） ・場所：明科子どもと大人の交流学習施設「ひまわり」 ハーモニーホール ・参加者：50人 ・場所：穂高交流学習センター「みらい」 多目的交流ホール ・参加者：30人 <p>○アンサンブル藝弦コンサート ～箏と弦楽の協演～</p> <ul style="list-style-type: none"> ・期日：8月25日（土） ・場所：穂高交流学習センター「みらい」 多目的交流ホール <p>○0歳からのミニコンサート</p> <ul style="list-style-type: none"> ・期日：8月17日（金） ・場所：豊科交流学習センター「きぼう」 多目的交流ホール 	<p>○あづみの新進音楽家コンサート</p> <ul style="list-style-type: none"> ・期日9月22日（土） ・場所：三郷交流学習センター「ゆりのき」 <p>○親子プログラミング教室</p> <ul style="list-style-type: none"> ・期日9月30日（日） ・場所：三郷交流学習センター「ゆりのき」 ・募集人数：40組

図書館事業

事業（懸案事項）	現 況	今後の取り組み
図書館事業	<p>○安曇野市内中学校の生徒による「POPコンテスト」</p> <p>市内の中学校の図書委員を中心に、本の好きな生徒にPOPを作成していただき、どのPOPを見て一番本が読みたくなったかを一般市民に投票していただく。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・投票期間：8月7日（日）～8月30日（木） ・展示、投票場所：市内各図書館 ・POP応募数：78作品 ・表彰：Best ポップ賞（上位10作品） ・表彰式：9月8日（土） <p style="text-align: center;">図書館フェスタ開会式にて</p> <p>○山口マオさん原画展</p> <ul style="list-style-type: none"> ・日時：8月7日（火）～9月30日（日） ・場所：穂高交流学習センター「みらい」 <p style="text-align: center;">展示ガラスケース</p> <ul style="list-style-type: none"> ・内容：山口マオさん（絵本作家）の絵本・原画・版木の展示 	<p>○図書館フェスタ</p> <ul style="list-style-type: none"> ・日時：9月8日（土）、9日（日） ・場所：穂高交流学習センター「みらい」 ・内容：「山口マオさん講演会」「松本山雅連携事業」「図書リサイクルコーナー」「おもしろ健康測定」「ワークショップ」「おはなし会」「紙芝居」等々